

喜茂別町  
第5次総合計画策定にかかる

---

アンケート調査報告書

□■ 集計分析編 ■□

平成23年3月



## 目 次

---

### I. 調査の概要

I-1. 調査の目的と実施概要 ..... 1

I-2. 調査報告書のみかた ..... 2

### II. 調査結果（一般）

II-1. あなたご自身のことについて ..... 3

II-2. 喜茂別町での暮らしについて ..... 11

II-3. 喜茂別町の取り組みについて ..... 28

II-4. 喜茂別町のこれらからのまちづくりについて ..... 79



# I. 調査の概要

## I-1. 調査の目的と実施概要

### 1. 調査の目的

総合計画策定のためのアンケート調査（以降、本調査とする。）は、喜茂別町第5次総合計画を策定するにあたり、施策の優先度や、福祉、産業、生活環境、教育等の各分野における町民の意識やまちづくりに対する意向について、率直な意見をうかがい、計画に反映することを目的に実施しました。

### 2. 調査の概要

本調査の調査対象および配付、回収状況は、下表のとおりとなっています。

#### 《 調 査 概 要 》

- 調査対象：喜茂別町にお住まいの80歳未満～20歳以上町民
- 調査内容：① ご本人に関すること  
② 町内での暮らしに関すること  
③ 町の取り組みについて（施策への評価・優先すべき取り組み）  
④ これからのまちづくりについて（イメージ・地域資源等）
- 調査期間：平成22年12月24日～平成23年1月11日
- 調査方法：郵送配布・回収
- 配付・回収：

分類	配付数	回収数				未回収 票数	回収率
			有効	無効	不能		
一般	1,916票	516票	516票	-	-	1,384票	26.9%

## I-2. 調査報告書のみかた

---

### 1. 報告書の構成

報告書は、一般の集計結果を掲載しています。  
また、各設問の分析結果を掲載しています。

### 2. 集計・分析結果を読む際の留意点

この調査の分析結果を読む際の留意点は以下のとおりです。

#### 《 分析結果を読む際の留意点 》

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表現しています。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示しています。
- 百分比による集計では、回答者数（該当質問においては該当者数）を100%として算出し、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数第1位までを表記します。また、複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがあります。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることをあらわします。
- 母数が100未満の場合の百分率は、統計的誤差が大きい可能性が高いので数値の取扱いには特に注意が必要となります。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していません。よって、「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合があります。

## Ⅱ. 調査結果①（一般）

### Ⅱ-1. あなたご自身のことについて

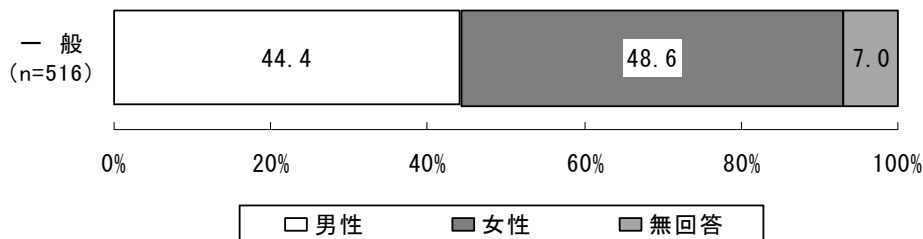
#### 1. 回答者の属性

問 あなたのことについてお答えください。【各項目、あてはまるもの1つに○】

##### (1) 性別

回答のあった18歳以上の町全体（n=516）の性別による回答の構成比は、男性の回答者が44.4%、女性の回答者が48.6%と、やや女性の回答の割合が高くなっています。

図表 性別



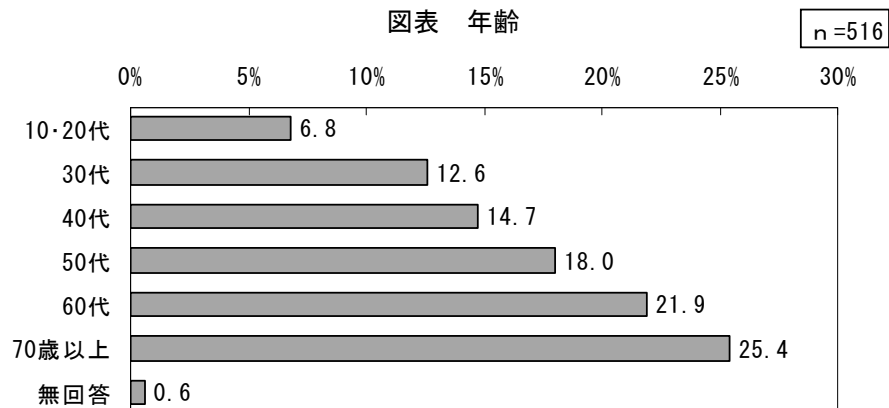
No.		n=516	(100.0%)
1	男性	229	44.4%
2	女性	251	48.6%
	無回答	36	7.0%

##### (2) 年齢

年齢別では、「70歳以上」が25.4%と最も多く、次いで「60代」が21.9%、「50代」が18.0%を占めています。

回答全体としては、6割以上が50歳以上の方の回答となっています。

図表 年齢

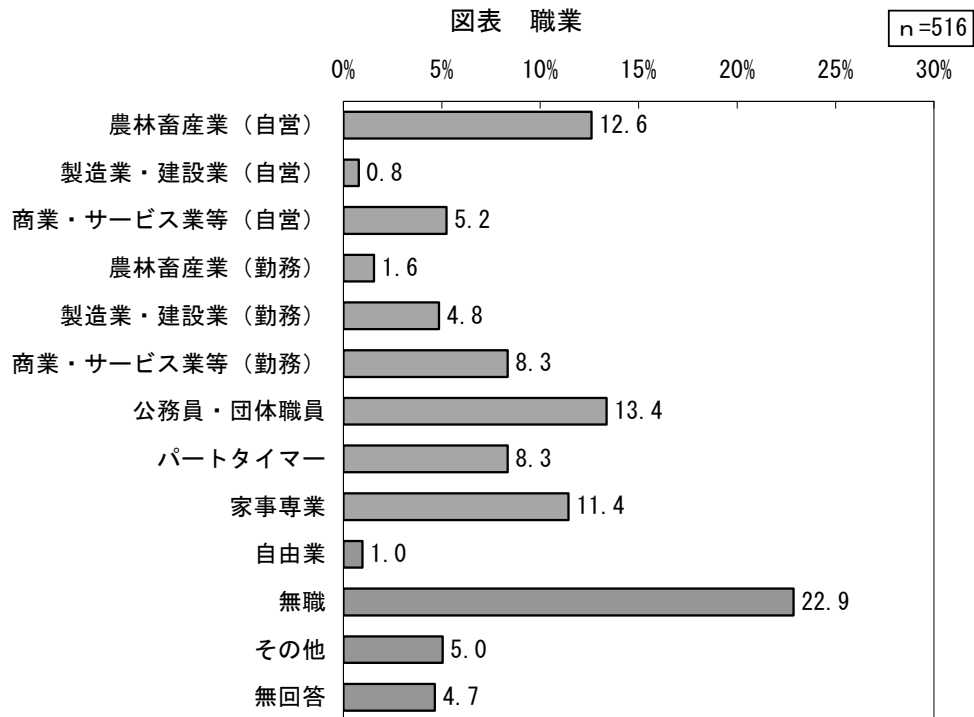


図表 年齢

No.		n=516	(100.0%)
1	10・20代	35	6.8%
2	30代	65	12.6%
3	40代	76	14.7%
4	50代	93	18.0%
5	60代	113	21.9%
6	70歳以上	131	25.4%
	無回答	3	0.6%

(3) 職業

年齢別の職業構成比からも、回答者の年齢構成比のうち5割近くの回答者(47.3%)が60代以上であることから、職業別では、「無職」が22.9%と最も多くなっており、次いで「公務員・団体職員」が13.4%、「農林畜産業(自営)」が12.6%となっています。



No.		n=516	(100.0%)
1	農林畜産業(自営)	65	12.6%
2	製造業・建設業(自営)	4	0.8%
3	商業・サービス業等(自営)	27	5.2%
4	農林畜産業(勤務)	8	1.6%
5	製造業・建設業(勤務)	25	4.8%
6	商業・サービス業等(勤務)	43	8.3%
7	公務員・団体職員	69	13.4%
8	パートタイマー	43	8.3%
9	家事専業	59	11.4%
10	自由業	5	1.0%
11	無職	118	22.9%
12	その他	26	5.0%
	無回答	24	4.7%

なお、自営及び勤めを統合した職種別の構成比は、次のとおりです。

職種別では、「農林畜産業（自営・勤務）」が14.2%と最も多くなっています。

地区別の職業をみると、市街地区は「公務員・団体職員」が最上位に挙がっていますが、他の地域では「農林畜産業（自営・勤務）」が最上位に挙がっています。

また、「無職」と回答された方は、“市街地区”が最も多くなっています。

図表 職業(分類統合)

No.		n=516	(100.0%)
1	農林畜産業（自営・勤務）	73	14.2%
2	製造業・建設業（自営・勤務）	29	5.6%
3	商業・サービス業等（自営・勤務）	70	13.5%
4	公務員・団体職員	69	13.4%
5	パートタイマー	43	8.3%
6	家事専業	59	11.4%
7	自由業	5	1.0%
8	無職	118	22.9%
9	その他 無回答	26 24	5.0% 4.7%

図表 職業(地区別)

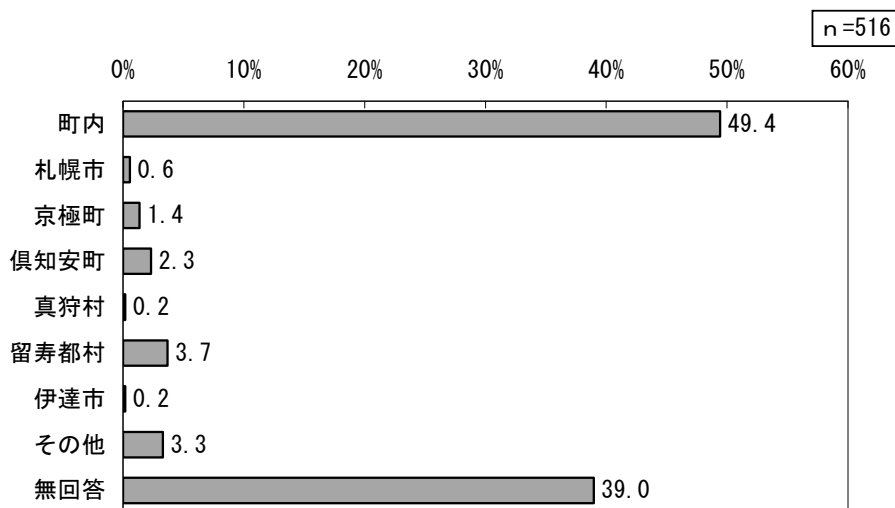
	1位	2位	3位	無職
市街地区 (n=311)	公務員・団体職員	商業・サービス業等 (自営・勤務)	家事専業	無職
	18.0%	15.8%	12.2%	26.7%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	農林畜産業 (自営・勤務)	商業・サービス業等 (自営・勤務)	家事専業	無職
	51.4%	8.6%	8.6%	14.3%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別 地区 (n=43)	農林畜産業 (自営・勤務)	商業・サービス業等 (自営・勤務)	家事専業	無職
	27.9%	14.0%	14.0%	18.6%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	農林畜産業 (自営・勤務)	パートタイマー	商業・サービス業等 (自営・勤務)	無職
	40.0%	20.0%	13.3%	13.3%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	農林畜産業 (自営・勤務)	公務員・団体職員	パートタイマー	無職
	61.1%	11.1%	11.1%	5.6%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	農林畜産業 (自営・勤務)	家事専業	公務員・団体職員	無職
	25.3%	12.7%	10.1%	17.7%

#### (4) 勤務先

勤務先は、「町内」が49.4%と最も多くなっています。

なお、町外の地域（札幌市・京極町・倶知安町・真狩村・留寿都村・伊達市）を勤務先としている回答者は、1割未満（8.4%）となっています。

図表 勤務先

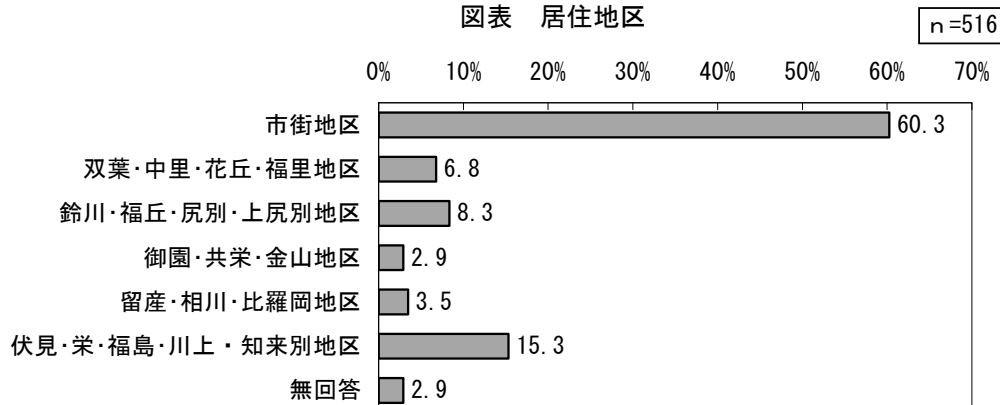


No.		n=516	(100.0%)
1	町内	255	49.4%
2	札幌市	3	0.6%
3	京極町	7	1.4%
4	倶知安町	12	2.3%
5	真狩村	1	0.2%
6	留寿都村	19	3.7%
7	伊達市	1	0.2%
8	その他	17	3.3%
	無回答	201	39.0%

#### (5) 居住地区

居住地区では、「市街地区」が60.3%と最も多くなっています。

図表 居住地区



図表 居住地区

No.		n=516	(100.0%)
1	市街地区	311	60.3%
2	双葉・中里・花丘・福里地区	35	6.8%
3	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区	43	8.3%
4	御園・共栄・金山地区	15	2.9%
5	留産・相川・比羅岡地区	18	3.5%
6	伏見・栄・福島・川上・知来別地区	79	15.3%
	無回答	15	2.9%

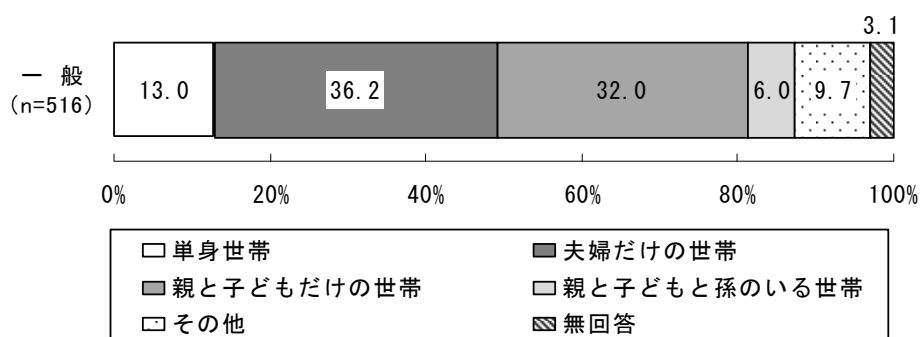
図表 年齢(地区別)

	10・20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
市街地区 (n=311)	6.8%	14.8%	13.8%	17.7%	22.8%	23.8%	0.3%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	2.9%	17.1%	11.4%	22.9%	25.7%	20.0%	0.0%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	2.3%	9.3%	20.9%	20.9%	11.6%	34.9%	0.0%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%	20.0%	60.0%	0.0%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	0.0%	5.6%	22.2%	11.1%	27.8%	33.3%	0.0%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	11.4%	8.9%	13.9%	21.5%	24.1%	20.3%	0.0%

## (6) 家族構成

家族構成は、「夫婦だけの世帯」が36.2%と最も多く、次いで「親と子どもだけの世帯」(32.0%)、「単身世帯」(13.0%)の順に上位に挙がっています。

図表 家族構成



図表 家族構成

No.		n=516	(100.0%)
1	単身世帯	67	13.0%
2	夫婦だけの世帯	187	36.2%
3	親と子どもだけの世帯	165	32.0%
4	親と子どもと孫のいる世帯	31	6.0%
5	その他	50	9.7%
	無回答	16	3.1%

図表 家族構成(地区別・年齢別)

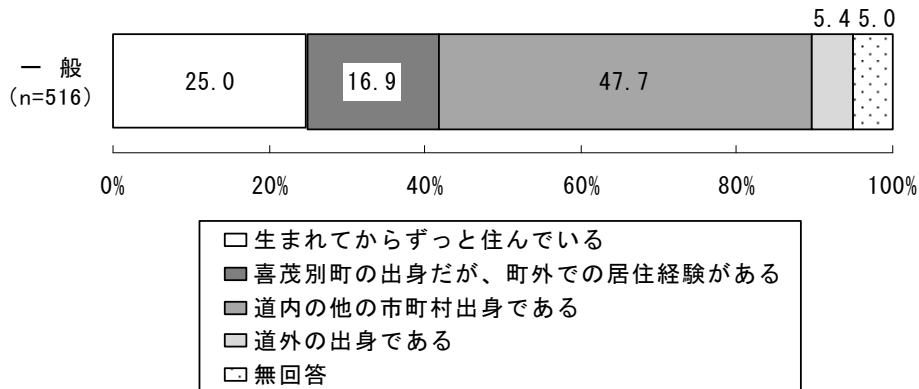
	単身世帯	夫婦だけの世帯	親と子どもだけの世帯	親と子どもと孫のいる世帯	その他	無回答
市街地区 (n=311)	15.8%	38.9%	30.2%	3.5%	10.6%	1.0%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	8.6%	22.9%	28.6%	28.6%	11.4%	0.0%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	7.0%	27.9%	53.5%	2.3%	7.0%	2.3%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	0.0%	60.0%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	0.0%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%	11.1%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	13.9%	38.0%	26.6%	7.6%	11.4%	2.5%
10・20代 (n=35)	34.3%	2.9%	40.0%	5.7%	14.3%	2.9%
30代 (n=65)	16.9%	15.4%	55.4%	4.6%	6.2%	1.5%
40代 (n=76)	14.5%	10.5%	55.3%	9.2%	3.9%	6.6%
50代 (n=93)	8.6%	31.2%	31.2%	7.5%	21.5%	0.0%
60代 (n=113)	8.8%	54.9%	23.9%	1.8%	6.2%	4.4%
70歳以上 (n=131)	11.5%	58.8%	12.2%	7.6%	8.4%	1.5%

## (7) 現在の地域に住んでいる期間/年数

現在の地域に住んでいる期間では、「生まれてからずっと住んでいる」回答者が25.0%を占めている一方で、「道内の他の市町村出身である」と回答した割合が47.7%を占め、最も多くなっています。

また、居住年数では、「10年以上」が46.3%を占め、平均居住年数は30年となっています。

図表 現在の地域に住んでいる期間



No.		n=516	(100.0%)
1	生まれてからずっと住んでいる	129	25.0%
2	喜茂別町の出身だが、町外での居住経験がある	87	16.9%
3	道内の他の市町村出身である	246	47.7%
4	道外の出身である	28	5.4%
	無回答	26	5.0%

図表 現在の地域に住んでいる年数

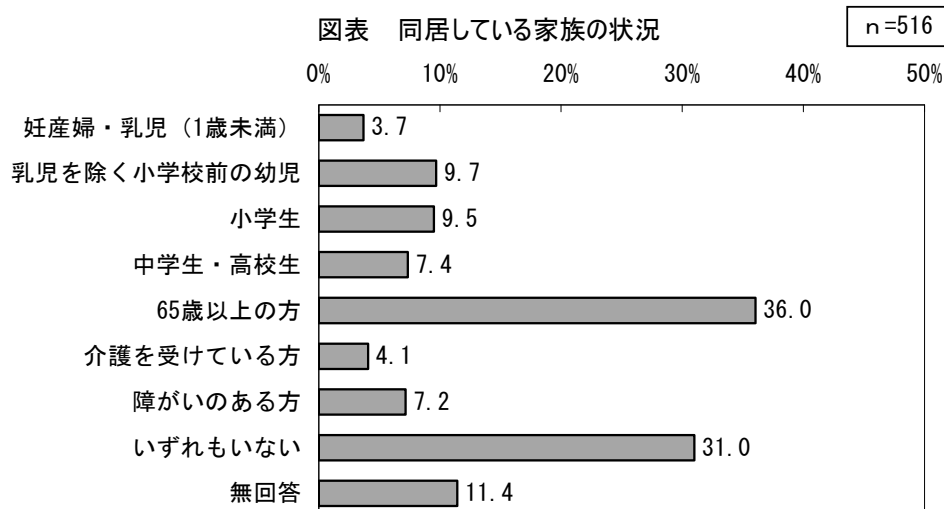
No.		n=516	(100.0%)
1	1年未満	6	1.2%
2	1年～3年未満	27	5.2%
3	3年～5年未満	11	2.1%
4	5年～10年未満	25	4.8%
5	10年以上	239	46.3%
	無回答	208	40.3%

問 あなた自身、またはあなたが同居している家族のなかに、次のような方はいますか。

【 あてはまるものすべてに○ 】

同居している家族の状況としては、「65歳以上の方」が家族にいる割合が36.0%と最も多くなっています。

そのほか、「妊産婦・乳児」(3.7%)、「乳児を除く小学校前の幼児」(9.7%)を合わせた未就学児童は回答者全体の13.4%、「介護を受けている方」は4.1%、「障害のある方」は7.2%をそれぞれ占めています。



No.		n=516	(100.0%)
1	妊産婦・乳児 (1歳未満)	19	3.7%
2	乳児を除く小学校前の幼児	50	9.7%
3	小学生	49	9.5%
4	中学生・高校生	38	7.4%
5	65歳以上の方	186	36.0%
6	介護を受けている方	21	4.1%
7	障害のある方	37	7.2%
8	いずれもない (ひとり暮らし含む)	160	31.0%
	無回答	59	11.4%

なお、回答者の年齢・世帯状況を踏まえると、回答全体では、以下のような方のいる世帯のあることがわかります。

No.		n=516	(100.0%)
1	未就学児童のいる世帯	64	12.4%
2	児童・生徒のいる世帯	81	15.7%
3	※1 介護の必要な方のいる世帯	49	9.5%
4	65歳以上のいる世帯	186	36.0%
5	※2 高齢者のみの世帯	90	17.4%
6	※3 ひとり暮らし高齢世帯	25	4.8%

※1 介護の必要な方のいる世帯: 介護を受けている方、障害のある方のいる世帯

※2 高齢者のみの世帯: 65歳以上の方がおり、夫婦のみの世帯

※3 ひとり暮らし高齢世帯: 60代以上で、ひとり暮らしの世帯

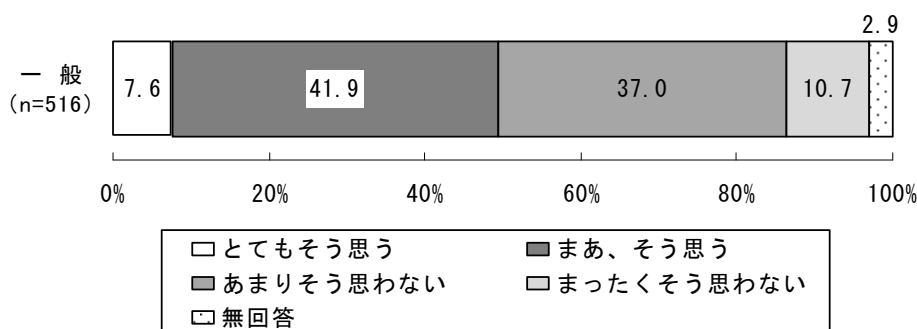
## Ⅱ-2. 喜茂別町での暮らしについて

### 1. 喜茂別町について

問 喜茂別町は、暮らしやすいまちであると思いますか。理由もあわせてお聞かせください。【1つに○理由を記入】

町全体としては、暮らしやすさについて「とてもそう思う」(7.6%)、「まあ、そう思う」(41.9%)を合わせた49.5%の方は、「暮らしやすい」と回答し、「あまりそう思わない」(37.0%)、「暮らしにくい」(10.7%)を合わせた47.7%の方は、「暮らしにくい」と回答しています。

図表 暮らしやすさ



No.		n=516	(100.0%)
1	とてもそう思う	39	7.6%
2	まあ、そう思う	216	41.9%
3	あまりそう思わない	191	37.0%
4	まったくそう思わない	55	10.7%
	無回答	15	2.9%

図表 暮らしやすさ(年齢別)

	暮らしやすい		暮らしにくい		無回答
	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	
10・20代 (n=35)	8.6%	17.1%	45.7%	28.6%	0.0%
30代 (n=65)	4.6%	41.5%	35.4%	18.5%	0.0%
40代 (n=76)	6.6%	34.2%	44.7%	11.8%	2.6%
50代 (n=93)	11.8%	44.1%	34.4%	6.5%	3.2%
60代 (n=113)	5.3%	42.5%	39.8%	8.8%	3.5%
70歳以上 (n=131)	8.4%	51.9%	31.3%	4.6%	3.8%

図表 暮らしやすさ(地区別)

	暮らしやすい		暮らしにくい		無回答
	とても そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	まったく そう思わない	
市街地区 (n=311)	5.1%	41.2%	39.9%	12.9%	1.0%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	11.4%	42.9%	40.0%	2.9%	2.9%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	4.7%	60.5%	30.2%	2.3%	2.3%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	0.0%	53.3%	33.3%	0.0%	13.3%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	11.1%	38.9%	27.8%	5.6%	16.7%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	15.2%	40.5%	29.1%	11.4%	3.8%

※「暮らしやすい」：暮らしやすさについて「とてもそう思う」、「まあ、そう思う」と回答した方

※「暮らしにくい」：暮らしやすさについて「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」と回答した方

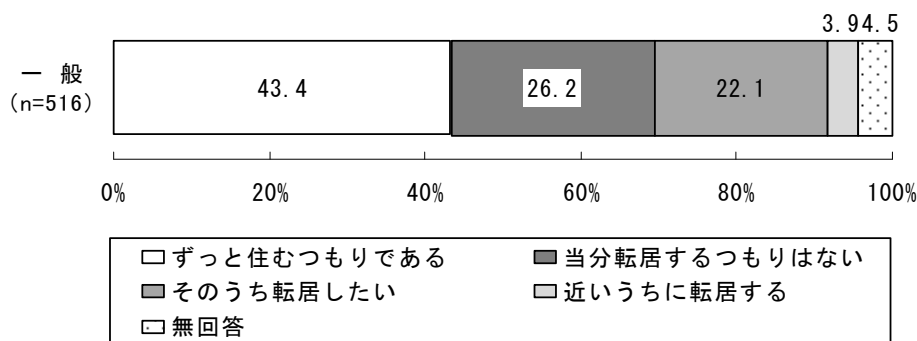
問 喜茂別町にこれからも住んでいたいと思いますか。【1つに○】

住み続けたい、転居したい理由についてもあわせてお聞かせください。

喜茂別町への定住意向としては、「ずっと住むつもりである」が43.4%を占め、最も多い回答となっています。

次いで、「当分転居するつもりはない」(26.2%)、「そのうち転居したい」(22.1%)、「近いうちに転居する」(3.9%)となっています。

図表 定住意向



No.		n=516	(100.0%)
1	ずっと住むつもりである	224	43.4%
2	当分転居するつもりはない	135	26.2%
3	そのうち転居したい	114	22.1%
4	近いうちに転居する	20	3.9%
	無回答	23	4.5%

図表 定住意向(年齢別)

	高 ← 定住意向 → 低				無回答
	ずっと住む つもりである	当分転居する つもりはない	そのうち 転居したい	近いうちに 転居する	
10・20代 (n=35)	22.9%	31.4%	40.0%	5.7%	0.0%
30代 (n=65)	13.8%	38.5%	35.4%	9.2%	3.1%
40代 (n=76)	27.6%	34.2%	27.6%	6.6%	3.9%
50代 (n=93)	47.3%	26.9%	20.4%	4.3%	1.1%
60代 (n=113)	50.4%	19.5%	19.5%	2.7%	8.0%
70歳以上 (n=131)	64.9%	19.1%	10.7%	0.0%	5.3%

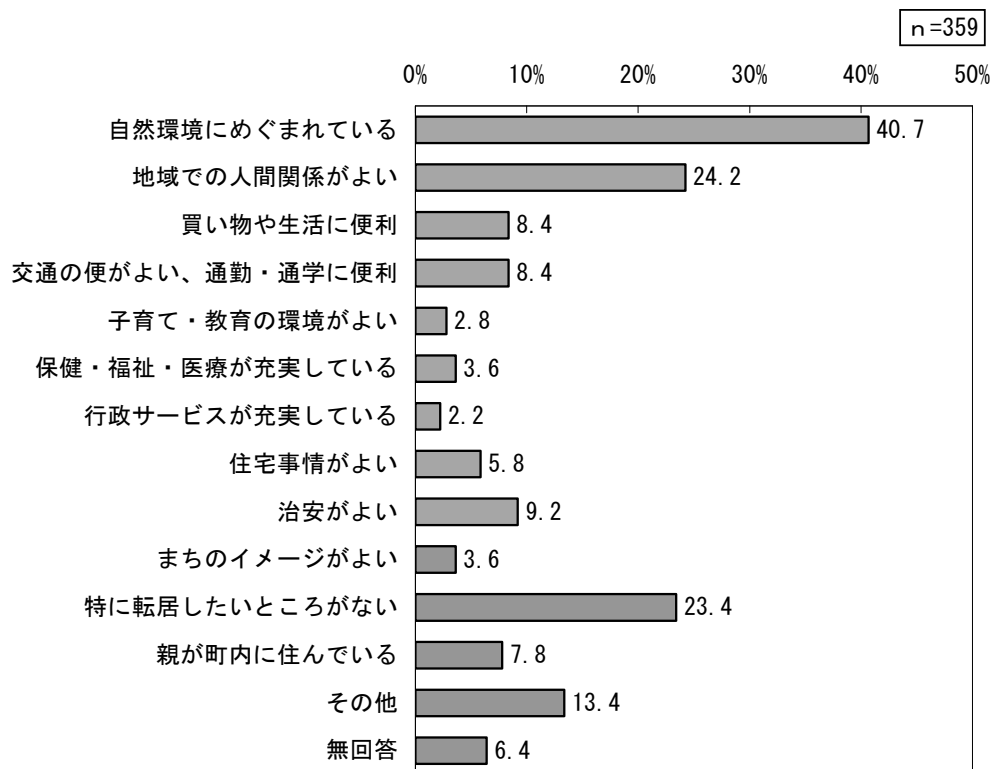
図表 定住意向(地区別)

	高 ← 定住意向 → 低				無回答
	ずっと住む つもりである	当分転居する つもりはない	そのうち 転居したい	近いうちに 転居する	
市街地区 (n=311)	38.6%	28.3%	26.0%	3.5%	3.5%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	54.3%	20.0%	17.1%	0.0%	8.6%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	48.8%	37.2%	11.6%	0.0%	2.3%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	53.3%	26.7%	6.7%	0.0%	13.3%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	61.1%	27.8%	5.6%	0.0%	5.6%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	50.6%	15.2%	19.0%	10.1%	5.1%

## (1) 住み続けたい理由

前設問で、「ずっと住むつもりである」、「当分転居するつもりはない」と回答した回答者（n=359）の住み続けたい理由としては、「自然環境にめぐまれている」（40.7%）、「地域での人間関係がよい」（24.2%）、「特に転居したいところがない」（23.4%）を上位に挙げています。

図表 住み続けたい理由



図表 住み続けたい理由

No.		n=359	(100.0%)
1	自然環境にめぐまれている	146	40.7%
2	地域での人間関係がよい	87	24.2%
3	買い物や生活に便利	30	8.4%
4	交通の便がよい、通勤・通学に便利	30	8.4%
5	子育て・教育の環境がよい	10	2.8%
6	保健・福祉・医療が充実している	13	3.6%
7	行政サービスが充実している	8	2.2%
8	住宅事情がよい	21	5.8%
9	治安がよい	33	9.2%
10	まちのイメージがよい	13	3.6%
11	特に転居したいところがない	84	23.4%
12	親が町内に住んでいる	28	7.8%
13	その他	48	13.4%
	無回答	23	6.4%

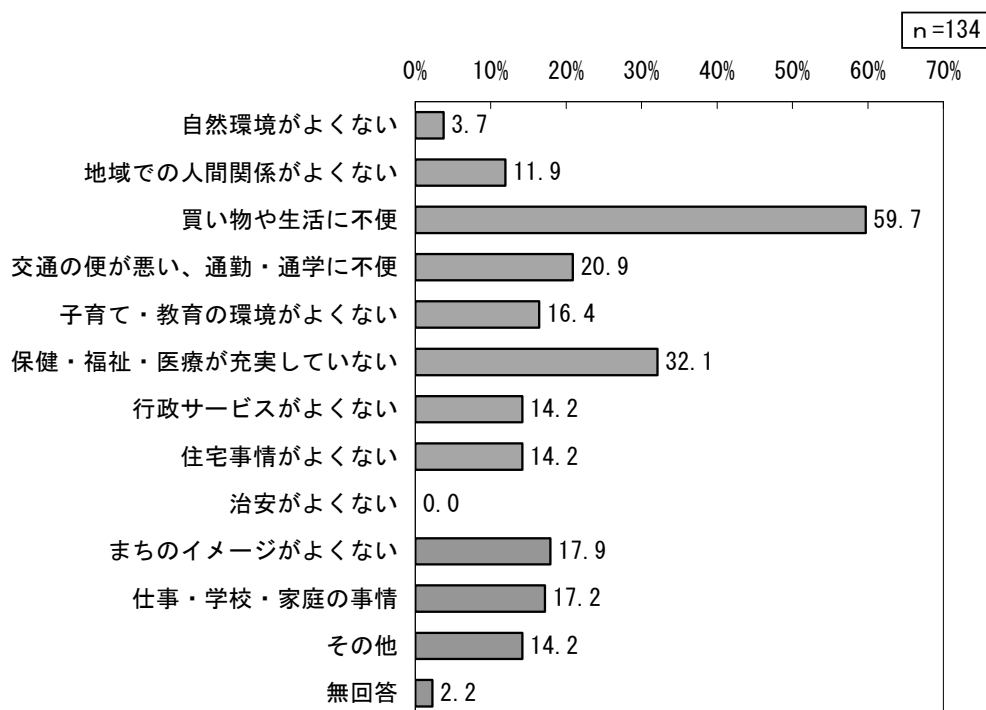
図表 住み続けたい理由(年齢別:上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
10・20代 (n=35)	親が町内に住んでいる	自然環境にめぐまれている	治安がよい	住宅事情がよい	特に転居したいところがない
	26.3%	21.1%	15.8%	10.5%	10.5%
30代 (n=65)	自然環境にめぐまれている	地域での人間関係がよい	特に転居したいところがない	治安がよい	交通の便がよい、通勤・通学に便利
	23.5%	23.5%	23.5%	17.6%	11.8%
40代 (n=76)	自然環境にめぐまれている	買い物や生活に便利	特に転居したいところがない	親が町内に住んでいる	地域での人間関係がよい
	31.9%	21.3%	19.1%	14.9%	12.8%
50代 (n=93)	自然環境にめぐまれている	地域での人間関係がよい	特に転居したいところがない	買い物や生活に便利	親が町内に住んでいる
	44.9%	20.3%	18.8%	14.5%	14.5%
60代 (n=113)	自然環境にめぐまれている	地域での人間関係がよい	特に転居したいところがない	治安がよい	保健・福祉・医療が充実している
	45.6%	34.2%	25.3%	12.7%	5.1%
70歳以上 (n=131)	自然環境にめぐまれている	地域での人間関係がよい	特に転居したいところがない	交通の便がよい、通勤・通学に便利	治安がよい
	47.3%	29.1%	29.1%	12.7%	10.0%

## (2) 転居したい理由

前設問で、「そのうち転居したい」、「近いうちに転居する」と回答した回答者 (n=134) の転居したい理由としては、「買い物や生活に不便」(59.7%)、「保健・福祉・医療が充実していない」(32.1%)、「交通の便が悪い、通勤・通学に不便」(20.9%) を上位に挙げています。

図表 転居したい理由



No.		n=134	(100.0%)
1	自然環境がよくない	5	3.7%
2	地域での人間関係がよくない	16	11.9%
3	買い物や生活に不便	80	59.7%
4	交通の便が悪い、通勤・通学に不便	28	20.9%
5	子育て・教育の環境がよくない	22	16.4%
6	保健・福祉・医療が充実していない	43	32.1%
7	行政サービスがよくない	19	14.2%
8	住宅事情がよくない	19	14.2%
9	治安がよくない	0	0.0%
10	まちのイメージがよくない	24	17.9%
11	仕事・学校・家庭の事情	23	17.2%
12	その他	19	14.2%
	無回答	3	2.2%

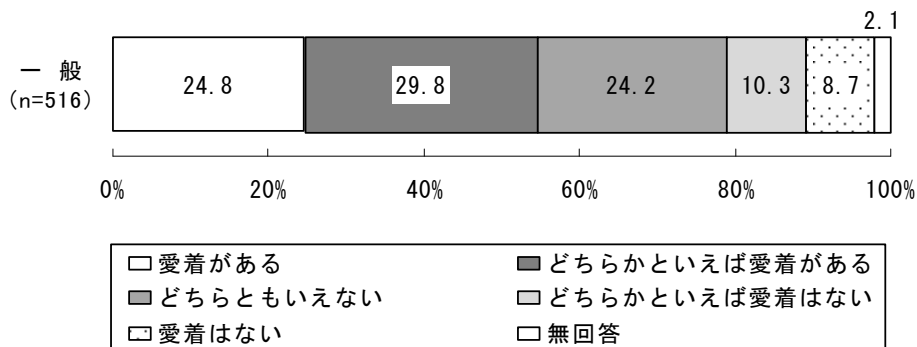
図表 転居したい理由(年齢別:上位5項目)

	1位	2位	3位	4位	5位
10・20代 (n=35)	買い物や生活に不便	子育て・教育の環境がよくない	仕事・学校・家庭の事情	保健・福祉・医療が充実していない	住宅事情がよくない
	55.2%	37.9%	34.5%	27.6%	27.6%
30代 (n=65)	買い物や生活に不便	保健・福祉・医療が充実していない	行政サービスがよくない	子育て・教育の環境がよくない	仕事・学校・家庭の事情
	57.7%	38.5%	26.9%	23.1%	15.4%
40代 (n=76)	買い物や生活に不便	保健・福祉・医療が充実していない	地域での人間関係がよくない	交通の便が悪い、通勤・通学に不便	まちのイメージがよくない
	65.2%	34.8%	21.7%	21.7%	21.7%
50代 (n=93)	買い物や生活に不便	保健・福祉・医療が充実していない	まちのイメージがよくない	地域での人間関係がよくない	交通の便が悪い、通勤・通学に不便
	64.0%	28.0%	24.0%	16.0%	16.0%
60代 (n=113)	買い物や生活に不便	保健・福祉・医療が充実していない	交通の便が悪い、通勤・通学に不便	地域での人間関係がよくない	行政サービスがよくない
	64.3%	50.0%	28.6%	14.3%	14.3%
70歳以上 (n=131)	買い物や生活に不便	子育て・教育の環境がよくない	仕事・学校・家庭の事情	保健・福祉・医療が充実していない	住宅事情がよくない
	55.2%	37.9%	34.5%	27.6%	27.6%

問 あなたは喜茂別町に「自分のまち」としての愛着がありますか。【1つに〇】

喜茂別町に「自分のまち」として、「愛着がある」(24.8%)、「どちらかといえば愛着がある」(29.8%)を合わせた54.6%の方は、「愛着がある」と回答し、「どちらかといえば愛着はない」(10.3%)、「愛着はない」(8.7%)を合わせた19.0%の方は、「愛着はない」と回答しています。また、「どちらともいえない」と回答した割合は、24.2%を占めています。

図表 町への愛着度



図表 町への愛着度

No.		n=516	(100.0%)
1	愛着がある	128	24.8%
2	どちらかといえば愛着がある	154	29.8%
3	どちらともいえない	125	24.2%
4	どちらかといえば愛着はない	53	10.3%
5	愛着はない	45	8.7%
	無回答	11	2.1%

図表 町への愛着度(年齢別)

	高 ← まちへの愛着度 → 低					無回答
	愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらともいえない	どちらかといえば愛着はない	愛着はない	
10・20代 (n=35)	17.1%	20.0%	28.6%	11.4%	17.1%	5.7%
30代 (n=65)	13.8%	24.6%	27.7%	15.4%	18.5%	0.0%
40代 (n=76)	17.1%	26.3%	27.6%	13.2%	14.5%	1.3%
50代 (n=93)	34.4%	24.7%	23.7%	8.6%	7.5%	1.1%
60代 (n=113)	19.5%	41.6%	21.2%	12.4%	3.5%	1.8%
70歳以上 (n=131)	34.4%	31.3%	22.9%	5.3%	3.1%	3.1%

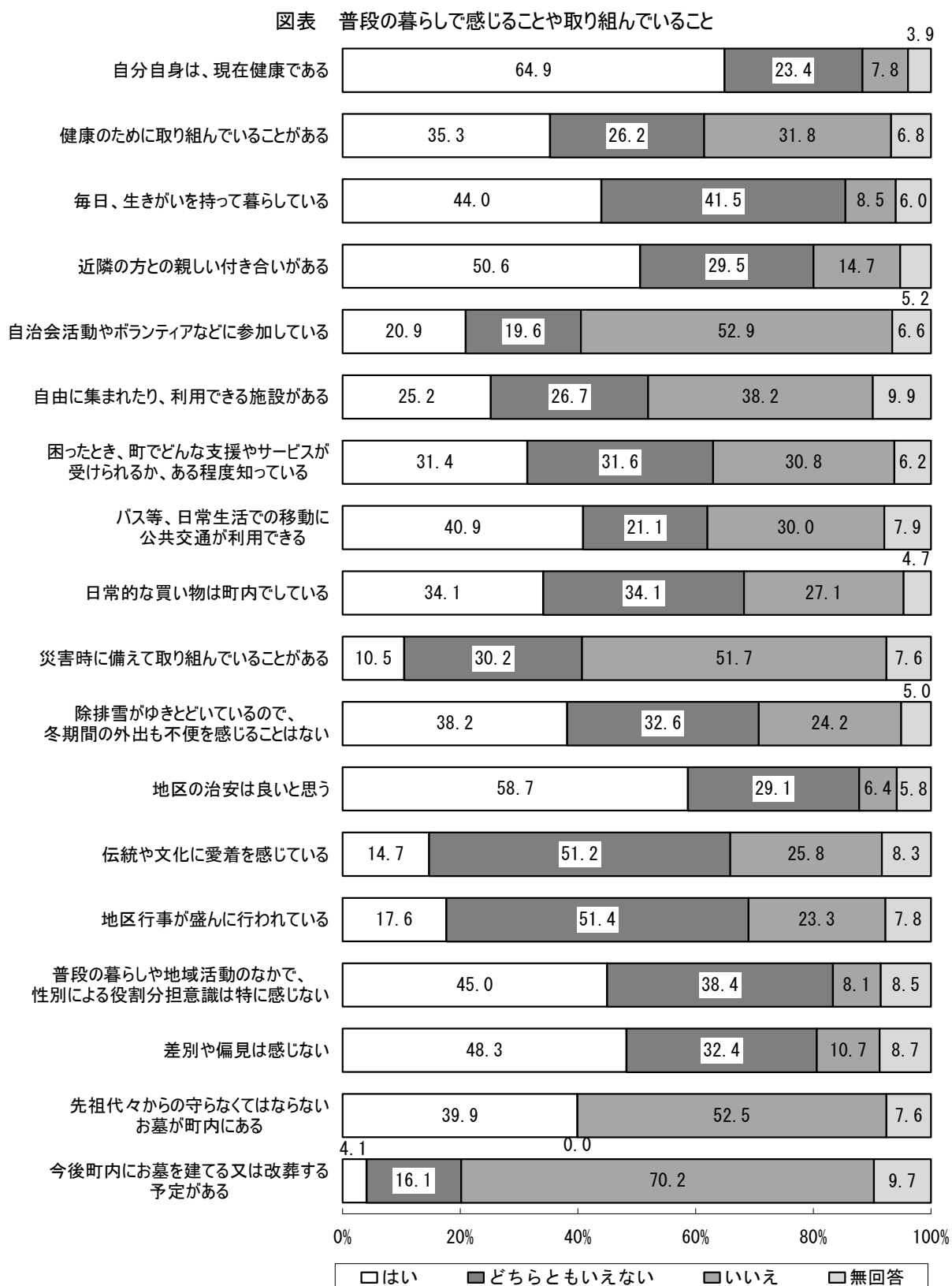
図表 町への愛着度(地区別)

	高 ← まちへの愛着度 → 低					無回答
	愛着がある	どちらかといえば愛着がある	どちらともいえない	どちらかといえば愛着はない	愛着はない	
市街地区 (n=311)	20.9%	31.8%	22.8%	11.3%	11.3%	1.9%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	34.3%	22.9%	28.6%	11.4%	2.9%	0.0%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	32.6%	34.9%	23.3%	9.3%	0.0%	0.0%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	20.0%	26.7%	40.0%	0.0%	0.0%	13.3%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	27.8%	38.9%	11.1%	5.6%	5.6%	11.1%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	31.6%	22.8%	26.6%	8.9%	10.1%	0.0%

## 2. 地区での暮らしについて

問 あなたの普段の暮らしで感じることや取り組んでいることについてお聞かせください。  
【各項目、あてはまるもの1つに〇】

地区での暮らしについての各項目の回答は以下のとおりです。

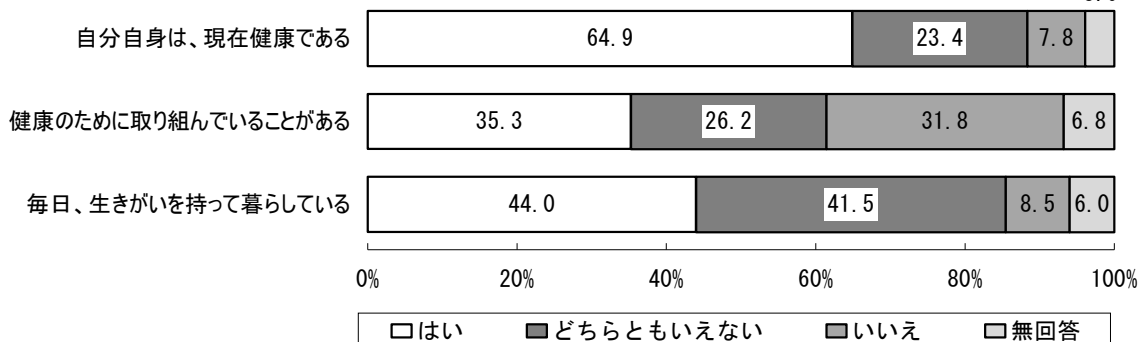


(1) 健康に関する意識、取り組み：(1)～(3)

健康に関する意識、取り組みとして、「自分自身は、現在健康である」(はい)と回答した割合は64.9%している一方で、実際に「健康のために取り組んでいることがある」と回答した割合は、35.3%、「毎日、生きがいを持って暮らしている」と回答した割合は、44.0%となっています。

図表 健康に関する意識、取り組み

3.9



		n=516	(100.0%)
(1)	自分自身は、現在健康である	1 はい	64.9%
		2 どちらともいえない	23.4%
		3 いいえ	7.8%
		無回答	3.9%
(2)	健康のために取り組んでいることがある	1 はい	35.3%
		2 どちらともいえない	26.2%
		3 いいえ	31.8%
		無回答	6.8%
(3)	毎日、生きがいを持って暮らしている	1 はい	44.0%
		2 どちらともいえない	41.5%
		3 いいえ	8.5%
		無回答	6.0%

図表 健康に関する意識、取り組み(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

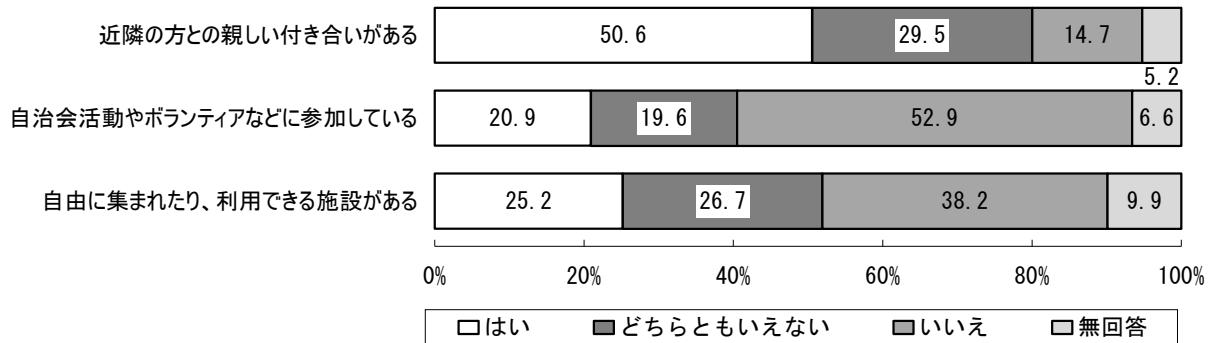
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(1) 自分自身は、 現在健康である	10・20代	30代	50代	40代	60代	70歳以上
	91.4%	76.9%	72.0%	71.1%	63.7%	45.8%
(2) 健康のために 取り組んでいる ことがある	60代	10・20代	70歳以上	50代	30代	40代
	43.4%	42.9%	40.5%	33.3%	32.3%	17.1%
(3) 毎日、生きがい を持って暮ら している	50代	70歳以上	60代	10・20代	30代	40代
	59.1%	51.9%	43.4%	37.1%	30.8%	28.9%

## (2) 近所との関わり、地域活動意識等：(4)～(6)

近所との関わり、地域活動意識として、「近隣の方との親しい付き合いがある」(はい)と回答した割合は50.6%を占めている一方で、実際に「自治会活動やボランティアなどに参加している」と回答した割合は、20.9%となっています。

また、「自由に集まられたり、利用できる施設がある」と回答した割合は、25.2%となっています。

図表 近所との関わり、地域活動意識等



		n=516	(100.0%)
(4)	近隣の方との親しい付き合いがある	1 はい	261 50.6%
		2 どちらともいえない	152 29.5%
		3 いいえ	76 14.7%
		無回答	27 5.2%
(5)	自治会活動やボランティアなどに参加している	1 はい	108 20.9%
		2 どちらともいえない	101 19.6%
		3 いいえ	273 52.9%
		無回答	34 6.6%
(6)	自由に集まられたり、利用できる施設がある	1 はい	130 25.2%
		2 どちらともいえない	138 26.7%
		3 いいえ	197 38.2%
		無回答	51 9.9%

図表 近所との関わり、地域活動意識等(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(4) 近隣の方との親しい付き合い	60代	70歳以上	50代	10・20代	30代	40代
	62.8%	58.0%	51.6%	42.9%	38.5%	34.2%
(5) 自治会活動やボランティアなどの参加	50代	60代	30代	70歳以上	40代	10・20代
	25.8%	23.9%	21.5%	19.8%	15.8%	14.3%
(6) 自由に集まられたり、利用できる施設	70歳以上	60代	10・20代	50代	30代	40代
	39.7%	28.3%	25.7%	19.4%	15.4%	11.8%

図表 近所との関わり、地域活動意識等(項目別・地区別:「はい」と回答した上位順)

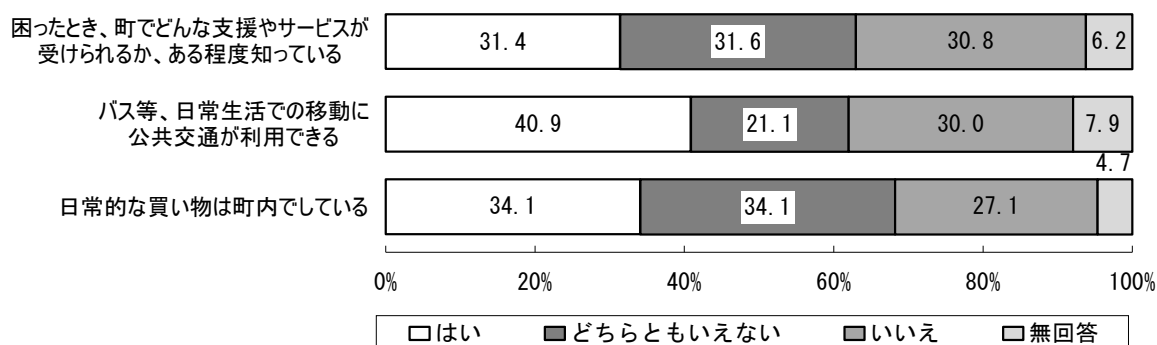
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(4) 近隣の方との親しい付き合い	双葉・中里・花丘・福里地区 74.3%	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区 58.1%	市街地区 49.8%	伏見・栄・福島・川上・知来別地区 46.8%	御園・共栄・金山地区 46.7%	留産・相川・比羅岡地区 44.4%
(5) 自治会活動やボランティアなどの参加	双葉・中里・花丘・福里地区 37.1%	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区 30.2%	伏見・栄・福島・川上・知来別地区 20.3%	市街地区 19.9%	留産・相川・比羅岡地区 11.1%	御園・共栄・金山地区 6.7%
(6) 自由に集まったり、利用できる施設	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区 46.5%	双葉・中里・花丘・福里地区 34.3%	御園・共栄・金山地区 33.3%	留産・相川・比羅岡地区 27.8%	市街地区 23.2%	伏見・栄・福島・川上・知来別地区 19.0%

### (3) 町のサービス等への認知度、生活の利便性：(7)～(9)

町のサービス等への認知度として、「困ったとき、町でどんな支援やサービスが受けられるか、ある程度知っている」(はい)と回答した割合は31.4%を占めています。

また、交通や生活利便性として、「バス等、日常生活での移動に公共交通が利用できる」(40.9%)、「日常的な買い物は町内でしている」(34.1%)となっています。

図表 町のサービス等への認知度、生活の利便性



		n=516	(100.0%)
(7)	困ったとき、町でどんな支援やサービスが受けられるか、ある程度知っている	1 はい	162 31.4%
		2 どちらともいえない	163 31.6%
		3 いいえ	159 30.8%
		無回答	32 6.2%
(8)	バス等、日常生活での移動に公共交通が利用できる	1 はい	211 40.9%
		2 どちらともいえない	109 21.1%
		3 いいえ	155 30.0%
		無回答	41 7.9%
(9)	日常的な買い物は町内でしている	1 はい	176 34.1%
		2 どちらともいえない	176 34.1%
		3 いいえ	140 27.1%
		無回答	24 4.7%

図表 町のサービス等への認知度、生活の利便性(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

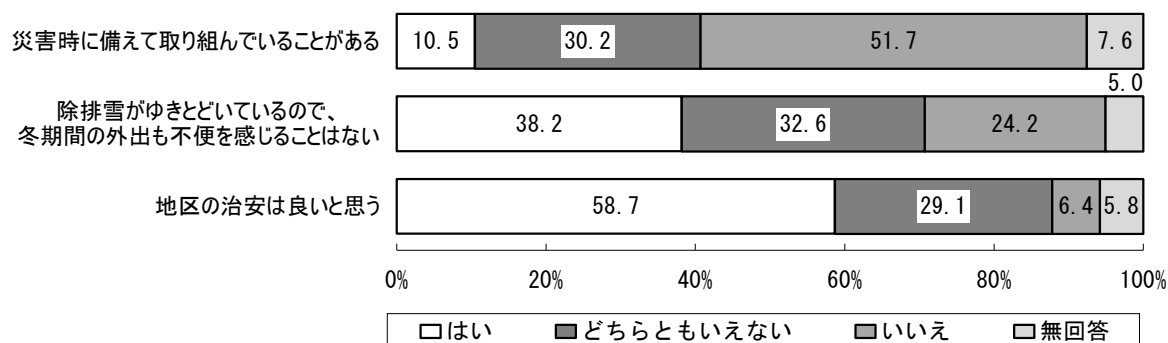
	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(7) 受けられる支援やサービスがある程度知っている	50代	70歳以上	60代	30代	40代	10・20代
	38.7%	38.2%	38.1%	27.7%	18.4%	2.9%
(8) 日常生活での公共交通の利用	50代	70歳以上	60代	10・20代	30代	40代
	48.4%	43.5%	42.5%	40.0%	36.9%	30.3%
(9) 町内での日常的な買い物	70歳以上	60代	40代	50代	10・20代	30代
	45.8%	36.3%	34.2%	33.3%	25.7%	13.8%

(4) 生活環境の安全・安心：(10)～(12)

生活環境の安全・安心として、「災害時に備えて取り組んでいることがある」(はい)と回答した割合は10.5%となっています。

また、「除排雪がゆきとどいているので、冬期間の外出も不便を感じることはない」と回答した割合は、38.2%、「地区の治安が良いと思う」と回答した割合は、58.7%となっています。

図表 生活環境の安全・安心



		n=516	(100.0%)
(10)	1 はい	54	10.5%
	2 どちらともいえない	156	30.2%
	3 いいえ	267	51.7%
	無回答	39	7.6%
(11)	1 はい	197	38.2%
	2 どちらともいえない	168	32.6%
	3 いいえ	125	24.2%
	無回答	26	5.0%
(12)	1 はい	303	58.7%
	2 どちらともいえない	150	29.1%
	3 いいえ	33	6.4%
	無回答	30	5.8%

図表 生活環境の安全・安心(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(10) 災害時に備えて 取り組んでいる ことがある	70歳以上	50代	40代	60代	30代	10・20代
	16.0%	14.0%	7.9%	7.1%	6.2%	5.7%
(11) 除排雪がゆき とどいている	60代	70歳以上	50代	30代	40代	10・20代
	46.9%	46.6%	46.2%	27.7%	25.0%	8.6%
(12) 地区の治安は 良い	30代	60代	10・20代	70歳以上	50代	40代
	66.2%	63.7%	60.0%	59.5%	58.1%	46.1%

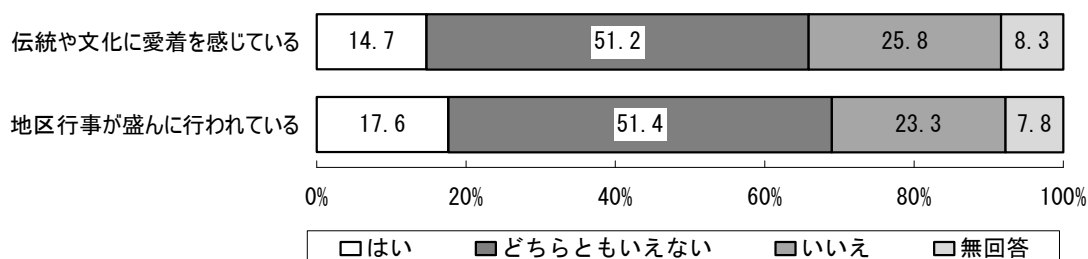
図表 生活環境の安全・安心(項目別・地域別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(10) 災害時に備えて 取り組んでいる ことがある	留産・相川・ 比羅岡地区	御園・共栄・ 金山地区	伏見・栄・ 福島・川上・ 知来別地区	市街地区	双葉・中里・ 花丘・福里 地区	鈴川・福丘・ 尻別・上尻 別地区
	22.2%	20.0%	13.9%	9.3%	8.6%	7.0%
(11) 除排雪がゆき とどいている	双葉・中里・ 花丘・福里 地区	留産・相川・ 比羅岡地区	市街地区	鈴川・福丘・ 尻別・上尻 別地区	御園・共栄・ 金山地区	伏見・栄・ 福島・川上・ 知来別地区
	54.3%	50.0%	40.5%	37.2%	33.3%	25.3%
(12) 地区の治安は 良い	双葉・中里・ 花丘・福里 地区	伏見・栄・福 島・川上・知 来別地区	市街地区	御園・共栄・ 金山地区	留産・相川・ 比羅岡地区	鈴川・福丘・ 尻別・上尻 別地区
	68.6%	60.8%	60.5%	60.0%	50.0%	48.8%

### (5) 地区行事・伝統文化：(13)・(14)

地区行事・伝統文化について、それぞれ“はい”と回答した割合は、それぞれ「伝統や文化に愛着を感じている」(14.7%)、「地区行事が盛んに行われている」(17.6%)となっており、回答全体では、“どちらともいえない”と回答した割合がいずれも5割を上回っています。

図表 地区行事・伝統文化



図表 地区行事・伝統文化

		n=516		(100.0%)	
(13)	伝統や文化に愛着を感じている	1 はい	76	14.7%	
		2 どちらともいえない	264	51.2%	
		3 いいえ	133	25.8%	
		無回答	43	8.3%	
(14)	地区行事が盛んに行われている	1 はい	91	17.6%	
		2 どちらともいえない	265	51.4%	
		3 いいえ	120	23.3%	
		無回答	40	7.8%	

図表 地区行事・伝統文化(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(13) 伝統や文化に愛着を感じている	70歳以上	60代	10・20代	50代	30代	40代
	21.4%	17.7%	14.3%	11.8%	10.8%	6.6%
(14) 地区行事が盛んに行われている	60代	30代	70歳以上	40代	50代	10・20代
	24.8%	16.9%	16.0%	15.8%	15.1%	14.3%

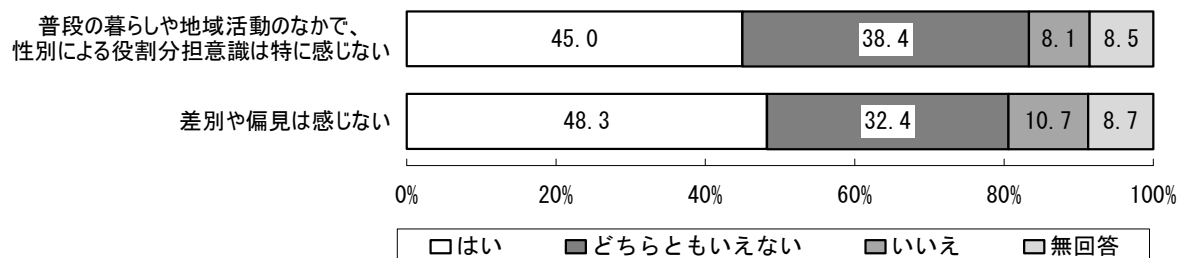
図表 地区行事・伝統文化(項目別・地区別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(13) 伝統や文化に愛着を感じている	御園・共栄・金山地区	双葉・中里・花丘・福里地区	留産・相川・比羅岡地区	伏見・栄・福島・川上・知来別地区	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区	市街地区
	33.3%	22.9%	22.2%	17.7%	11.6%	11.6%
(14) 地区行事が盛んに行われている	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区	双葉・中里・花丘・福里地区	留産・相川・比羅岡地区	御園・共栄・金山地区	伏見・栄・福島・川上・知来別地区	市街地区
	30.2%	22.9%	22.2%	20.0%	19.0%	15.1%

(6) 共同参画・人権意識 : (15)・(16)

共同参画・人権意識として、「普段の暮らしや地域活動のなかで、性別による役割分担意識は特に感じない」(はい)と回答した割合は、45.0%、「差別や偏見は感じない」は、48.3%をそれぞれ占めており、共同参画や人権に対し、妨げを感じる意識は低いことがうかがえます。

図表 共同参画・人権意識



図表 共同参画・人権意識

		n=516 (100.0%)	
(15)	普段の暮らしや地域活動のなかで、性別による役割分担意識は特に感じない	1 はい	232 45.0%
		2 どちらともいえない	198 38.4%
		3 いいえ	42 8.1%
		無回答	44 8.5%
(16)	差別や偏見は感じない	1 はい	249 48.3%
		2 どちらともいえない	167 32.4%
		3 いいえ	55 10.7%
		無回答	45 8.7%

図表 共同参画・人権意識(項目別・年齢別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(15) 性別による役割分担意識は特に感じない	30代	70歳以上	50代	60代	10・20代	40代
	49.2%	48.9%	48.4%	45.1%	37.1%	35.5%
(16) 差別や偏見は感じない	50代	70歳以上	60代	30代	40代	10・20代
	57.0%	52.7%	52.2%	50.8%	31.6%	31.4%

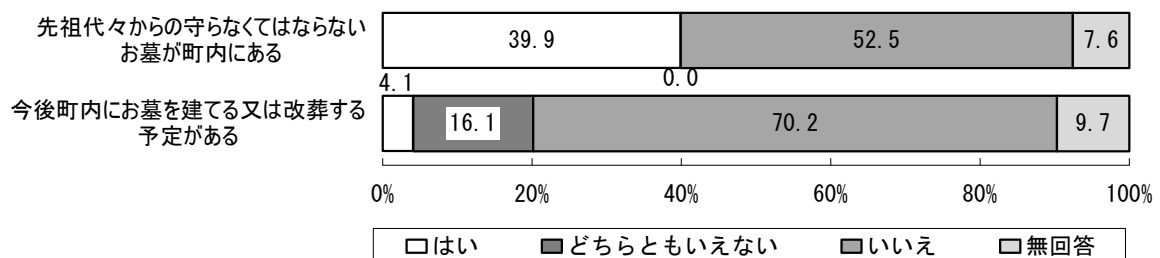
図表 共同参画・人権意識(項目別・地区別:「はい」と回答した上位順)

	1位	2位	3位	4位	5位	6位
(15) 性別による役割分担意識は特に感じない	御園・共栄・金山地区	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区	伏見・栄・福島・川上・知来別地区	双葉・中里・花丘・福里地区	市街地区	留産・相川・比羅岡地区
	53.3%	51.2%	46.8%	45.7%	45.7%	27.8%
(16) 差別や偏見は感じない	鈴川・福丘・尻別・上尻別地区	双葉・中里・花丘・福里地区	伏見・栄・福島・川上・知来別地区	市街地区	御園・共栄・金山地区	留産・相川・比羅岡地区
	58.1%	54.3%	50.6%	47.6%	46.7%	44.4%

(7) 墓地整備に関すること : (17)・(18)

墓地整備に関して、「先祖代々からの守らなくてはならないお墓が町内にある」(はい)と回答した割合は、39.9%であり、「(今後)町内にお墓を建てる又は改葬する予定がある」と回答した割合は、4.1%を占めています。

図表 墓地整備に関すること



図表 墓地整備に関すること

		n=516	(100.0%)
(17)	先祖代々からの守らなくてはならないお墓が町内にある	1 はい	206 39.9%
		2 どちらともいえない	0 0.0%
		3 いいえ	271 52.5%
		無回答	39 7.6%
(18)	(今後)町内にお墓を建てる又は改葬する予定がある	1 はい	21 4.1%
		2 どちらともいえない	83 16.1%
		3 いいえ	362 70.2%
		無回答	50 9.7%

問 お住まいの地区で、次のようなことを感じる場合がありますか。それぞれについて気づいたことがあれば、内容もあわせてご記入ください。

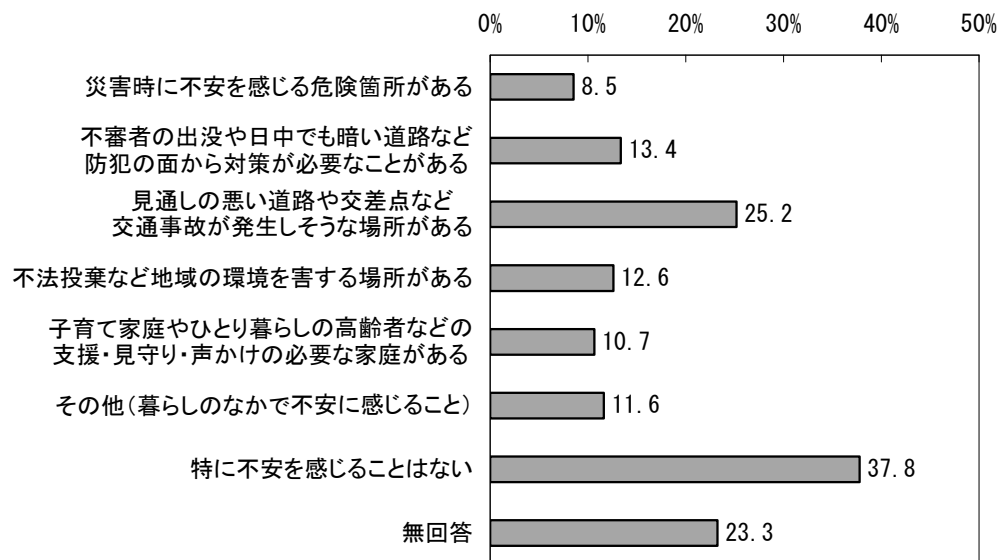
【あてはまるものすべてに○をし、内容を記入】

町全体の危険や不安を感じる場所や見守り等が必要な人については、「交通事故が発生しそうな場所」が最も多く25.2%と、回答者の4人に1人が回答しています。

また、「特に不安を感じることはない」と回答した割合は、37.8%となっています。

図表 地域の危険箇所

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	災害時に不安を感じる危険箇所がある	44	8.5%
2	不審者の出没や日中でも暗い道路など防犯の面から対策が必要なことがある	69	13.4%
3	見通しの悪い道路や交差点など交通事故が発生しそうな場所がある	130	25.2%
4	不法投棄など地域の環境を害する場所がある	65	12.6%
5	子育て家庭やひとり暮らしの高齢者などの支援・見守り・声かけの必要な家庭がある	55	10.7%
6	その他(暮らしのなかで不安に感じる)	60	11.6%
7	特に不安を感じることはない	195	37.8%
	無回答	120	23.3%

## Ⅱ-3. 喜茂別町の取り組みについて

### 1. 町の取り組みに対する評価

問 次の項目について、あなたや家族の暮らしにとってどのくらい満足感や重要性を感じていますか。項目ごとにあてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

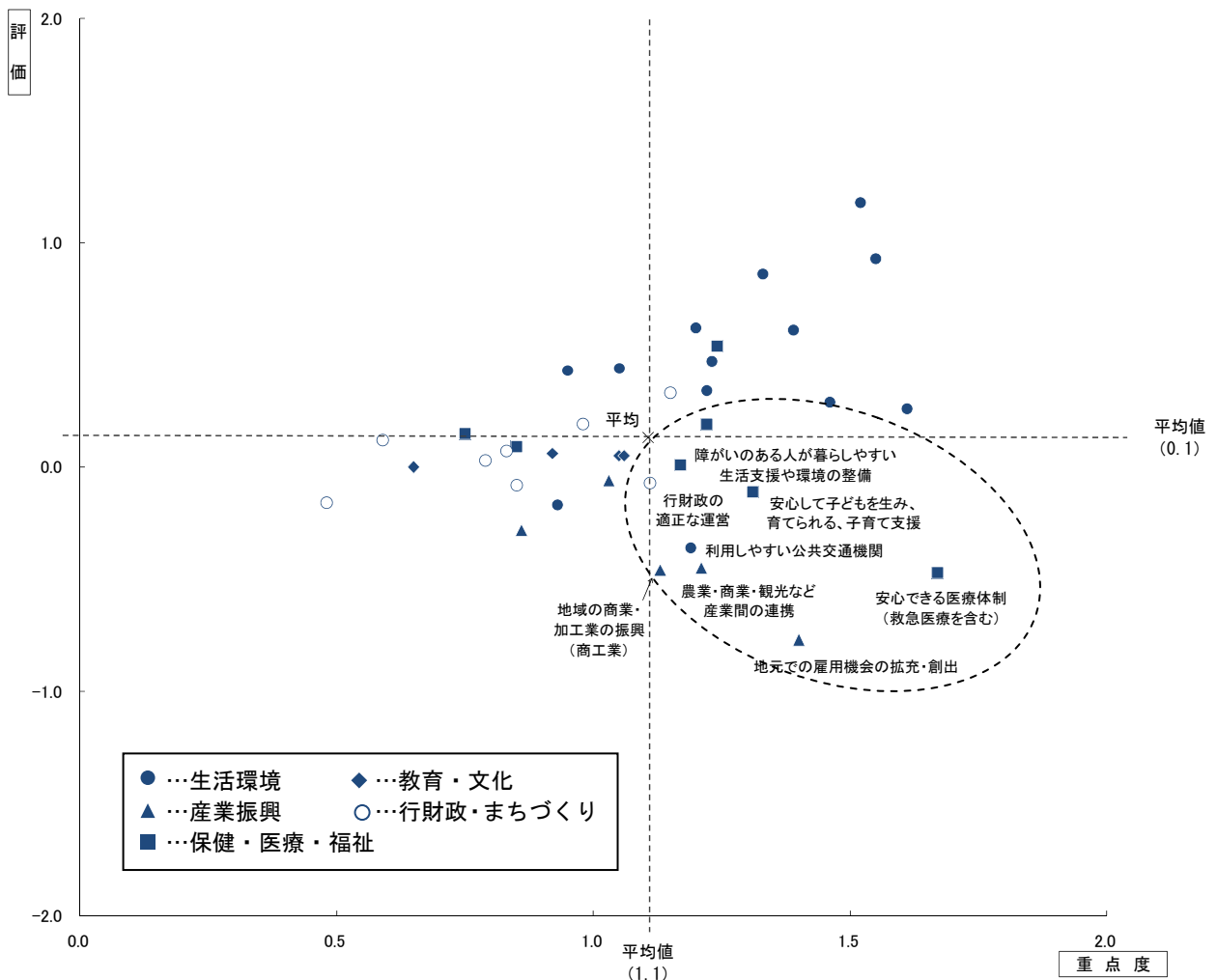
【各項目、あてはまるもの1つに○】

町の取り組みに対する評価として、各施策の満足度・重要度の分布状況は以下のとおりです。

町内全体の施策分野の評価及び今後重要度をみると、特に保健・医療・福祉分野、産業振興の施策の評価が平均値よりも低く、今後の重要度が高い施策（分類4に該当する施策）として多く表れています。

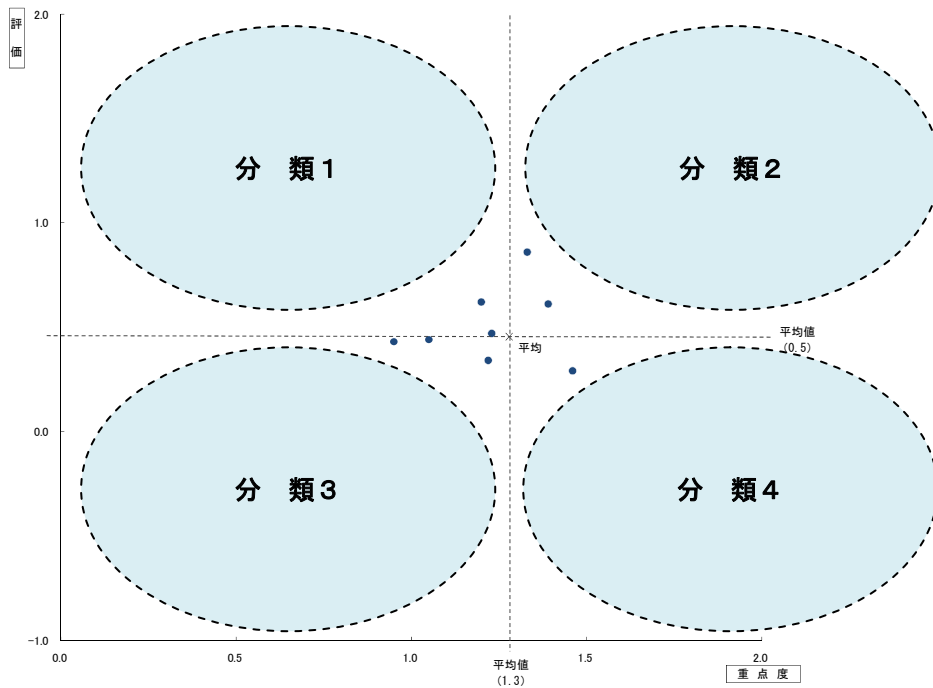
また、「行財政の適正な運営」「利用しやすい公共交通機関」についても満足度が低く、重要度の高い施策として取り組みが望まれています。

図表 施策分野の評価(満足度)・重要度



現計画の評価は、アンケートの結果（5段階）を点数化し、それぞれの施策の平均点を評価（満足度：縦軸）、重要度（横軸）にあらわし、4つの分類で表しています。

図表 評価分散図の見方



※満足度および重要度は、それぞれ5段階評価の平均点  
(満足している=2、やや満足している=1、どちらともいえない=0、やや不満である=-1、不満である=-2)

**分類1：満足度が平均値よりも高く、重要度が平均値よりも低い施策**

現状の取り組みに対して、町の平均以上の満足を得ており、現在の取り組み内容を継続する施策です。

**分類2：満足度・重要度ともに平均値よりも高い施策**

現状の取り組みに対して、町の平均以上の満足を得ており、今後においても引き続き現在の取り組み内容を継続する施策です。

**分類3：満足度・重要度ともに平均値よりも低い施策**

現状の取り組みについて、満足はしていないものの、今後についても優先的な取り組みとしては、比較的低い施策です。ただし場合によっては、ハードや量的なサービス等の整備から転換を図り、質の向上に取り組む必要のある施策等が該当する場合があります。

**分類4：満足度が平均値よりも低く、重要度が平均値よりも高い施策**

現状の取り組みに対して、最優先で取り組む必要性のある施策です。

今後町の現況を把握し、現在の取り組みを強化、改善しながら、取り組む必要が考えられます。

図表 各施策の評価(点数)

項 目		① 満足度	② 重要度
生活環境の向上	(1) 自然と調和したまちなみ・景観	0.43	0.95
	(2) 自然環境の保全	0.44	1.05
	(3) 適切な土地の利用	-0.17	0.93
	(4) 利用しやすい公共交通機関	-0.36	1.19
	(5) 安全で便利な道路	0.29	1.46
	(6) 住宅住環境	0.34	1.22
	(7) 除排雪対策	0.26	1.61
	(8) 町民にわかりやすいごみの減量化・リサイクル対策	0.62	1.20
	(9) 飲用水の確保（水道施設の整備）	1.18	1.52
	(10) 家庭排水の処理	0.86	1.33
	(11) 交通安全・防犯対策	0.61	1.39
	(12) 緊急時も安心な消防・救急体制	0.93	1.55
	(13) 防災、治山治水対策	0.47	1.23
地場産業の振興	(14) 農林畜産業の振興	-0.06	1.03
	(15) 観光地づくり（観光業）	-0.28	0.86
	(16) 地域の商業・加工業の振興（商工業）	-0.46	1.13
	(17) 地元での雇用機会の拡充・創出	-0.77	1.40
	(18) 農業・商業・観光など産業間の連携	-0.45	1.21
保健福祉サービスの充実	(19) 安心できる医療体制（救急医療を含む）	-0.47	1.67
	(20) 地域ぐるみの健康づくりや健診による予防対策	0.54	1.24
	(21) 高齢者への生きがいがづくりや生活支援の推進（介護保険含む）	0.19	1.22
	(22) 障がいのある人が暮らしやすい生活支援や環境の整備	0.01	1.17
	(23) 安心して子どもを生み、育てられる、子育て支援	-0.11	1.31
	(24) 支え合い・ボランティア活動への町民の参加	0.09	0.85
教育環境の充実	(25) 特色のある小中学校での教育	0.05	1.05
	(26) 青少年の健全育成	0.05	1.06
	(27) 生涯学習環境	0.06	0.92
	(28) 健康づくりや町民交流を深めるスポーツ・レクリエーション活動	0.15	0.75

※満足度および重要度は、それぞれ5段階評価の平均点

（満足している=2、やや満足している=1、どちらともいえない=0、やや不満である=-1、不満である=-2）

項 目		① 満足度	② 重要度
まちづくりの推進・行財政運営	(30) 住民との協働（住民参加の機会づくり）	0.03	0.79
	(31) 地域づくり（コミュニティ）活動	0.07	0.83
	(32) 人権・男女共同参画の推進	0.12	0.59
	(33) 行財政の適正な運営	-0.07	1.11
	(34) 広報や接遇など行政サービスの向上	0.19	0.98
	(35) 町民への情報提供	0.33	1.15
	(36) 近隣市町村との交流・連携	-0.08	0.85
	(37) 国際交流・国内の地域間交流	-0.16	0.48

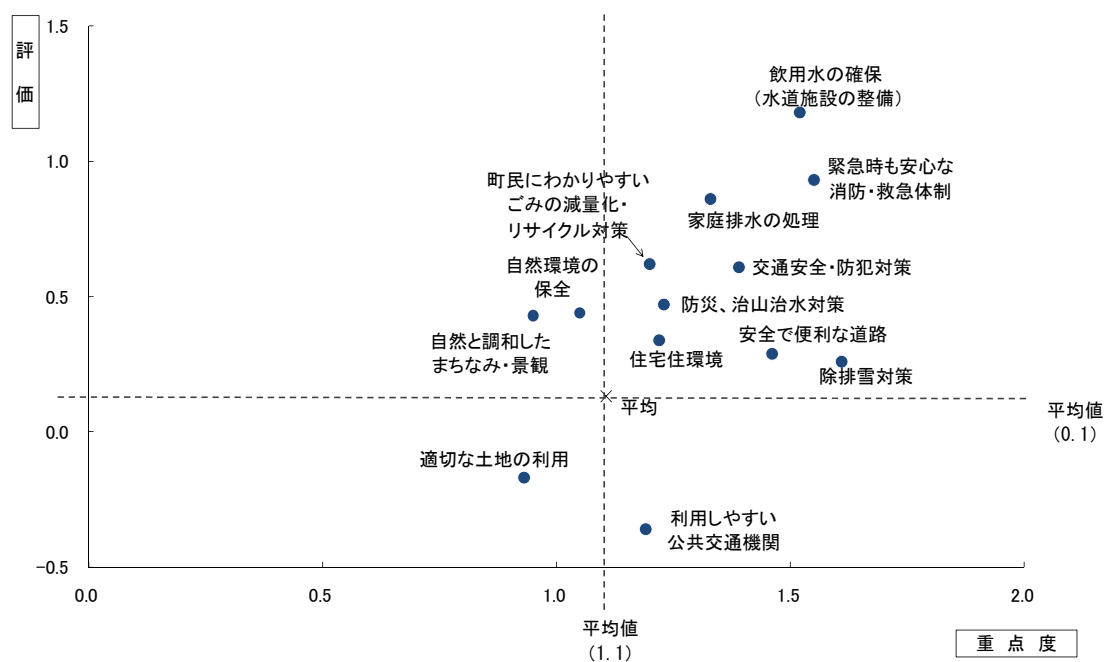
※満足度および重要度は、それぞれ5段階評価の平均点

（満足している=2、やや満足している=1、どちらともいえない=0、やや不満である=-1、不満である=-2）

### （1）生活環境の向上：（1）～（13）

生活環境に関する施策では、「適正な土地の利用」、「利用しやすい公共交通機関」が、評価（満足度）で平均値を下回っていますが、町民の評価としては、今後も継続して取り組む重要性を感じながらも、現状の取り組みに対し、平均以上の評価をしています。

図表 生活環境の向上

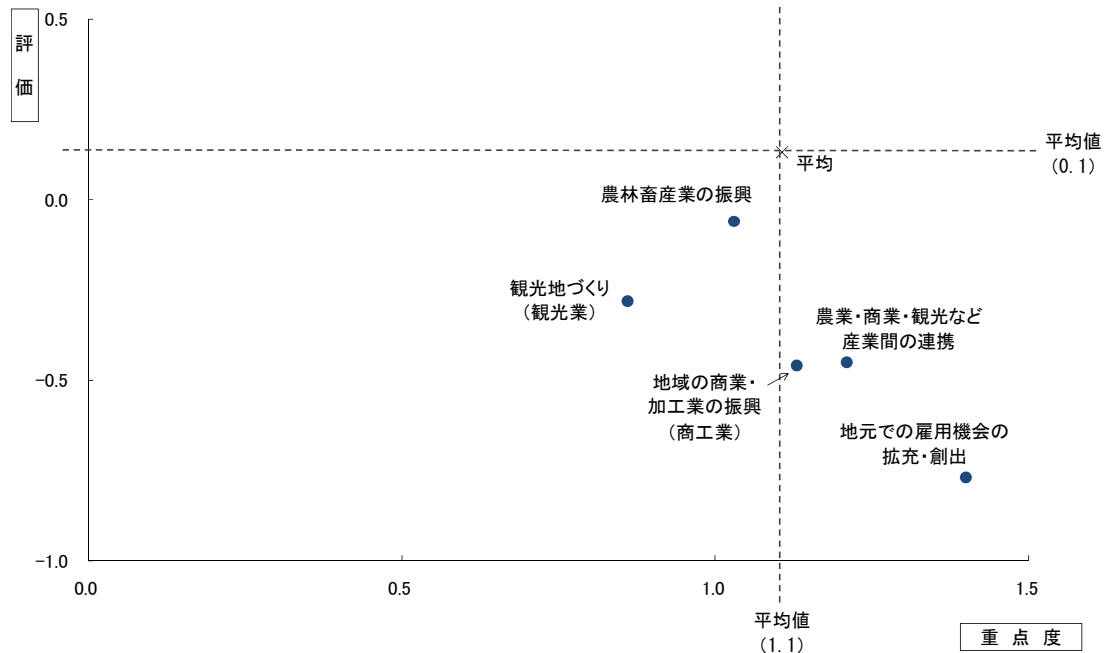


## (2) 地場産業の振興 : (14) ~ (18)

産業に関しては、全ての施策で評価（満足度）が平均を下回っており、産業全体の振興や産業間の連携が求められています。

また、「地元での雇用機会の拡充・創出」を求める意向が特に高いことがうかがえます。

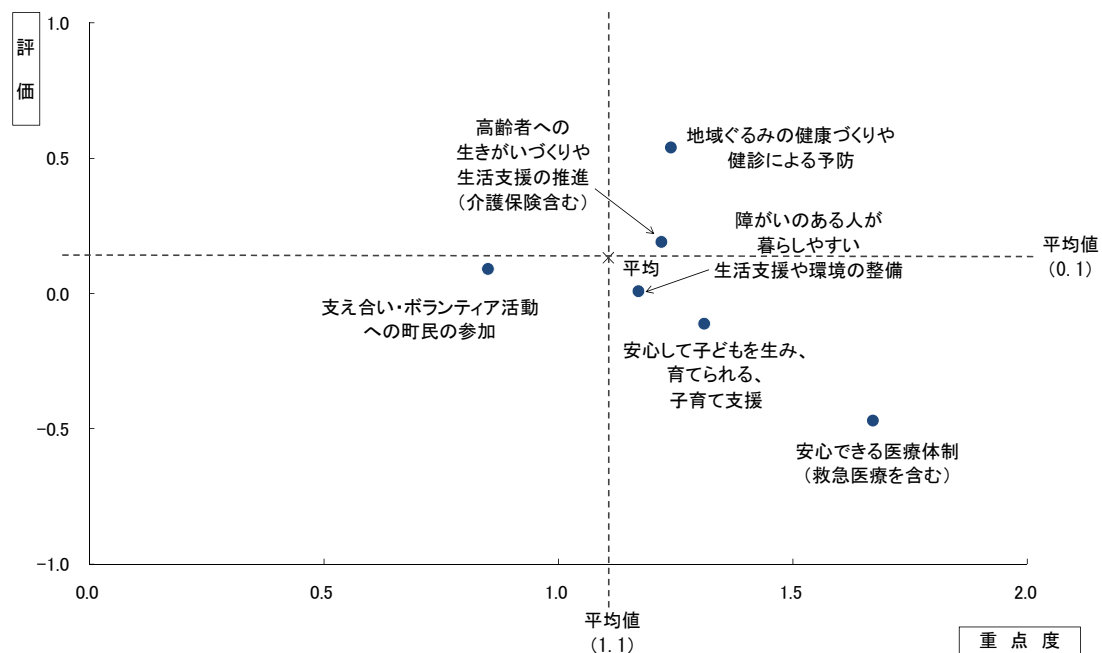
図表 地場産業の振興



## (3) 保健福祉サービスの充実 : (19) ~ (24)

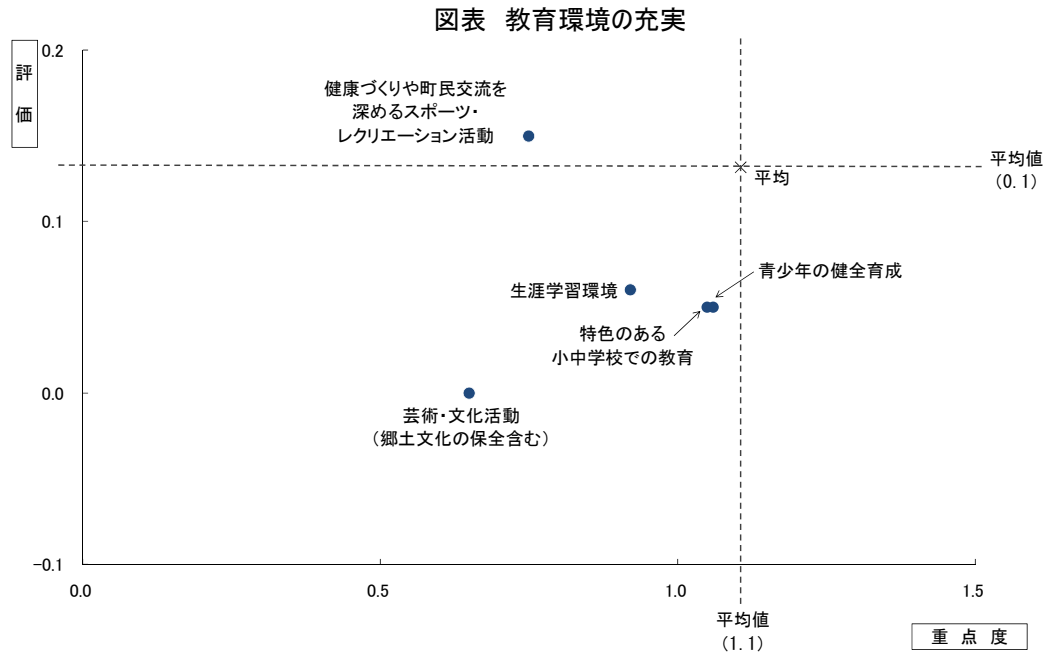
保健・医療・福祉分野に関しては、高齢者や障がいのある人への支援とともに、特に子育て支援、医療体制の充実を望む意向が高いことがうかがえます。

図表 保健福祉サービスの充実



#### (4) 教育環境の充実：(25)～(29)

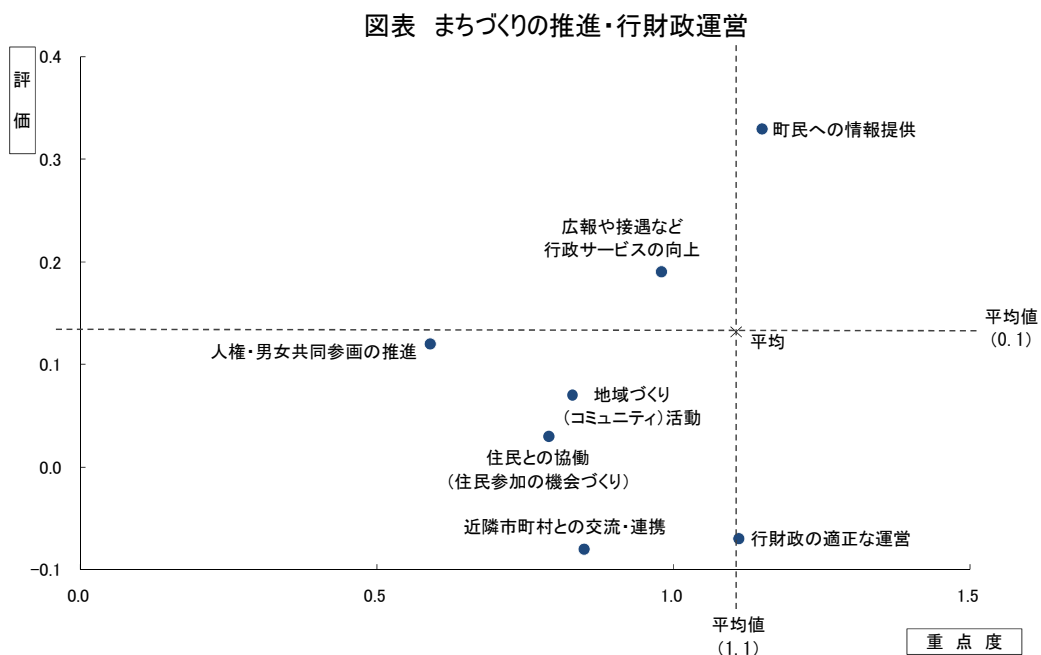
教育・文化に関しては、全体的に満足度は低く、重要度も低い施策多くみられます。しかしながら、健康づくりや生きがいつくり、次世代育成等、福祉分野との関わりも大きいことから、総合的な取り組みが必要です。



#### (5) まちづくりの推進・行財政運営：(30)～(37)

行財政運営に関しては、IP 告知端末の開始等により、情報提供や行政サービスに関しては、評価(満足度)が、平均を上回っていますが、「行財政の適正な運営」については、重点度が高く、この分野の重点課題といえます。

また、まちづくりに関する項目(地域づくり、住民との協働、男女共同参画等)については、全体的に満足度は低いものの、重要度も低い施策多くみられます。



## 2. 町内の生活環境や地域の安全対策について

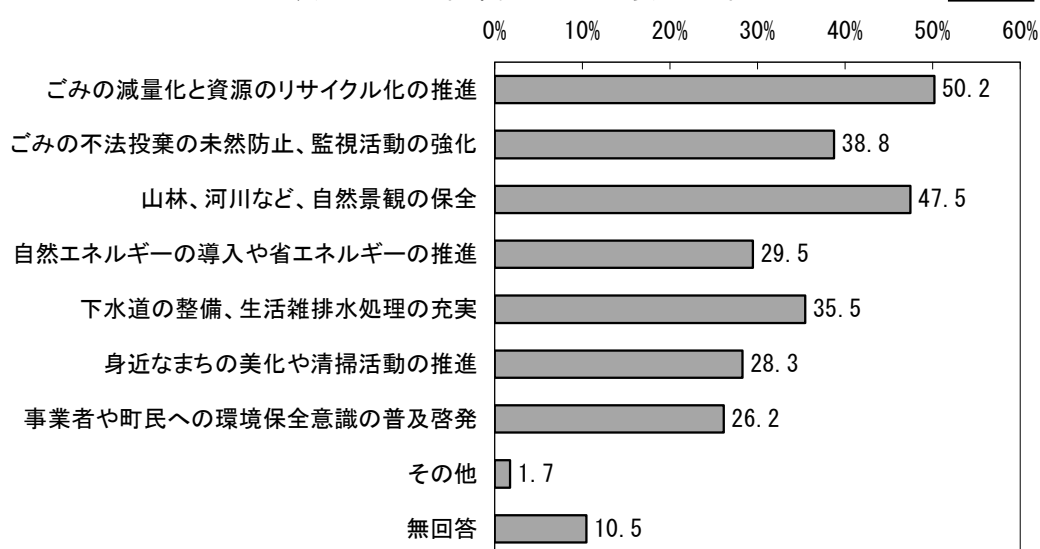
問 あなたは、町内の生活環境のために、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

町内の生活環境のために重要な取り組みとしては、「ごみの減量化と資源のリサイクル化の推進」(50.2%)、「山林、河川など、自然景観の保全」(47.5%)、「ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化」(38.8%)が上位に挙がっています。

図表 町内の生活環境のために重要な取り組み

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	ごみの減量化と資源のリサイクル化の推進	259	50.2%
2	ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化	200	38.8%
3	山林、河川など、自然景観の保全	245	47.5%
4	自然エネルギーの導入や省エネルギーの推進	152	29.5%
5	下水道の整備、生活雑排水処理の充実	183	35.5%
6	身近なまちの美化や清掃活動の推進	146	28.3%
7	事業者や町民への環境保全意識の普及啓発	135	26.2%
8	その他	9	1.7%
	無回答	54	10.5%

図表 町内の生活環境のために重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
※1 暮らしやすい (n=255)	ごみの減量化と資源のリサイクル化の推進 49.0%	山林、河川など、自然景観の保全 49.0%	ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化 38.8%
※2 暮らしにくい (n=246)	ごみの減量化と資源のリサイクル化の推進 52.8%	山林、河川など、自然景観の保全 47.2%	ごみの不法投棄の未然防止、監視活動の強化 39.0%

※1「暮らしやすい」:暮らしやすさについて「とてもそう思う」、「まあ、そう思う」と回答した方

※2「暮らしにくい」:暮らしやすさについて「あまりそう思わない」、「まったくそう思わない」と回答した方

図表 町内の生活環境のために重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実
	62.9%	45.7%	37.1%
30代 (n=65)	自然エネルギーの導入や 省エネルギーの推進	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進
	56.9%	55.4%	52.3%
40代 (n=76)	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	山林、河川など、 自然景観の保全
	46.1%	42.1%	39.5%
50代 (n=93)	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化
	63.4%	59.1%	45.2%
60代 (n=113)	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化
	52.2%	51.3%	40.7%
70歳以上 (n=131)	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実
	48.1%	45.0%	38.2%

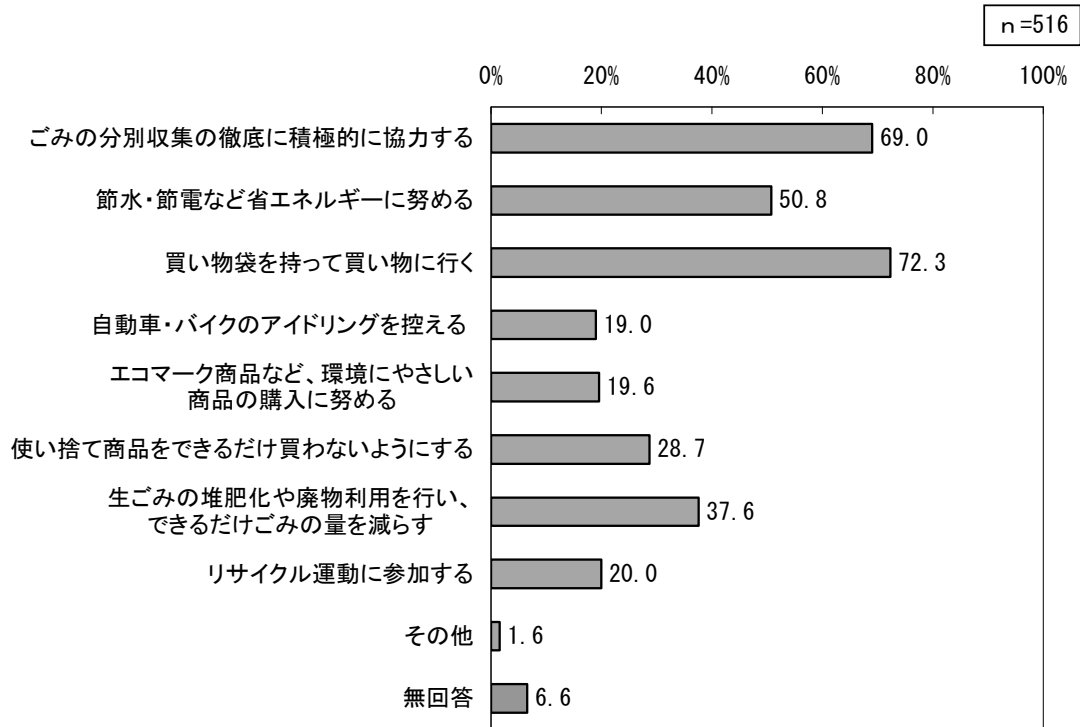
図表 町内の生活環境のために重要な取り組み(地区別:上位3項目)

	1位	2位	3位
市街地区 (n=311)	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化
	56.6%	45.3%	42.1%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実	山林、河川など、自然景 観の保全	自然エネルギーの導入や 省エネルギーの推進
	65.7%	54.3%	45.7%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別 地区 (n=43)	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実	山林、河川など、自然景 観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進
	51.2%	46.5%	44.2%
御園・共栄・ 金山地区 (n=15)	下水道の整備、 生活雑排水処理の充実	ごみの不法投棄の未然防 止、監視活動の強化	事業者や町民への環境 保全意識の普及啓発
	66.7%	40.0%	40.0%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化	山林、河川など、自然景 観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進
	61.1%	61.1%	55.6%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	山林、河川など、 自然景観の保全	ごみの減量化と資源の リサイクル化の推進	ごみの不法投棄の未然 防止、監視活動の強化
	57.0%	38.0%	35.4%

問 あなたは自身の生活のなかで、よりよい環境づくりのために、どのようなことに取り組んでいますか。【 あてはまるものすべてに○ 】

町内の生活環境のために、自身の生活のなかで取り組んでいることとしては、「買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く」(72.3%)、「ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する」(69.0%)、「節水・節電など省エネルギーに努める」(50.8%)が上位に挙がっています。

図表 生活環境のために取り組んでいること



No.		n=516	(100.0%)
1	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	356	69.0%
2	節水・節電など省エネルギーに努める	262	50.8%
3	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	373	72.3%
4	自動車・バイクのアイドリングを控える	98	19.0%
5	エコマーク商品など、環境にやさしい商品の購入に努める	101	19.6%
6	使い捨て商品をできるだけ買わないようにする	148	28.7%
7	生ごみの堆肥化や廃物利用を行い、できるだけごみの量を減らす	194	37.6%
8	リサイクル運動に参加する	103	20.0%
9	その他	8	1.6%
	無回答	34	6.6%

図表 生活環境のために取り組んでいること(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	節水・節電など省エネルギーに努める
	60.0%	54.3%	37.1%
30代 (n=65)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	節水・節電など省エネルギーに努める
	78.5%	72.3%	55.4%
40代 (n=76)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	節水・節電など省エネルギーに努める
	68.4%	64.5%	47.4%
50代 (n=93)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	節水・節電など省エネルギーに努める
	77.4%	71.0%	50.5%
60代 (n=113)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	節水・節電など省エネルギーに努める
	75.2%	71.7%	54.9%
70歳以上 (n=131)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	生ごみの堆肥化や廃物利用を行い、できるだけごみの量を減らす
	71.0%	69.5%	55.0%

図表 生活環境のために取り組んでいること(地区別:上位3項目)

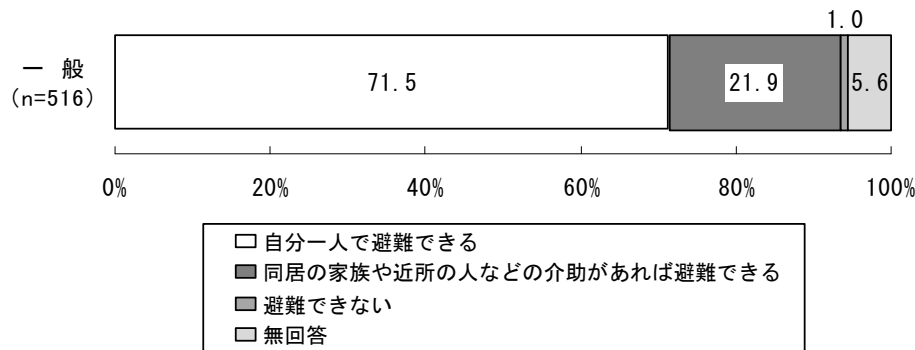
	1位	2位	3位
市街地区 (n=311)	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	節水・節電など省エネルギーに努める
	74.9%	73.6%	54.3%
双葉・中里・花丘・福里地区 (n=35)	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	生ごみの堆肥化や廃物利用を行い、できるだけごみの量を減らす
	68.6%	65.7%	65.7%
鈴川・福丘・尻別・上尻別地区 (n=43)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	生ごみの堆肥化や廃物利用を行い、できるだけごみの量を減らす
	88.4%	67.4%	60.5%
御園・共栄・金山地区 (n=15)	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	節水・節電など省エネルギーに努める
	60.0%	60.0%	46.7%
留産・相川・比羅岡地区 (n=18)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	リサイクル運動に参加する
	72.2%	44.4%	44.4%
伏見・栄・福島・川上・知来別地区 (n=79)	買い物をするとき、買い物袋を持って買い物に行く	ごみの分別収集の徹底に積極的に協力する	節水・節電など省エネルギーに努める
	63.3%	60.8%	50.6%

問 地震等の災害が発生したとき、あなたはどのように避難しますか。【1つに○】

災害発生時の避難状況として、「自分一人で避難できる」と回答した割合は、71.5%となっており、「同居の家族や近所の人などの介助があれば避難できる」と回答した割合は、21.9%を占めています。

一方で、「避難できない」と回答した割合は1.0%となっています。

図表 災害時の避難



No.		n=516	(100.0%)
1	自分一人で避難できる	369	71.5%
2	同居の家族や近所の人などの介助があれば避難できる	113	21.9%
3	避難できない	5	1.0%
	無回答	29	5.6%

図表 災害時の避難(地区別・世帯状況別)

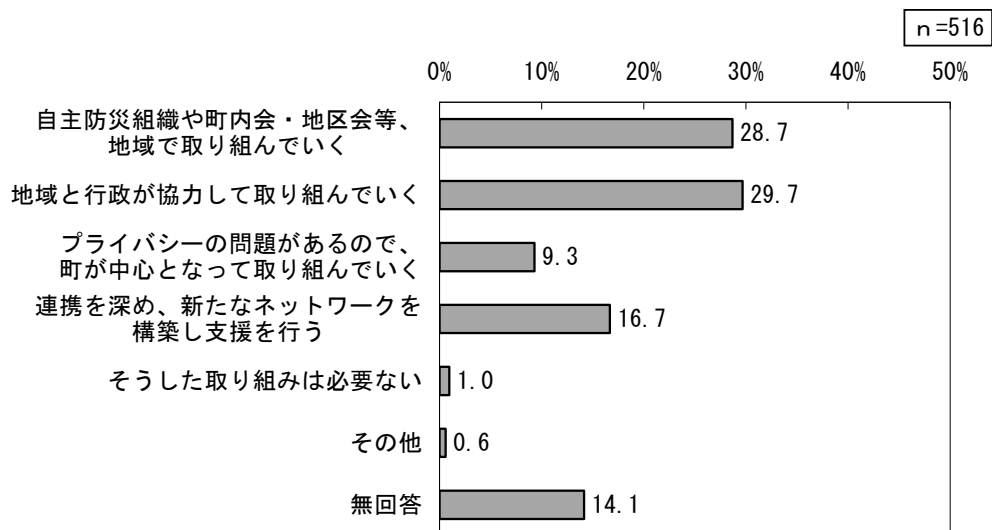
	避難できる		避難できない	無回答
	自分一人で 避難できる	介助があれば 避難できる		
市街地区 (n=311)	76.5%	18.0%	1.0%	4.5%
双葉・中里・花丘・ 福里地区 (n=35)	74.3%	22.9%	0.0%	2.9%
鈴川・福丘・尻別・ 上尻別地区 (n=43)	74.4%	25.6%	0.0%	0.0%
御園・共栄・金山 地区 (n=15)	60.0%	26.7%	0.0%	13.3%
留産・相川・ 比羅岡地区 (n=18)	55.6%	33.3%	0.0%	11.1%
伏見・栄・福島・ 川上・知来別地区 (n=79)	59.5%	29.1%	2.5%	8.9%

	避難できる		避難できない	無回答
	自分一人で避難できる	介助があれば避難できる		
未就学児童のいる世帯 (n=64)	73.4%	26.6%	0.0%	0.0%
児童・生徒のいる世帯 (n=81)	80.2%	19.8%	0.0%	0.0%
介護の必要な世帯 (n=58)	49.0%	44.9%	2.0%	4.1%
65歳以上のいる世帯 (n=186)	71.0%	28.0%	0.0%	1.1%
高齢者のみの世帯 (n=90)	68.9%	28.9%	0.0%	2.2%
ひとり暮らし高齢世帯 (n=25)	80.0%	16.0%	4.0%	0.0%

問 災害が発生したとき、自分一人で避難できない方等、手助けが必要な方に対する支援の取り組みについて、あなたはどのように思いますか。【1つに〇】

災害が発生したとき、自分一人で避難できない方等、手助けが必要な方に対する支援の取り組みについては、「地域と行政が協力して取り組んでいくことが望ましい」(29.7%)、「自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくことが望ましい」(28.7%)が、それぞれ3割近い意向として上位に挙がっており、次いで、「町、民生委員児童委員、町内会・地区会、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し支援を行うことが望ましい」(16.7%)が挙がっています。

図表 災害時の支援の取り組み



図表 災害時の支援の取り組み

No.		n=516	(100.0%)
1	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくことが望ましい	148	28.7%
2	地域と行政が協力して取り組んでいくことが望ましい	153	29.7%
3	プライバシーの問題があるので、町が中心となって取り組んでいくことが望ましい	48	9.3%
4	町、民生委員児童委員、町内会・地区会、社会福祉協議会の連携を深め、新たなネットワークを構築し支援を行うことが望ましい	86	16.7%
5	そうした取り組みは必要ない	5	1.0%
6	その他	3	0.6%
	無回答	73	14.1%

図表 災害時の支援の取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 29.0%	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 29.0%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 16.5%
暮らしにくい (n=246)	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 31.3%	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 29.3%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 16.7%

図表 災害時の支援の取り組み(地区別:上位3項目)

	1位	2位	3位
市街地区 (n=311)	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 51.4%	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 28.6%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 11.4%
双葉・中里・花丘・福里地区 (n=35)	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 30.2%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 20.9%	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 18.6%
鈴川・福丘・尻別・上尻別地区 (n=43)	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 46.7%	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 13.3%	プライバシーの問題があるので、町が中心となって取り組んでいくこと 6.7%
御園・共栄・金山地区 (n=15)	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 50.0%	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 22.2%	プライバシーの問題があるので、町が中心となって取り組んでいくこと 5.6%
留産・相川・比羅岡地区 (n=18)	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 29.1%	地域と行政が協力して取り組んでいくことが望ましい 20.3%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 19.0%
伏見・栄・福島・川上・知来別地区 (n=79)	地域と行政が協力して取り組んでいくこと 51.4%	自主防災組織や町内会・地区会等、地域で取り組んでいくこと 28.6%	新たなネットワークを構築し支援を行うこと 11.4%

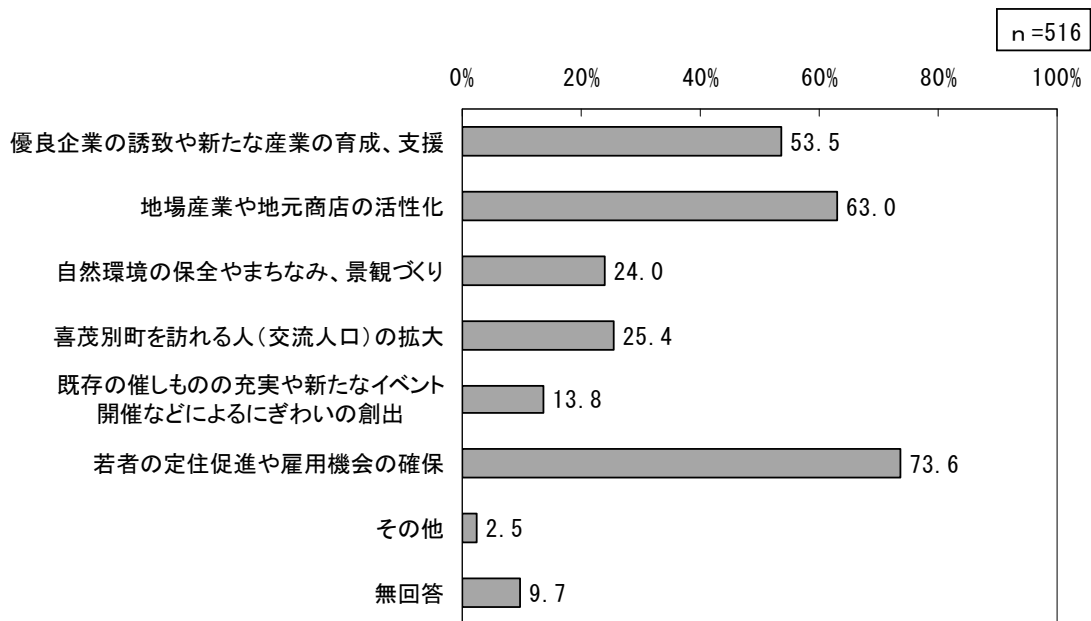
### 3. 町の活性化・産業振興について

問 あなたは、町の活性化のために、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

町の活性化のために重要な取り組みとしては、「若者の定住促進や雇用機会の確保」(73.6%) 最上位に挙がっており、次いで、「地場産業や地元商店の活性化」(63.0%)、「優良企業の誘致や新たな産業の育成、支援」(53.5%) が上位を占めています。

図表 町の活性化のために重要な取り組み



No.		n=516	(100.0%)
1	優良企業の誘致や新たな産業の育成、支援	276	53.5%
2	地場産業や地元商店の活性化	325	63.0%
3	自然環境の保全やまちなみ、景観づくり	124	24.0%
4	喜茂別町を訪れる人(交流人口)の拡大	131	25.4%
5	既存の催しものの充実や新たなイベント開催などによるにぎわいの創出	71	13.8%
6	若者の定住促進や雇用機会の確保	380	73.6%
7	その他	13	2.5%
	無回答	50	9.7%

図表 町の活性化のために重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	若者の定住促進や雇用機会の確保 74.5%	地場産業や地元商店の活性化 63.5%	優良企業の誘致や新たな産業の育成、支援 53.3%
暮らしにくい (n=246)	若者の定住促進や雇用機会の確保 74.4%	地場産業や地元商店の活性化 63.0%	優良企業の誘致や新たな産業の育成、支援 54.1%

図表 町の活性化のために重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	77.1%	57.1%	45.7%
30代 (n=65)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	70.8%	63.1%	41.5%
40代 (n=76)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	77.6%	65.8%	52.6%
50代 (n=93)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	69.9%	65.6%	57.0%
60代 (n=113)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	76.1%	67.3%	62.8%
70歳以上 (n=131)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	73.3%	58.8%	52.7%

図表 町の活性化のために重要な取り組み(職業別:上位3項目)

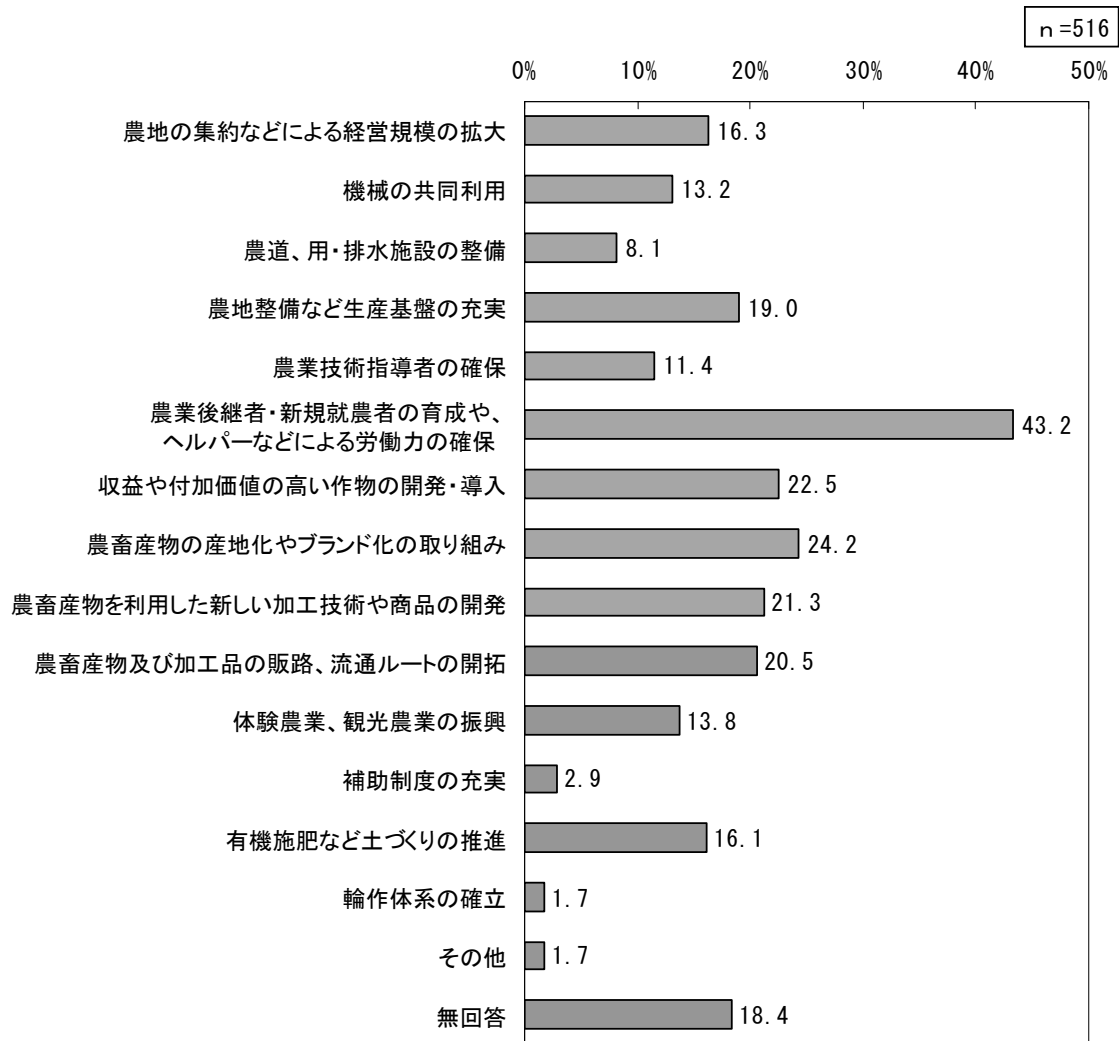
	1位	2位	3位
農林畜産業 (n=73)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	83.6%	65.8%	58.9%
製造業・建設業 (n=29)	優良企業の誘致や新たな産業の育成、支援 若者の定住促進や雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	
	75.9%	55.2%	
商業・ サービス業等 (n=70)	地場産業や地元商店の活性化 若者の定住促進や雇用機会の確保	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援	
	77.1%	55.7%	
公務員・団体職員 (n=69)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	78.3%	69.6%	43.5%
パートタイマー (n=43)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	81.4%	62.8%	46.5%
家事専業 (n=59)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	優良企業の誘致や 新たな産業の育成、支援
	79.7%	72.9%	59.3%
自由業 (n=5)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	地場産業や地元商店の 活性化	自然環境の保全や まちなみ、景観づくり
	80.0%	60.0%	40.0%
無職 (n=118)	若者の定住促進や 雇用機会の確保	優良企業の誘致や新たな 産業の育成、支援	地場産業や地元商店の 活性化
	66.1%	57.6%	53.4%

問 あなたは、「農業振興」のために、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「農業振興」のために重要な取り組みとしては、「農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保」(43.2%)が最も多く、次いで「農畜産物の産地化やブランド化の取り組み」(24.2%)、「収益や付加価値(健康、環境、安全など)の高い作物の開発・導入」(22.5%)の順に上位に挙がっています。

図表 「農業振興」のために重要な取り組み



図表 「農業振興」のために重要な取り組み

No.		n=516	(100.0%)
1	農地の集約などによる経営規模の拡大	84	16.3%
2	機械の共同利用	68	13.2%
3	農道、用・排水施設の整備	42	8.1%
4	農地整備など生産基盤の充実	98	19.0%
5	農業技術指導者の確保	59	11.4%
6	農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保	223	43.2%
7	収益や付加価値（健康、環境、安全など）の高い作物の開発・導入	116	22.5%
8	農畜産物の産地化やブランド化の取り組み	125	24.2%
9	農畜産物を利用した新しい加工技術や商品の開発	110	21.3%
10	農畜産物及び加工品の販路、流通ルートの開拓	106	20.5%
11	体験農業、観光農業の振興	71	13.8%
12	補助制度の充実	15	2.9%
13	有機施肥など土づくりの推進	83	16.1%
14	輪作体系の確立	9	1.7%
15	その他	9	1.7%
	無回答	95	18.4%

図表 「農業振興」のために重要な取り組み（暮らしやすさ別：上位3項目）

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保 42.7%	収益や付加価値（健康、環境、安全など）の高い作物の開発・導入 21.6%	農地整備など生産基盤の充実 19.6%
暮らしにくい (n=246)	農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保 44.7%	農畜産物の産地化やブランド化の取り組み 29.7%	農畜産物を利用した新しい加工技術や商品の開発 24.0%

図表 「農業振興」のために重要な取り組み（職業別：上位3項目）

	1位	2位	3位
農林畜産業 (n=73)	農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保 50.7%	農地整備など生産基盤の充実 30.1%	収益や付加価値（健康、環境、安全など）の高い作物の開発・導入 28.8%
製造業・建設業 (n=29)	農畜産物の産地化やブランド化の取り組み 44.8%	収益や付加価値（健康、環境、安全など）の高い作物の開発・導入 31.0%	農畜産物及び加工品の販路、流通ルートの開拓 31.0%
商業・サービス業等 (n=70)	農業後継者・新規就農者の育成や、ヘルパーなどによる労働力の確保 50.0%	農畜産物の産地化やブランド化の取り組み 35.7%	農畜産物を利用した新しい加工技術や商品の開発 32.9%

図表 「農業振興」のために重要な取り組み（年齢別：上位3項目）

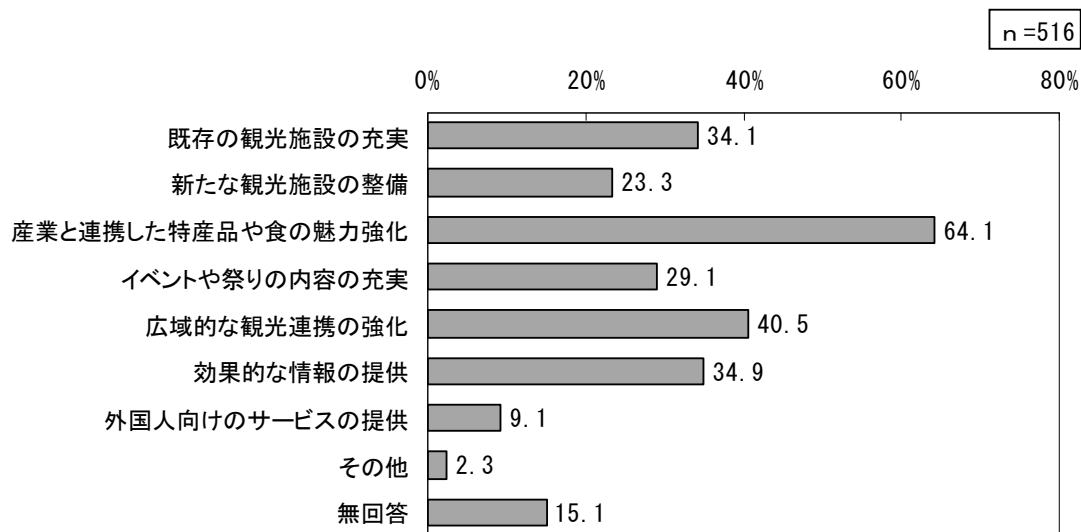
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	農畜産物の産地化や ブランド化の取り組み	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	農畜産物及び加工品の 販路、流通ルートの開拓
	40.0%	28.6%	28.6%
30代 (n=65)	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	農畜産物及び加工品の販 路、流通ルートの開拓	農畜産物の産地化や ブランド化の取り組み
	55.4%	40.0%	32.3%
40代 (n=76)	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	農畜産物の産地化や ブランド化の取り組み	収益や付加価値（健康、 環境、安全など）の高い 作物の開発・導入
	46.1%	43.4%	28.9%
50代 (n=93)	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	収益や付加価値（健康、 環境、安全など）の高い 作物の開発・導入	農畜産物の産地化やブラ ンド化の取り組み
	44.1%	29.0%	24.7%
60代 (n=113)	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	農畜産物を利用した新しい 加工技術や商品の開発	収益や付加価値（健康、 環境、安全など）の高い 作物の開発・導入
	40.7%	24.8%	23.0%
70歳以上 (n=131)	農業後継者・新規就農者 の育成や、ヘルパーなど による労働力の確保	農地整備など生産基盤の 充実	機械の共同利用
	41.2%	22.1%	18.3%

問 あなたは、「観光振興」のために、何が重要だと考えますか。

【重要な順に3つまで数字を記入】

「観光振興」のために重要な取り組みとしては、「産業と連携した特産品や食の魅力強化」(64.1%)が最も多く、次いで「広域的な観光連携の強化」(40.5%)、「効果的な情報の提供」(34.9%)の順に上位に挙がっています。

図表 「観光振興」のために重要な取り組み



図表 「観光振興」のために重要な取り組み

No.		n=516	(100.0%)
1	既存の観光施設の充実	176	34.1
2	新たな観光施設の整備	120	23.3
3	産業と連携した特産品や食の魅力強化	331	64.1
4	イベントや祭りの内容の充実	150	29.1
5	広域的な観光連携の強化	209	40.5
6	効果的な情報の提供	180	34.9
7	外国人向けのサービスの提供	47	9.1
8	その他	12	2.3
	無回答	78	15.1

図表 「観光振興」のために重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	広域的な観光連携の強化	効果的な情報の提供
	64.7%	43.5%	35.7%
暮らしにくい (n=246)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	広域的な観光連携の強化	効果的な情報の提供
	63.8%	38.2%	35.4%

図表 「観光振興」のために重要な取り組み(職業別:上位3項目)

	1位	2位	3位
農林畜産業 (n=73)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	効果的な情報の提供	広域的な観光連携の強化
	68.5%	43.8%	42.5%
製造業・建設業 (n=29)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	新たな観光施設の整備	広域的な観光連携の強化
	62.1%	41.4%	34.5%
商業・サービス業等 (n=70)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	広域的な観光連携の強化	既存の観光施設の充実
	74.3%	48.6%	40.0%

図表 「観光振興」のために重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	イベントや祭りの内容の充実	効果的な情報の提供
	51.4%	48.6%	37.1%
30代 (n=65)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	既存の観光施設の充実	広域的な観光連携の強化
	69.2%	43.1%	41.5%
40代 (n=76)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	効果的な情報の提供	広域的な観光連携の強化
	69.7%	48.7%	39.5%
50代 (n=93)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	広域的な観光連携の強化	既存の観光施設の充実
	72.0%	50.5%	38.7%

	1位	2位	3位
60代 (n=113)	外国人向けのサービスの提供	新たな観光施設の整備	イベントや祭りの内容の充実
	8.0%	22.1%	28.3%
70歳以上 (n=131)	産業と連携した特産品や食の魅力強化	広域的な観光連携の強化	効果的な情報の提供
	55.7%	37.4%	28.2%

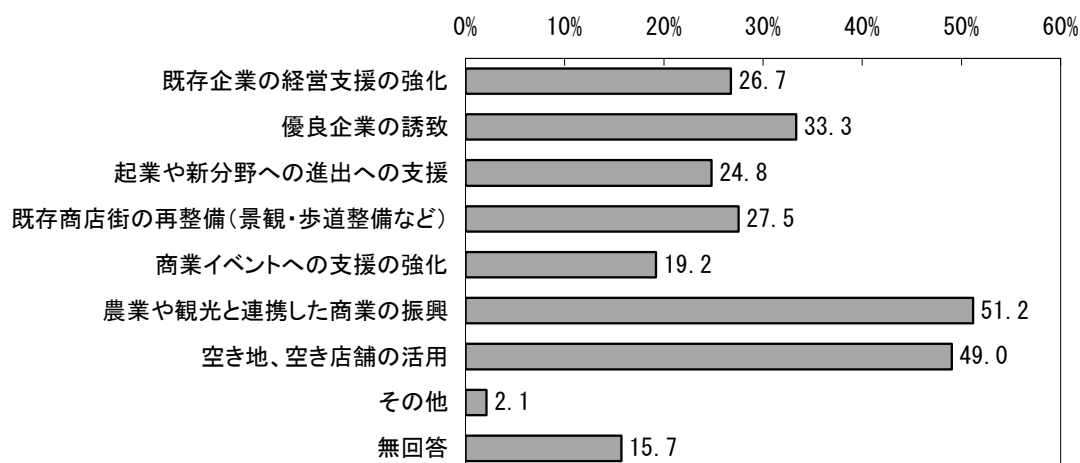
問 あなたは、「商業振興」のために、何が重要だと考えますか。

【重要な順に3つまで数字を記入】

「商業振興」のために重要な取り組みとしては、「農業や観光と連携した商業の振興」(51.2%)が最も多く、次いで「空き地、空き店舗の活用」(49.0%)、「優良企業の誘致」(33.3%)の順に上位に挙がっています。

図表 「商業振興」のために重要な取り組み

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	既存企業の経営支援の強化(融資、利子助成、アドバイス等)	138	26.7%
2	優良企業の誘致	172	33.3%
3	起業や新分野への進出への支援	128	24.8%
4	既存商店街の再整備(景観・歩道整備など)	142	27.5%
5	商業イベントへの支援の強化	99	19.2%
6	農業や観光と連携した商業の振興	264	51.2%
7	空き地、空き店舗の活用	253	49.0%
8	その他	11	2.1%
	無回答	81	15.7%

図表 「商業振興」のために重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	農業や観光と連携した商業の振興	空き地、空き店舗の活用	優良企業の誘致
	53.7%	43.9%	32.2%
暮らしにくい (n=246)	空き地、空き店舗の活用	農業や観光と連携した商業の振興	優良企業の誘致
	53.7%	49.6%	36.2%

図表 「商業振興」のために重要な取り組み(職業別:上位3項目)

	1位	2位	3位
農林畜産業 (n=73)	農業や観光と連携した 商業の振興	空き地、空き店舗の活用	既存企業の経営支援の強化 (融資、利子助成、アドバイス等)
	58.9%	45.2%	37.0%
製造業・建設業 (n=29)	空き地、空き店舗の活用	起業や新分野への進出へ の支援	優良企業の誘致
	51.7%	41.4%	37.9%
商業・ サービス業等 (n=70)	空き地、空き店舗の活用	農業や観光と連携した 商業の振興	既存企業の経営支援の強化 (融資、利子助成、アドバイス等)
	61.4%	51.4%	44.3%

図表 「商業振興」のために重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	空き地、空き店舗の活用	既存企業の経営支援の強化 (融資、利子助成、アドバイス等)	農業や観光と連携した 商業の振興
	62.9%	34.3%	34.3%
30代 (n=65)	農業や観光と連携した 商業の振興	空き地、空き店舗の活用	優良企業の誘致
	67.7%	53.8%	33.8%
40代 (n=76)	空き地、空き店舗の活用	農業や観光と連携した商 業の振興	既存企業の経営支援の強化 (融資、利子助成、アドバイス等)
	55.3%	51.3%	32.9%
50代 (n=93)	農業や観光と連携した 商業の振興	空き地、空き店舗の活用	優良企業の誘致
	53.8%	49.5%	37.6%
60代 (n=113)	農業や観光と連携した 商業の振興	空き地、空き店舗の活用	優良企業の誘致
	58.4%	39.8%	38.1%
70歳以上 (n=131)	空き地、空き店舗の活用	農業や観光と連携した 商業の振興	優良企業の誘致
	48.1%	39.7%	29.0%

## 4. 保健・福祉・医療への取り組みについて

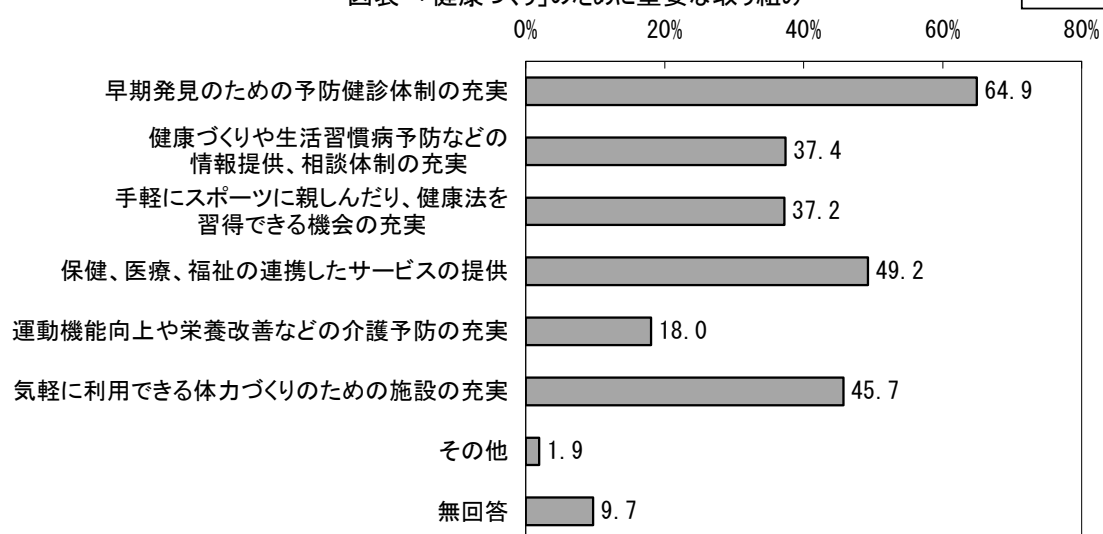
問 あなたは、「健康づくり」に関して、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「健康づくり」のために重要な取り組みとしては、「健康維持や病気などの早期発見のための予防健診体制の充実」(64.9%)と回答した割合が最も多く、次いで、「健康づくり体制の強化のため、保健、医療、福祉の各機関が連携したサービスの提供」(49.2%)、「気軽に利用できる体力づくりのための施設の充実」(45.7%)順に上位に挙がっています。

図表 「健康づくり」のために重要な取り組み

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	健康維持や病気などの早期発見のための予防健診体制の充実	335	64.9%
2	健康づくりのお知らせや生活習慣病の予防などに関する情報提供、相談体制の充実	193	37.4%
3	健康増進を図るため、手軽にスポーツに親しんだり、健康法を習得できる機会の充実	192	37.2%
4	健康づくり体制の強化のため、保健、医療、福祉の各機関が連携したサービスの提供	254	49.2%
5	運動機能向上や栄養改善などの介護予防の充実	93	18.0%
6	気軽に利用できる体力づくりのための施設の充実	236	45.7%
7	その他	10	1.9%
	無回答	50	9.7%

図表 「健康づくり」のために重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	健康維持や病気などの早期発見のための予防健診体制の充実 69.0%	保健、医療、福祉の各機関が連携したサービスの提供 49.8%	情報提供、相談体制の充実 43.1%
暮らしにくい (n=246)	健康維持や病気などの早期発見のための予防健診体制の充実 62.6%	気軽に利用できる体力づくりのための施設の充実 53.3%	保健、医療、福祉の各機関が連携したサービスの提供 48.8%

図表 「健康づくり」のために重要な取り組み(世帯状況別:上位3項目)

	1位	2位	3位
未就学児童の いる世帯 (n=64)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供
	76.6%	59.4%	45.3%
児童・生徒の いる世帯 (n=81)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実	手軽にスポーツに親しん だり、健康法を習得 できる機会の充実
	65.4%	59.3%	44.4%
介護の必要な 世帯 (n=58)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実
	61.2%	53.1%	40.8%
65歳以上の いる世帯 (n=186)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	情報提供、相談体制の 充実
	71.5%	48.4%	45.2%
高齢者のみの 世帯 (n=90)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	情報提供、相談体制の 充実
	70.0%	50.0%	41.1%
ひとり暮らし 高齢世帯 (n=25)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供
	68.0%	64.0%	52.0%

図表 「健康づくり」のために重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

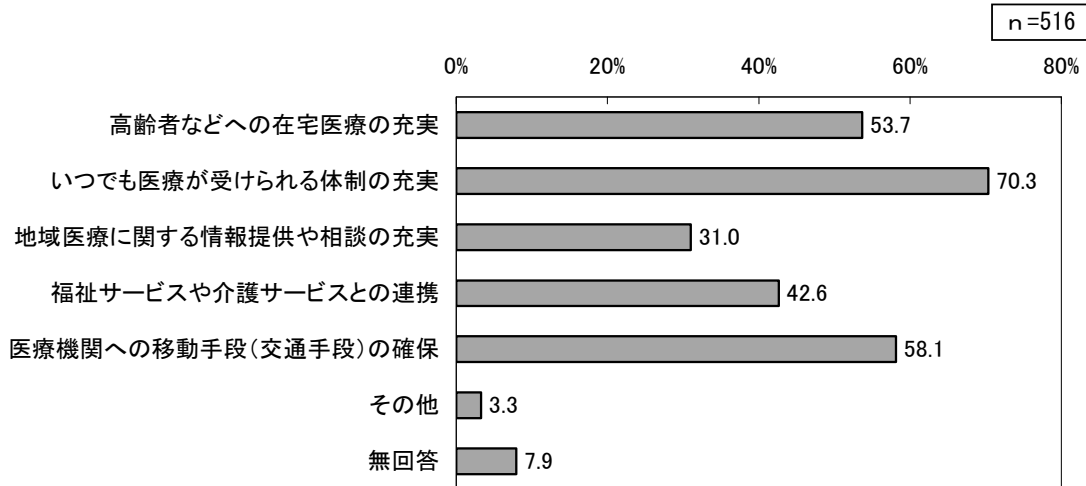
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実
	71.4%	48.6%	45.7%
30代 (n=65)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実
	70.8%	55.4%	52.3%
40代 (n=76)	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	手軽にスポーツに親しん だり、健康法を習得 できる機会の充実
	64.5%	60.5%	47.4%
50代 (n=93)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	気軽に利用できる 体力づくりのための 施設の充実
	67.7%	53.8%	51.6%
60代 (n=113)	健康維持や病気などの 早期発見のための 予防健診体制の充実	手軽にスポーツに親しん だり、健康法を習得 できる機会の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供
	63.7%	48.7%	48.7%
70歳以上 (n=131)	健康維持や病気などの早期 発見のための予防健診 体制の充実	保健、医療、福祉の 各機関が連携した サービスの提供	情報提供、相談体制の 充実
	63.4%	54.2%	41.2%

問 あなたは、「医療」に関して、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「医療」に関する重要な取り組みとしては、「休日・夜間などいつでも医療が受けられる体制の充実」と回答した割合が70.3%を占め、次いで「医療機関への移動手段（交通手段）の確保」（58.1%）、「高齢者などへの在宅医療の充実」（53.7%）が上位に挙がっています。

図表 「医療」に関する重要な取り組み



No.		n=516	(100.0%)
1	高齢者などへの在宅医療の充実	277	53.7%
2	休日・夜間などいつでも医療が受けられる体制の充実	363	70.3%
3	地域医療に関する情報提供や相談の充実	160	31.0%
4	福祉サービスや介護サービスとの連携	220	42.6%
5	医療機関への移動手段（交通手段）の確保	300	58.1%
6	その他	17	3.3%
	無回答	41	7.9%

図表 「医療」に関する重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	休日・夜間などいつでも医療が受けられる体制の充実 67.5%	高齢者などへの在宅医療の充実 55.3%	医療機関への移動手段(交通手段)の確保 54.1%
暮らしにくい (n=246)	休日・夜間などいつでも医療が受けられる体制の充実 74.4%	医療機関への移動手段(交通手段)の確保 64.2%	高齢者などへの在宅医療の充実 53.3%

図表 「医療」に関する重要な取り組み(世帯状況別:上位3項目)

	1位	2位	3位
未就学児童の いる世帯 (n=64)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	高齢者などへの在宅医療 の充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保
	79.7%	54.7%	51.6%
児童・生徒の いる世帯 (n=81)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	79.0%	50.6%	48.1%
介護の必要な 世帯 (n=58)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	59.2%	57.1%	55.1%
65歳以上の いる世帯 (n=186)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	70.4%	64.5%	58.6%
高齢者のみの 世帯 (n=90)	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	高齢者などへの 在宅医療の充実
	71.1%	66.7%	55.6%
ひとり暮らし 高齢世帯 (n=25)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	80.0%	64.0%	56.0%

図表 「医療」に関する重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

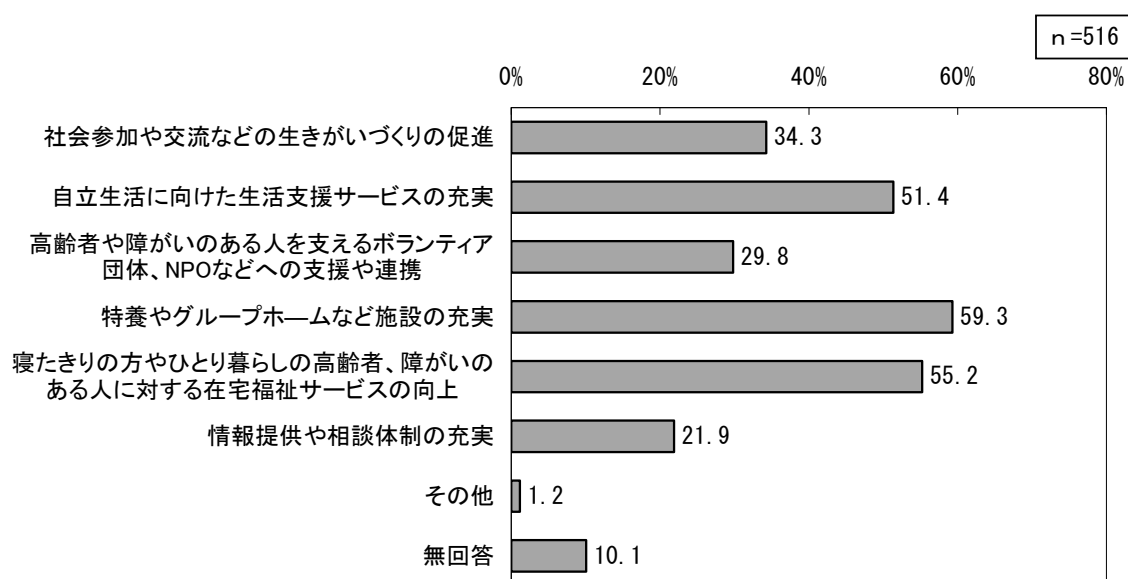
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	高齢者などへの 在宅医療の充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保
	77.1%	65.7%	57.1%
30代 (n=65)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	高齢者などへの 在宅医療の充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保
	75.4%	55.4%	52.3%
40代 (n=76)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	80.3%	52.6%	44.7%
50代 (n=93)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	68.8%	63.4%	52.7%
60代 (n=113)	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	高齢者などへの 在宅医療の充実
	72.6%	58.4%	53.1%
70歳以上 (n=131)	医療機関への移動手段 (交通手段)の確保	休日・夜間などいつでも 医療が受けられる体制の 充実	高齢者などへの 在宅医療の充実
	61.1%	60.3%	57.3%

問 あなたは、「高齢者」や「障がいのある方」への支援として、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「高齢者」や「障がいのある方」への支援として重要な取り組みについては、「特別養護老人ホームやグループホームなど施設の充実」と回答した割合が 59.3%と最も多く、次いで「寝たきりの方やひとり暮らしの高齢者、障がいのある人に対する在宅福祉サービスの向上」(55.2%)、「自立生活に向けた生活支援サービスの充実」(51.4%)が上位に挙がっています。

図表 「高齢者」や「障がいのある方」への支援として重要な取り組み



No.		n=516	(100.0%)
1	社会参加や交流などの生きがいがづくりの促進	177	34.3%
2	自立生活に向けた生活支援サービスの充実	265	51.4%
3	高齢者や障がいのある人を支えるボランティア団体、NPO などへの支援や連携	154	29.8%
4	特別養護老人ホームやグループホームなど施設の充実	306	59.3%
5	寝たきりの方やひとり暮らしの高齢者、障がいのある人に対する在宅福祉サービスの向上	285	55.2%
6	情報提供や相談体制の充実	113	21.9%
7	その他	6	1.2%
	無回答	52	10.1%

図表 「高齢者」や「障がいのある方」への支援として重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	施設の充実 60.0%	在宅福祉サービスの向上 56.9%	自立生活に向けた生活支援サービスの充実 52.5%
暮らしにくい (n=246)	施設の充実 60.2%	在宅福祉サービスの向上 54.9%	自立生活に向けた生活支援サービスの充実 51.2%

図表 「高齢者」や「障がいのある方」への支援として重要な取り組み(世帯状況別:上位3項目)

	1位	2位	3位
介護の必要な世帯 (n=58)	在宅福祉サービスの向上	施設の充実	自立生活に向けた生活支援サービスの充実
	65.3%	63.3%	55.1%
65歳以上のいる世帯 (n=186)	施設の充実	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実
	73.1%	55.9%	51.1%
高齢者のみの世帯 (n=90)	施設の充実	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実
	76.7%	51.1%	48.9%
ひとり暮らし高齢世帯 (n=25)	施設の充実	自立生活に向けた生活支援サービスの充実	在宅福祉サービスの向上
	64.0%	52.0%	52.0%

図表 「高齢者」や「障がいのある方」への支援として重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

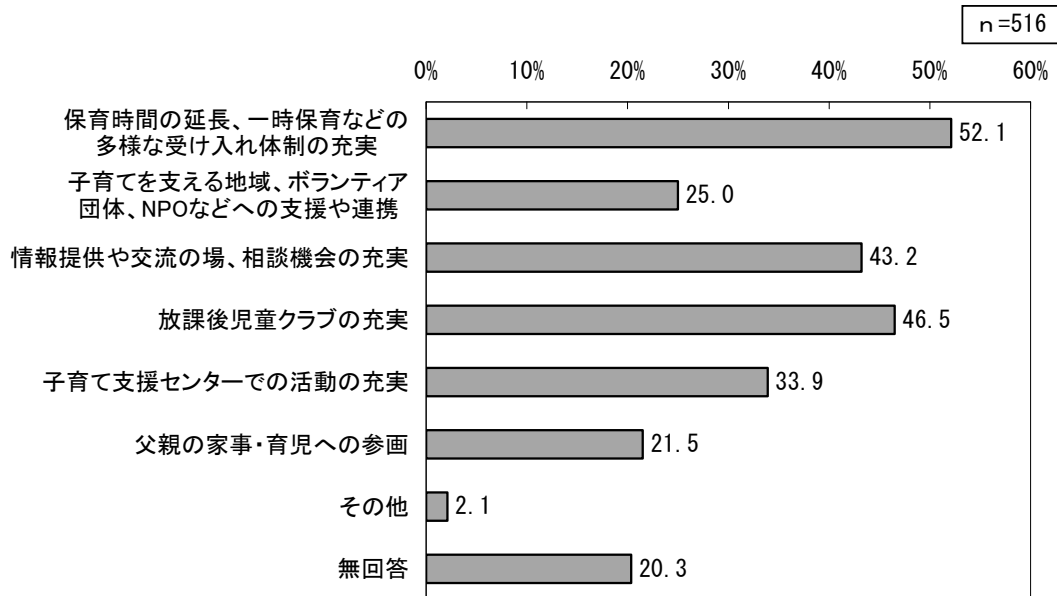
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実	施設の充実
	60.0%	54.3%	51.4%
30代 (n=65)	在宅福祉サービスの向上	施設の充実	社会参加や交流などの生きがいをづくりの促進
	61.5%	50.8%	49.2%
40代 (n=76)	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実	施設の充実
	56.6%	55.3%	50.0%
50代 (n=93)	施設の充実	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実
	65.6%	58.1%	52.7%
60代 (n=113)	自立生活に向けた生活支援サービスの充実	施設の充実	在宅福祉サービスの向上
	63.7%	60.2%	51.3%
70歳以上 (n=131)	施設の充実	在宅福祉サービスの向上	自立生活に向けた生活支援サービスの充実
	66.4%	52.7%	41.2%

問 あなたは、「子育て支援」に関して、何が重要だと考えますか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「子育て支援」に関する重要な取り組みについては、「保育時間の延長、一時保育などの多様な受け入れ体制の充実」と回答した割合が52.1%と最も多く、次いで「子どもの居場所を確保する放課後児童クラブの充実」(46.5%)、「育児不安の軽減を図るための情報提供や交流の場、相談機会の充実」(43.2%)が上位に挙がっています。

図表 「子育て支援」に関する重要な取り組み



No.		n=516	(100.0%)
1	保育時間の延長、一時保育などの多様な受け入れ体制の充実	269	52.1%
2	子育てを支える地域、ボランティア団体、NPO などへの支援や連携	129	25.0%
3	育児不安の軽減を図るための情報提供や交流の場、相談機会の充実	223	43.2%
4	子どもの居場所を確保する放課後児童クラブの充実	240	46.5%
5	子育て支援センターでの活動の充実	175	33.9%
6	父親の家事・育児への参画	111	21.5%
7	その他	11	2.1%
	無回答	105	20.3%

図表 「子育て支援」に関する重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	保育時間の延長、一時保育などの多様な受け入れ体制の充実 52.2%	子どもの居場所を確保する放課後児童クラブの充実 46.3%	育児不安の軽減を図るための情報提供や交流の場、相談機会の充実 45.5%
暮らしにくい (n=246)	保育時間の延長、一時保育などの多様な受け入れ体制の充実 52.8%	子どもの居場所を確保する放課後児童クラブの充実 46.7%	育児不安の軽減を図るための情報提供や交流の場、相談機会の充実 41.5%

図表 「子育て支援」に関する重要な取り組み(世帯状況別:上位3項目)

	1位	2位	3位
未就学児童の いる世帯 (n=69)	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	子育て支援センターでの 活動の充実
	71.9%	59.4%	46.9%
児童・生徒の いる世帯 (n=87)	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実
	66.7%	60.5%	48.1%

図表 「子育て支援」に関する重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実
	60.0%	45.7%	42.9%
30代 (n=65)	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実
	66.2%	63.1%	46.2%
40代 (n=76)	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	子育てを支える地域、ボラ ンティア団体、NPO などへ の支援や連携	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実
	68.4%	21.1%	47.4%
50代 (n=93)	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実	子育て支援センターでの 活動の充実
	52.7%	49.5%	48.4%
60代 (n=113)	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実
	46.9%	45.1%	38.1%
70歳以上 (n=131)	保育時間の延長、一時保育 などの多様な受け入れ体制 の充実	育児不安の軽減を図るため の情報提供や交流の場、 相談機会の充実	子どもの居場所を確保する 放課後児童クラブの充実
	40.5%	38.2%	36.6%

## 5. 教育・文化活動について

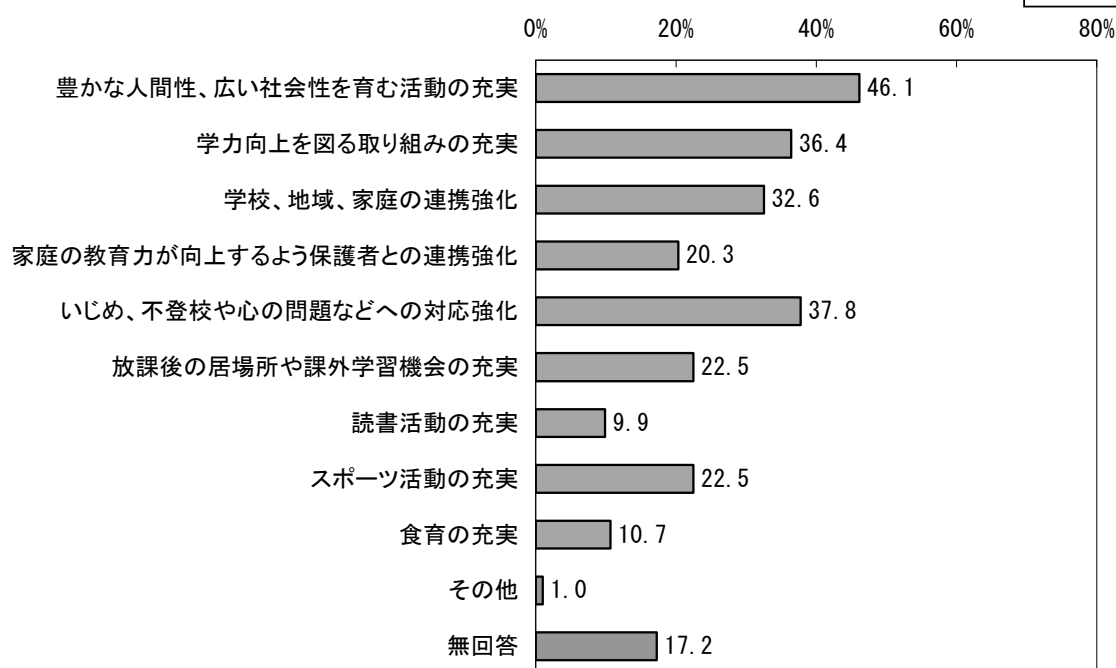
問 あなたは、学校教育について、何が重要だと考えますか。

【重要な順に3つまで数字を記入】

学校教育に関する重要な取り組みについては、「学校教育で豊かな人間性、広い社会性を育む活動の充実」と回答した割合が46.1%と最も多く、次いで「学校でのいじめ、不登校や心の問題などへの対応強化」(37.8%)、「学校教育で学力向上を図る取り組みの充実」(36.4%)が上位に挙がっています。

図表 学校教育に関する重要な取り組み

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	学校教育で豊かな人間性、広い社会性を育む活動の充実	238	46.1%
2	学校教育で学力向上を図る取り組みの充実	188	36.4%
3	学校、地域、家庭の連携強化	168	32.6%
4	家庭の教育力が向上するよう保護者との連携強化	105	20.3%
5	学校でのいじめ、不登校や心の問題などへの対応強化	195	37.8%
6	放課後の居場所や課外学習機会の充実	116	22.5%
7	読書活動の充実	51	9.9%
8	スポーツ活動の充実	116	22.5%
9	食育の充実	55	10.7%
10	その他	5	1.0%
	無回答	89	17.2%

図表 学校教育に関する重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実	学校、地域、家庭の 連携強化
	47.8%	38.4%	32.2%
暮らしにくい (n=246)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実	学校、地域、家庭の 連携強化
	45.5%	34.1%	33.3%

図表 学校教育に関する重要な取り組み(世帯状況別:上位3項目)

	1位	2位	3位
未就学児童の いる世帯 (n=69)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校、地域、家庭の 連携強化	スポーツ活動の充実
	43.8%	40.6%	40.6%
児童・生徒の いる世帯 (n=87)	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校、地域、家庭の 連携強化
	54.3%	49.4%	40.7%

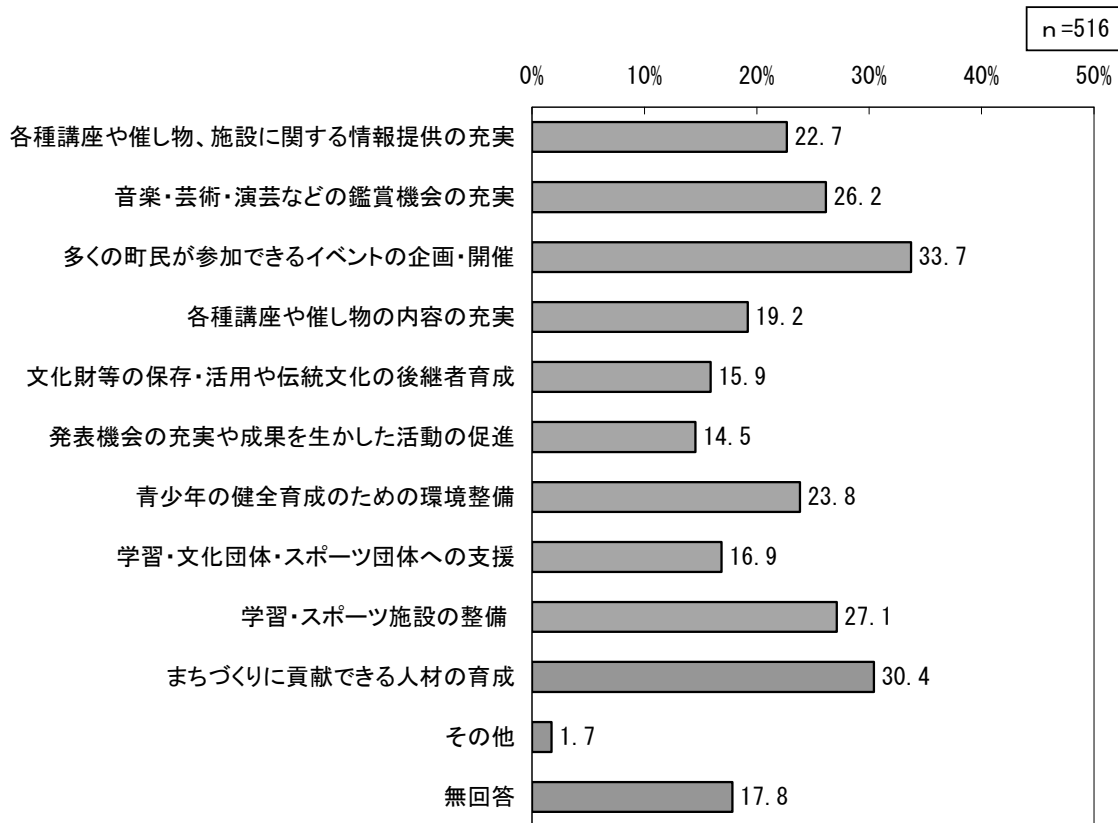
図表 「子育て支援」に関する重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	学校でのいじめ、不登校や 心の問題などへの対応強化	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	スポーツ活動の充実
	51.4%	48.6%	42.9%
30代 (n=65)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	スポーツ活動の充実	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実
	55.4%	44.6%	38.5%
40代 (n=76)	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校でのいじめ、不登校や 心の問題などへの対応強化
	50.0%	46.1%	40.8%
50代 (n=93)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活 動の充実	学校、地域、家庭の 連携強化	学校でのいじめ、不登校や 心の問題などへの対応強化
	52.7%	37.6%	34.4%
60代 (n=113)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校でのいじめ、不登校や 心の問題などへの対応強化	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実
	46.9%	42.5%	38.9%
70歳以上 (n=131)	学校教育で豊かな人間性、 広い社会性を育む活動の充実	学校でのいじめ、不登校や 心の問題などへの対応強化	学校教育で学力向上を 図る取り組みの充実
	36.6%	35.1%	30.5%

問 あなたは、「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関して、何が重要だと考えますか。  
【 重要な順に3つまで数字を記入 】

「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関する重要な取り組みについては、「多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催」と回答した割合が33.7%と最も多く、次いで「まちづくりに貢献できる人材の育成」(30.4%)、「学習・スポーツ施設の整備」(27.1%)が上位に挙がっています。

図表 「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関する重要な取り組み



No.		n=516	(100.0%)
1	各種講座や催し物、施設などに関する情報提供の充実	117	22.7%
2	音楽・芸術・演芸などの鑑賞機会の充実	135	26.2%
3	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	174	33.7%
4	各種講座や催し物の内容の充実	99	19.2%
5	歴史的遺産・文化財の保存・活用や伝統文化の後継者の育成	82	15.9%
6	学習・文化活動等の発表機会の充実や学習成果を生かした社会参加活動の促進	75	14.5%
7	青少年の健全育成のための環境整備	123	23.8%
8	学習・文化団体・スポーツ団体への支援	87	16.9%
9	学習・スポーツ施設の整備	140	27.1%
10	まちづくりに貢献できる人材の育成	157	30.4%
11	その他	9	1.7%
	無回答	92	17.8%

図表 「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関する重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	まちづくりに貢献できる人材の育成	音楽・芸術・演芸などの鑑賞機会の充実
	34.5%	28.2%	27.1%
暮らしにくい (n=246)	学習・スポーツ施設の整備	まちづくりに貢献できる人材の育成	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催
	33.7%	33.3%	32.9%

図表 「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関する重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	学習・スポーツ施設の整備	音楽・芸術・演芸などの鑑賞機会の充実
	51.4%	45.7%	28.6%
30代 (n=65)	学習・スポーツ施設の整備	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	まちづくりに貢献できる人材の育成
	60.0%	41.5%	32.3%
40代 (n=76)	学習・スポーツ施設の整備	各種講座や催し物の内容の充実	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催
	38.2%	32.9%	30.3%
50代 (n=93)	音楽・芸術・演芸などの鑑賞機会の充実	まちづくりに貢献できる人材の育成	各種講座や催し物、施設などに関する情報提供の充実
	44.1%	35.5%	31.2%
60代 (n=113)	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	まちづくりに貢献できる人材の育成	音楽・芸術・演芸などの鑑賞機会の充実
	34.5%	31.9%	26.5%
70歳以上 (n=131)	多くの町民が参加できる文化・スポーツイベントの企画・開催	まちづくりに貢献できる人材の育成	青少年の健全育成のための環境整備
	31.3%	30.5%	25.2%

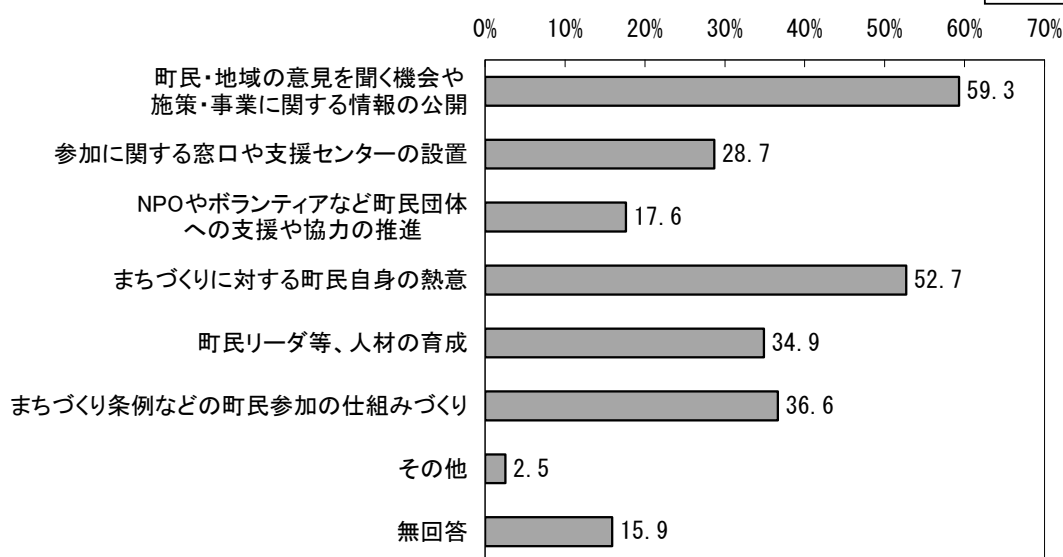
## 6. 住民との協働について

問 あなたは、町民と行政が協働してまちづくりを進めるうえで、何が重要だと思いますか。【重要な順に3つまで数字を記入】

町民と行政が協働してまちづくりを進めるうえでの重要な取り組みについては、「町民・地域の意見を聞く機会や施策・事業に関する情報の積極的な公開」と回答した割合が59.3%と最も多く、次いで「まちづくりに対する町民自身の熱意」(52.7%)、「まちづくり条例などの町民参加の仕組みづくり」(36.6%)が上位に挙がっています。

図表 協働してまちづくりを進めるうえでの重要な取り組み

n=516



No.		n=516	(100.0%)
1	町民・地域の意見を聞く機会や施策・事業に関する情報の積極的な公開	306	59.3%
2	参加に関する窓口や支援センターの設置	148	28.7%
3	NPOやボランティアなど町民団体への支援や協力の推進	91	17.6%
4	まちづくりに対する町民自身の熱意	272	52.7%
5	町民リーダー等、人材の育成	180	34.9%
6	まちづくり条例などの町民参加の仕組みづくり	189	36.6%
7	その他	13	2.5%
	無回答	82	15.9%

図表 「生涯学習・スポーツ、文化活動」に関する重要な取り組み(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	町民・地域の意見を聞く機会や施策・事業に関する情報の積極的な公開 54.9%	まちづくりに対する町民自身の熱意 54.9%	町民リーダー等、人材の育成 40.0%
暮らしにくい (n=246)	町民・地域の意見を聞く機会や施策・事業に関する情報の積極的な公開 65.9%	まちづくりに対する町民自身の熱意 51.6%	まちづくり条例などの町民参加の仕組みづくり 37.4%

図表 協働してまちづくりを進めるうえでの重要な取り組み(年齢別:上位3項目)

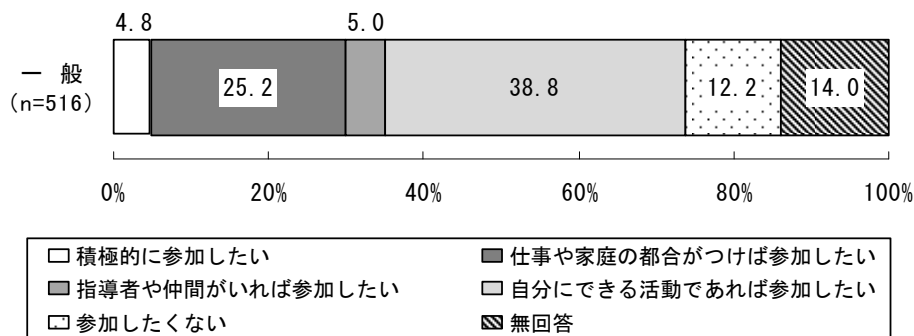
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	まちづくりに対する 町民自身の熱意	町民リーダー等、人材の 育成
	68.6%	45.7%	37.1%
30代 (n=65)	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	まちづくりに対する 町民自身の熱意	まちづくり条例などの 町民参加の仕組みづくり
	73.8%	55.4%	44.6%
40代 (n=76)	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	まちづくりに対する 町民自身の熱意	参加に関する窓口や 支援センターの設置
	64.5%	57.9%	40.8%
50代 (n=93)	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	まちづくりに対する 町民自身の熱意	まちづくり条例などの 町民参加の仕組みづくり
	51.6%	50.5%	43.0%
60代 (n=113)	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	まちづくりに対する 町民自身の熱意	まちづくり条例などの 町民参加の仕組みづくり
	59.3%	51.3%	38.9%
70歳以上 (n=131)	まちづくりに対する 町民自身の熱意	町民・地域の意見を聞く 機会や施策・事業に関する 情報の積極的な公開	町民リーダー等、人材の 育成
	54.2%	52.7%	34.4%

問 あなたは、町民が自主的・主体的に取り組むボランティア・NPOなどの地域活動に、どの程度参加したいとお考えですか。【1つに○】

ボランティア・NPOなどの地域活動への参加意向は、「積極的に参加したい」と回答した割合が4.8%となっていますが、「仕事や家庭の都合がつけば参加したい」(25.2%)、「指導者や仲間がいれば参加したい」(5.0%)、「自分にできる活動であれば参加したい」(38.8%)といったように、都合や機会が合えば“参加したい”意向が多くみられ、これらを合わせた地域活動への参加意向は73.8%を占めています。

一方で「参加したくない」と回答した割合は、12.2%を占めています。

図表 ボランティア・NPOなどの地域活動への参加意向



図表 ボランティア・NPO などの地域活動への参加意向

No.		n=516	(100.0%)
1	積極的に参加したい	25	4.8%
2	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	130	25.2%
3	指導者や仲間がいれば参加したい	26	5.0%
4	自分にできる活動であれば参加したい	200	38.8%
5	参加したくない	63	12.2%
	無回答	72	14.0%

図表 ボランティア・NPO などの地域活動への参加意向(暮らしやすさ別)

	参加したい				参加したくない	無回答
	積極的に参加したい	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	指導者や仲間がいれば参加したい	自分にできる活動であれば参加したい		
暮らしやすい (n=255)	5.9%	26.7%	7.1%	36.9%	9.0%	14.5%
暮らしにくい (n=246)	3.7%	23.6%	3.3%	40.7%	16.3%	12.6%

図表 ボランティア・NPO などの地域活動への参加意向(年齢別)

	参加したい				参加したくない	無回答
	積極的に参加したい	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	指導者や仲間がいれば参加したい	自分にできる活動であれば参加したい		
10・20代 (n=35)	17.1%	28.6%	5.7%	22.9%	17.1%	8.6%
30代 (n=65)	3.1%	30.8%	6.2%	36.9%	18.5%	4.6%
40代 (n=76)	3.9%	38.2%	2.6%	32.9%	14.5%	7.9%
50代 (n=93)	6.5%	28.0%	3.2%	40.9%	11.8%	9.7%
60代 (n=113)	3.5%	23.9%	6.2%	39.8%	11.5%	15.0%
70歳以上 (n=131)	3.1%	13.7%	6.1%	45.8%	7.6%	23.7%

図表 ボランティア・NPO などの地域活動への参加意向(地区別)

	参加したい				参加したくない	無回答
	積極的に参加したい	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	指導者や仲間がいれば参加したい	自分にできる活動であれば参加したい		
市街地区 (n=311)	5.8%	23.8%	4.8%	39.2%	14.5%	11.9%
双葉・中里・ 花丘・福里地区 (n=35)	5.7%	28.6%	0.0%	51.4%	5.7%	8.6%
鈴川・福丘・ 尻別・上尻別地区 (n=43)	0.0%	41.9%	7.0%	34.9%	4.7%	11.6%

	参加したい				参加したくない	無回答
	積極的に参加したい	仕事や家庭の都合がつけば参加したい	指導者や仲間がいれば参加したい	自分でできる活動であれば参加したい		
御園・共栄・金山地区 (n=15)	0.0%	6.7%	6.7%	33.3%	0.0%	53.3%
留産・相川・比羅岡地区 (n=18)	0.0%	22.2%	0.0%	55.6%	5.6%	16.7%
伏見・栄・福島・川上・知来別地区 (n=79)	5.1%	26.6%	8.9%	30.4%	15.2%	13.9%

問 前問で「1.～4.」に○をつけた方のみお答えください。

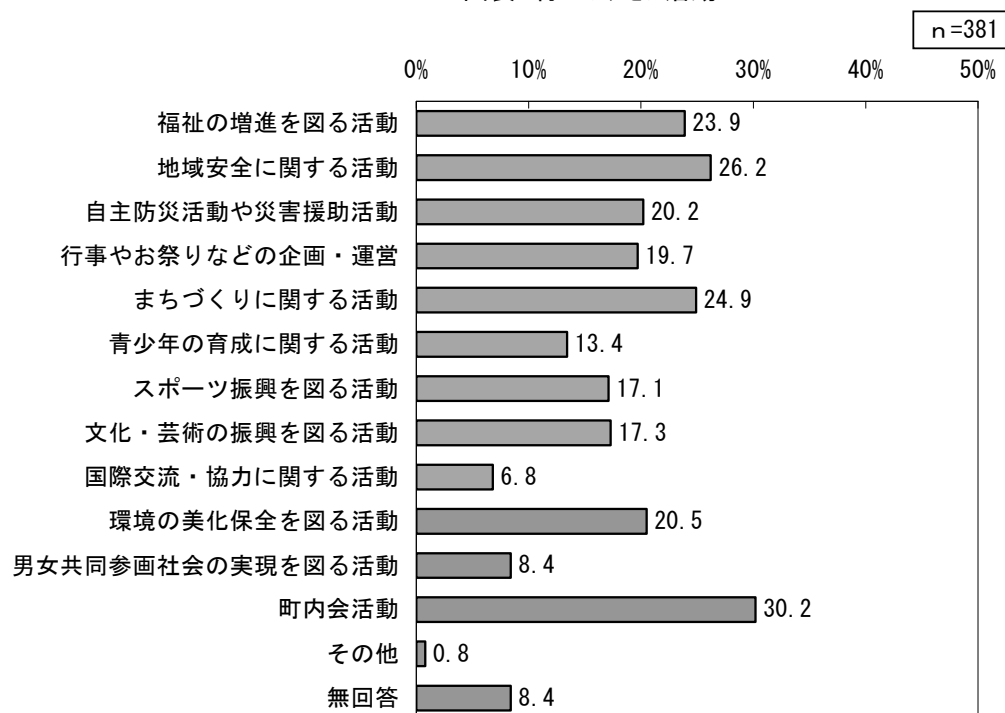
あなたは今後、どのような町民活動を行ってみたいと思いますか。

【 あてはまるものすべてに○ 】

前問で“参加したい”と回答した人（n=381）の行ってみたい活動については、「町内会活動」（30.2%）、「地域安全に関する活動」（26.2%）、「まちづくりに関する活動」（24.9%）、「福祉の増進を図る活動」（23.9%）、「環境の美化保全を図る活動」（20.5%）の順に上位に挙がっており、活動内容は多岐にわたることがわかります。

また、「町内会活動」が最上位に挙がっている点や前問での“都合や機会が合う”という活動意向を考慮すると、既存の組織を活かし、特に専門性を持たない多様な活動を望む意向が高いことがうかがえます。

図表 行ってみたい活動



図表 行ってみたい活動

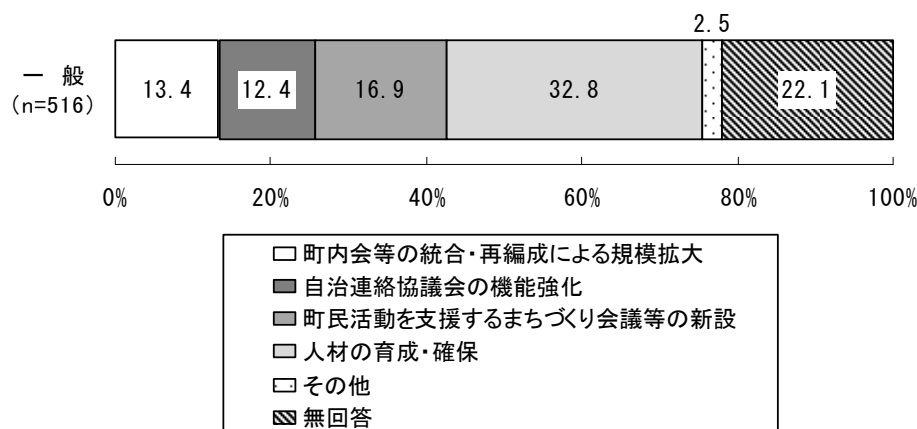
No.		n=381	(100.0%)
1	福祉の増進を図る活動	91	23.9%
2	地域安全に関する活動	100	26.2%
3	自主防災活動や災害援助活動	77	20.2%
4	行事やお祭りなどの企画・運営	75	19.7%
5	まちづくりに関する活動	95	24.9%
6	青少年の育成に関する活動	51	13.4%
7	スポーツ振興を図る活動	65	17.1%
8	文化・芸術の振興を図る活動	66	17.3%
9	国際交流・協力に関する活動	26	6.8%
10	環境の美化保全を図る活動	78	20.5%
11	男女共同参画社会の実現を図る活動	32	8.4%
12	町内会活動	115	30.2%
13	その他	3	0.8%
	無回答	32	8.4%

問 自主的な町民活動を活性化するためには、何が必要と考えますか。【1つに○】

自主的な活動を活性化するために必要なことについては、「人材の育成・確保」(32.8%)と回答した方が最も多くなっています。

次いで、「町民活動を支援するまちづくり会議等の新設」(16.9%)、「町内会等の統合・再編成による規模拡大」(13.4%)、「自治連絡協議会の機能強化」(12.4%)の順に続いています。いずれも1~2割程度となっています。

図表 自主的な活動を活性化するために必要なこと



No.		n=516	(100.0%)
1	町内会等の統合・再編成による規模拡大	69	13.4%
2	自治連絡協議会の機能強化	64	12.4%
3	町民活動を支援するまちづくり会議等の新設	87	16.9%
4	人材の育成・確保	169	32.8%
5	その他	13	2.5%
	無回答	114	22.1%

図表 自主的な活動を活性化するために必要なこと(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	人材の育成・確保	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設	町内会等の統合・再編成 による規模拡大
	32.5%	18.0%	15.7%
暮らしにくい (n=246)	人材の育成・確保	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設	自治連絡協議会の 機能強化
	34.6%	16.3%	12.2%

図表 自主的な活動を活性化するために必要なこと(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	人材の育成・確保	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設	町内会等の統合・再編成 による規模拡大
	45.7%	17.1%	8.6%
30代 (n=65)	人材の育成・確保	町内会等の統合・再編成 による規模拡大	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設
	36.9%	18.5%	12.3%
40代 (n=76)	人材の育成・確保	町内会等の統合・再編成 による規模拡大	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設
	36.8%	15.8%	13.2%
50代 (n=93)	人材の育成・確保	自治連絡協議会の 機能強化	町内会等の統合・再編成 による規模拡大
	36.6%	17.2%	14.0%
60代 (n=113)	人材の育成・確保	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設	自治連絡協議会の 機能強化
	28.3%	23.9%	15.0%
70歳以上 (n=131)	人材の育成・確保	町民活動を支援する まちづくり会議等の新設	町内会等の統合・再編成 による規模拡大
	26.7%	18.3%	12.2%

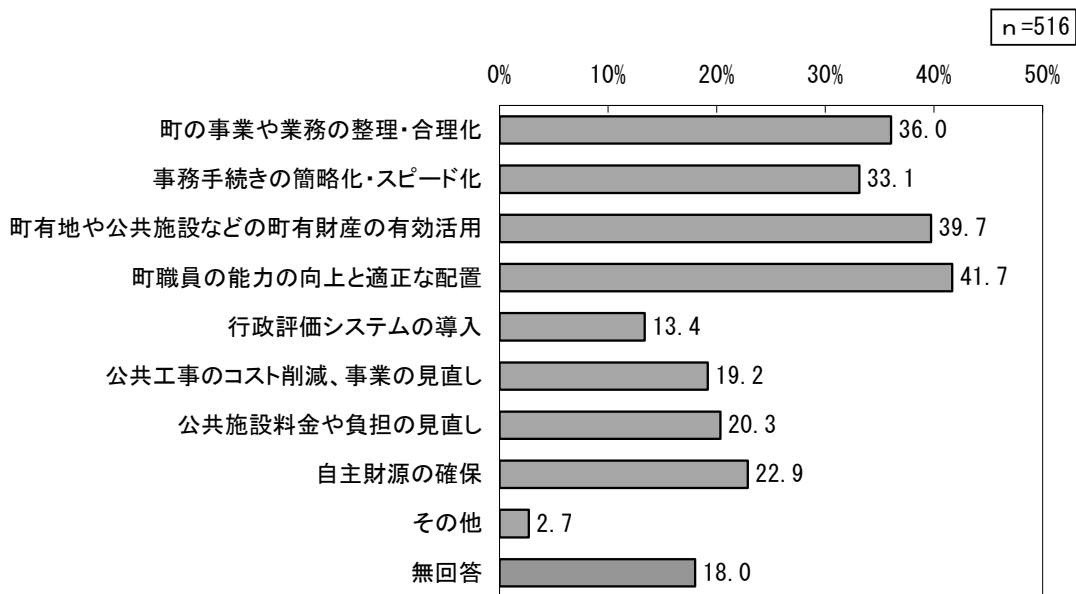
## 7. 行財政について

問 行財政改革を進めるために重点的に取り組むべきだと思われることは何ですか。

【 重要な順に3つまで数字を記入 】

行財政改革を進めるために重点的に取り組むことについては、「町職員の能力の向上と適正な配置」(41.7%)と回答した方が最も多くなっています。次いで、「町有地や公共施設などの町有財産の有効活用」(39.7%)、「町の事業や業務の整理・合理化(統廃合、民間委託など)」(36.0%)の順に続いています。

図表 行財政改革を進めるために重点的に取り組むこと



No.		n=516	(100.0%)
1	町の事業や業務の整理・合理化(統廃合、民間委託など)	186	36.0%
2	事務手続きの簡略化・スピード化(1ヵ所で手続きの済む窓口サービス、電子化など)	171	33.1%
3	町有地や公共施設などの町有財産の有効活用	205	39.7%
4	町職員の能力の向上と適正な配置	215	41.7%
5	行政評価システムの導入(施策・事業の評価・点検)	69	13.4%
6	公共工事のコスト削減、事業の見直し	99	19.2%
7	公共施設料金や負担の見直し	105	20.3%
8	自主財源の確保	118	22.9%
9	その他	14	2.7%
	無回答	93	18.0%

図表 行財政改革を進めるために重点的に取り組むこと(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	事務手続きの 簡略化・スピード化	町職員の能力の向上と 適正な配置
	42.7%	36.1%	34.5%
暮らしにくい (n=246)	町職員の能力の向上と 適正な配置	町の事業や業務の 整理・合理化	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用
	50.0%	41.1%	36.6%

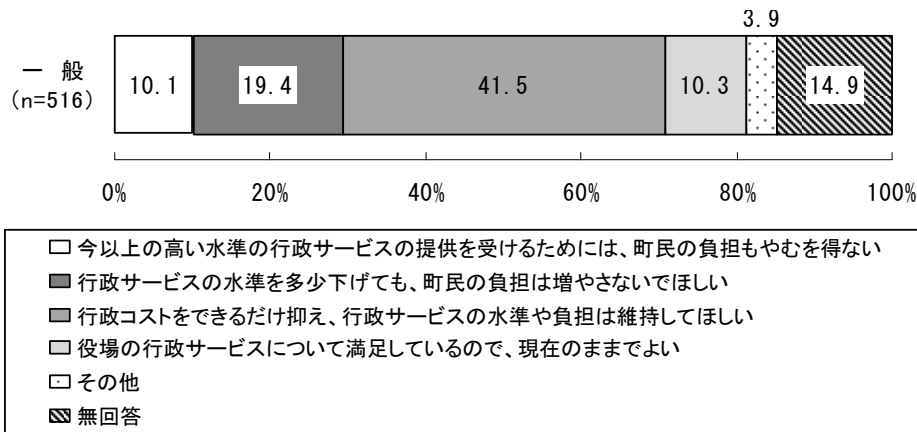
図表 行財政改革を進めるために重点的に取り組むこと(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	自主財源の確保	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	町職員の能力の向上と 適正な配置
	42.9%	37.1%	34.3%
30代 (n=65)	町職員の能力の向上と 適正な配置	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	町の事業や業務の 整理・合理化
	46.2%	44.6%	36.9%
40代 (n=76)	町職員の能力の向上と 適正な配置	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	町の事業や業務の 整理・合理化
	51.3%	43.4%	39.5%
50代 (n=93)	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	町の事業や業務の 整理・合理化	町職員の能力の向上と 適正な配置
	49.5%	44.1%	34.4%
60代 (n=113)	町有地や公共施設などの 町有財産の有効活用	町職員の能力の向上と 適正な配置	事務手続きの 簡略化・スピード化
	40.7%	39.8%	38.9%
70歳以上 (n=131)	町職員の能力の向上と 適正な配置	事務手続きの 簡略化・スピード化	町の事業や業務の 整理・合理化
	42.7%	34.4%	31.3%

問 これからの町の行政サービスと町民の負担についてあなたの考えに近いものを選んでください。【1つに○】

町の行政サービスと町民の負担については、「行政コストをできるだけ抑え、行政サービスの水準や負担は維持してほしい」（41.5%）と回答した方が最も多く、「行政サービスの水準を多少下げても、町民の負担は増やさないでほしい」（19.4%）、「役場の行政サービスについて満足しているので、現在のままでよい」（10.3%）といった意向からも、町民の負担に関しては維持・抑制を望む意向が多いとみられます。

図表 町の行政サービスと町民の負担について



No.		n=516	(100.0%)
1	今以上の高い水準の行政サービスの提供を受けるためには、町民の負担もやむを得ない	52	10.1%
2	行政サービスの水準を多少下げても、町民の負担は増やさないでほしい	100	19.4%
3	行政コストをできるだけ抑え、行政サービスの水準や負担は維持してほしい	214	41.5%
4	役場の行政サービスについて満足しているので、現在のままでよい	53	10.3%
5	その他	20	3.9%
	無回答	77	14.9%

図表 町の行政サービスと町民の負担について(暮らしやすさ別)

	町民の負担もやむを得ない	町民の負担は増やさないでほしい	サービスの水準や負担は維持してほしい	現在のままでよい	その他	無回答
暮らしやすい (n=255)	12.9%	14.5%	43.9%	12.2%	1.6%	14.9%
暮らしにくい (n=246)	6.9%	24.8%	40.7%	7.3%	6.5%	13.8%

図表 町の行政サービスと町民の負担について(世帯状況別)

	町民の負担もやむを得ない	町民の負担は増やさなくてほしい	サービスの水準や負担は維持してほしい	現在のままでよい	その他	無回答
未就学児童のいる世帯 (n=64)	9.4%	20.3%	35.9%	10.9%	14.1%	9.4%
児童・生徒のいる世帯 (n=81)	13.6%	18.5%	42.0%	11.1%	6.2%	8.6%
介護の必要な世帯 (n=49)	6.1%	16.3%	34.7%	22.4%	2.0%	18.4%
65歳以上のいる世帯 (n=186)	10.8%	15.6%	46.2%	10.8%	1.6%	15.1%
高齢者のみの世帯 (n=90)	10.0%	15.6%	50.0%	8.9%	2.2%	13.3%
ひとり暮らし高齢世帯 (n=25)	12.0%	12.0%	44.0%	16.0%	4.0%	12.0%

図表 町の行政サービスと町民の負担について(年齢別)

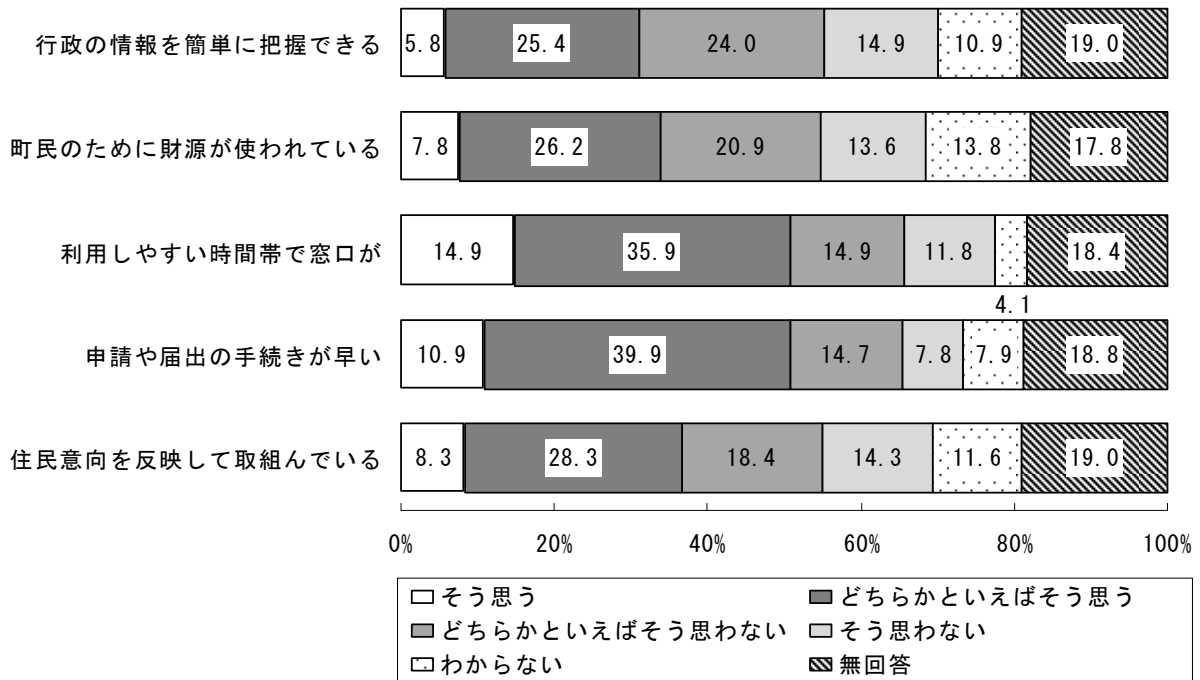
	町民の負担もやむを得ない	町民の負担は増やさなくてほしい	サービスの水準や負担は維持してほしい	現在のままでよい	その他	無回答
10・20代 (n=35)	17.1%	20.0%	22.9%	17.1%	11.4%	11.4%
30代 (n=65)	9.2%	20.0%	43.1%	9.2%	9.2%	9.2%
40代 (n=76)	11.8%	15.8%	46.1%	7.9%	5.3%	13.2%
50代 (n=93)	11.8%	19.4%	47.3%	8.6%	2.2%	10.8%
60代 (n=113)	8.8%	22.1%	41.6%	9.7%	1.8%	15.9%
70歳以上 (n=131)	7.6%	19.1%	38.9%	12.2%	1.5%	20.6%

問 あなたは、町の行政運営についてどう感じていますか。

【各項目、あてはまるもの1つに○】

町の行政運営について、“そう思う”（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した合計）と“そう思わない”（「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と回答した合計）の構成比をみると、「行政の情報を簡単に把握できる」、「町民のために財源が使われている」については、“そう思わない”と回答した割合が“そう思う”と回答した割合を上回っています。

図表 町の行政運営について



		n=516 (100.0%)	
(1)	行政の情報を簡単に把握できる	1 そう思う	30 5.8%
		2 どちらかといえばそう思う	131 25.4%
		3 どちらかといえばそう思わない	124 24.0%
		4 そう思わない	77 14.9%
		5 わからない	56 10.9%
		無回答	98 19.0%
		(2)	町民のために財源が使われている
2 どちらかといえばそう思う	135 26.2%		
3 どちらかといえばそう思わない	108 20.9%		
4 そう思わない	70 13.6%		
5 わからない	71 13.8%		
無回答	92 17.8%		
(3)	利用しやすい時間帯で窓口が開いている		
		2 どちらかといえばそう思う	185 35.9%
		3 どちらかといえばそう思わない	77 14.9%
		4 そう思わない	61 11.8%
		5 わからない	21 4.1%
		無回答	95 18.4%

			n=516	(100.0%)
(4)	申請や届出の手続きが早い	1 そう思う	56	10.9%
		2 どちらかといえばそう思う	206	39.9%
		3 どちらかといえばそう思わない	76	14.7%
		4 そう思わない	40	7.8%
		5 わからない	41	7.9%
		無回答	97	18.8%
(5)	住民意向を反映して取組んでいる	1 そう思う	43	8.3%
		2 どちらかといえばそう思う	146	28.3%
		3 どちらかといえばそう思わない	95	18.4%
		4 そう思わない	74	14.3%
		5 わからない	60	11.6%
		無回答	98	19.0%

図表 “そう思う”と回答した項目(項目別:上位5位)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=516)	申請や届出の 手続きが早い	利用しやすい 時間帯で窓口 が開いている	住民意向を 反映して 取組んでいる	町民のために 財源が使われ ている	行政の情報を 簡単に把握 できる
	50.8%	50.8%	36.6%	33.9%	31.2%

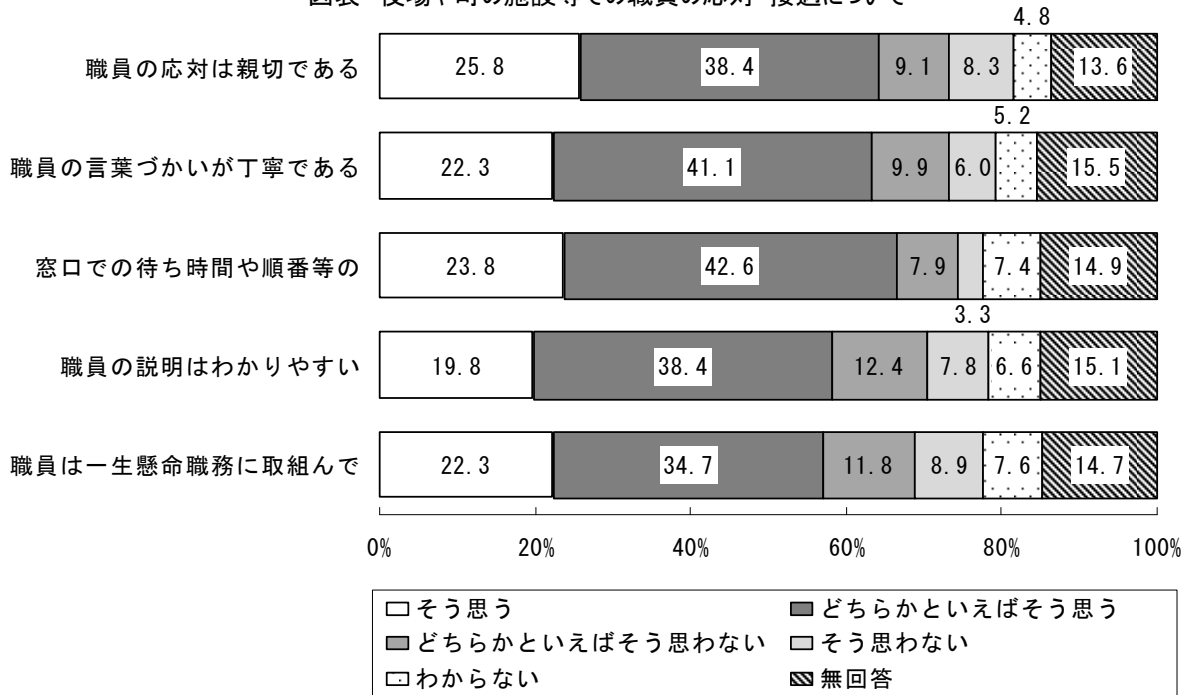
図表 “そう思わない”と回答した項目(項目別:上位5位)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=516)	行政の情報を 簡単に把握 できる	町民のために 財源が使われ ている	住民意向を 反映して 取組んでいる	利用しやすい 時間帯で窓口 が開いている	申請や届出の 手続きが早い
	39.0%	34.5%	32.8%	26.7%	22.5%

問 あなたは、役場や町の施設等での職員の対応・接遇についてどう感じていますか。  
【各項目、あてはまるもの1つに○】

役場や町の施設等での職員の対応・接遇について、“そう思う”（「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した合計）と“そう思わない”（「そう思わない」、「どちらかといえばそう思わない」と回答した合計）の構成比をみると、全ての項目で、“そう思う”と回答した割合が“そう思わない”と回答した割合を上回っています。

図表 役場や町の施設等での職員の対応・接遇について



		n=516	(100.0%)
(1)	職員の対応は親切である	1 そう思う	133 25.8%
		2 どちらかといえばそう思う	198 38.4%
		3 どちらかといえばそう思わない	47 9.1%
		4 そう思わない	43 8.3%
		5 わからない	25 4.8%
		無回答	70 13.6%
(2)	職員の言葉づかいが丁寧である	1 そう思う	115 22.3%
		2 どちらかといえばそう思う	212 41.1%
		3 どちらかといえばそう思わない	51 9.9%
		4 そう思わない	31 6.0%
		5 わからない	27 5.2%
		無回答	80 15.5%
(3)	窓口での待ち時間や順番等の対応が適切である	1 そう思う	123 23.8%
		2 どちらかといえばそう思う	220 42.6%
		3 どちらかといえばそう思わない	41 7.9%
		4 そう思わない	17 3.3%
		5 わからない	38 7.4%
		無回答	77 14.9%

			n=516	(100.0%)
(4)	職員の説明はわかりやすい	1 そう思う	102	19.8%
		2 どちらかといえばそう思う	198	38.4%
		3 どちらかといえばそう思わない	64	12.4%
		4 そう思わない	40	7.8%
		5 わからない	34	6.6%
		無回答	78	15.1%
(5)	職員は一生懸命職務に取り組んでいる	1 そう思う	115	22.3%
		2 どちらかといえばそう思う	179	34.7%
		3 どちらかといえばそう思わない	61	11.8%
		4 そう思わない	46	8.9%
		5 わからない	39	7.6%
		無回答	76	14.7%

図表 “そう思う”と回答した項目(項目別:上位5位)

	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=516)	窓口での待ち時間や順番等の対応が適切	職員の対応は親切	職員の言葉づかいが丁寧	職員の説明はわかりやすい	職員は一生懸命職務に取り組んでいる
	66.5%	64.1%	63.4%	58.1%	57.0%

図表 “そう思わない”と回答した項目(項目別:上位5位)

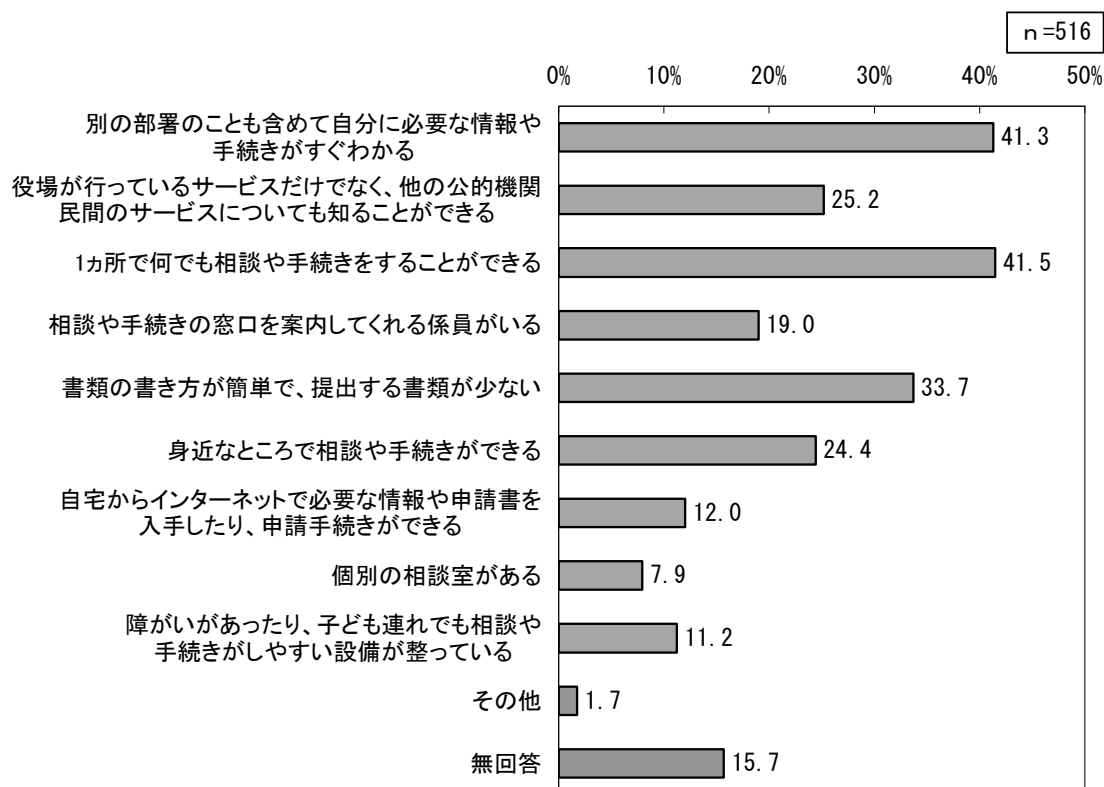
	1位	2位	3位	4位	5位
全体 (n=516)	職員は一生懸命職務に取り組んでいる	職員の説明はわかりやすい	職員の対応は親切	職員の言葉づかいが丁寧	窓口での待ち時間や順番等の対応が適切
	20.7%	20.2%	17.4%	15.9%	11.2%

## 8. 広報・相談（行政サービス）について

問 あなたは役場の窓口で相談や手続きに行く場合、どのような窓口を希望しますか。  
【3つまでに○】

役場に希望する窓口の機能については、「1カ所で何でも相談や手続きをすることができる」と回答した割合が41.5%と最も多く、次いで「別の部署のことも含めて自分に必要な情報や手続きがすぐわかる」（41.3%）、「別の部署のことも含めて自分に必要な情報や手続きがすぐわかる」（41.3%）、「書類の書き方が簡単で、提出する書類が少ない」（33.7%）の順で上位に挙がっています。

図表 役場に希望する窓口の機能



No.		n=516	(100.0%)
1	別の部署のことも含めて自分に必要な情報や手続きがすぐわかる	213	41.3%
2	役場が行っているサービスだけでなく、その他の公的機関や民間のサービスについても知ることができる	130	25.2%
3	1カ所で何でも相談や手続きをすることができる	214	41.5%
4	相談や手続きの窓口を案内してくれる係員がいる	98	19.0%
5	書類の書き方が簡単で、提出する書類が少ない	174	33.7%
6	身近なところで相談や手続きができる	126	24.4%
7	自宅からインターネットで必要な情報や申請書を入手したり、申請手続きができる	62	12.0%
8	個別の相談室がある	41	7.9%
9	障がいがあったり、子ども連れでも相談や手続きがしやすい設備が整っている	58	11.2%
10	その他	9	1.7%
	無回答	81	15.7%

図表 役場に希望する窓口の機能(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない
	42.7%	38.0%	36.1%
暮らしにくい (n=246)	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない
	44.7%	40.7%	32.9%

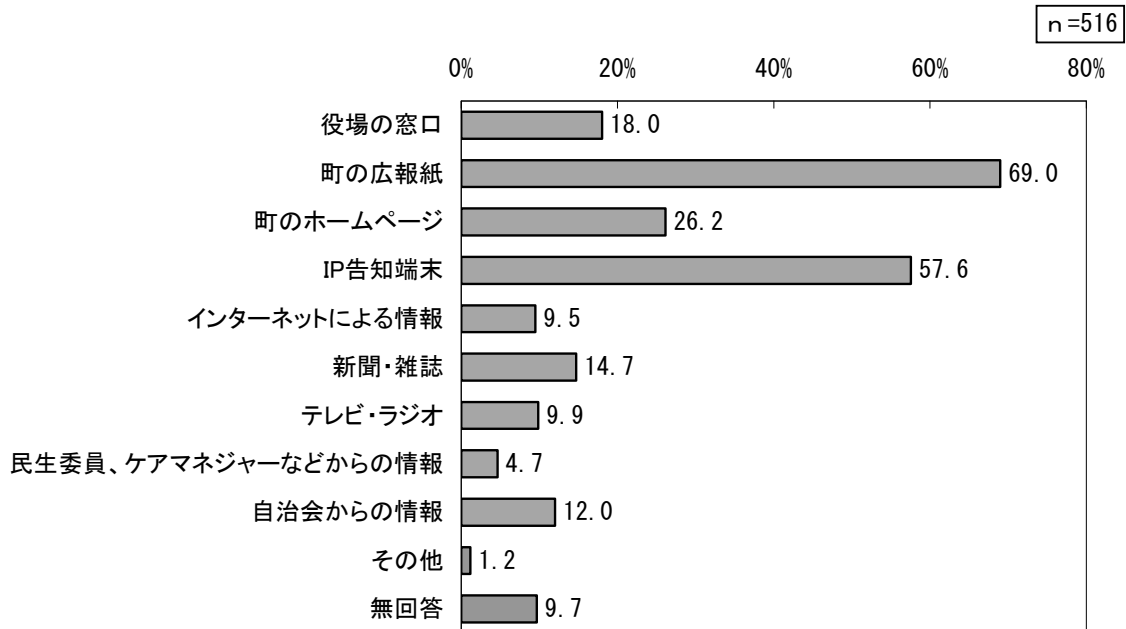
図表 役場に希望する窓口の機能(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない
	40.0%	34.3%	31.4%
30代 (n=65)	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる
	44.6%	44.6%	36.9%
40代 (n=76)	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	役場が行っているサービス だけでなく、その他の公的 機関や民間のサービスにつ いても知ることができる
	53.9%	52.6%	26.3%
50代 (n=93)	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない
	43.0%	40.9%	33.3%
60代 (n=113)	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	書類の書き方が簡単で、 提出する書類が少ない
	46.0%	42.5%	40.7%
70歳以上 (n=131)	1カ所で何でも相談や 手続きをすることができる	別の部署のことも含めて 自分に必要な情報や手続 きがすぐわかる	身近なところで相談や 手続きができる
	35.1%	31.3%	30.5%

問 あなたは今後、町の情報をどのような方法で入手したいですか。【3つまでに○】

町の情報を入手する手段については、「町の広報紙」と回答した割合が69.0%と最も多く、次いで「IP告知端末」(57.6%)、「町のホームページ」(26.2%)の順で上位に挙がっています。

図表 町の情報を入手する手段



No.		n=516	(100.0%)
1	役場の窓口	93	18.0%
2	町の広報紙	356	69.0%
3	町のホームページ	135	26.2%
4	IP告知端末	297	57.6%
5	インターネットによる情報	49	9.5%
6	新聞・雑誌	76	14.7%
7	テレビ・ラジオ	51	9.9%
8	民生委員、ケアマネジャーなどからの情報	24	4.7%
9	自治会からの情報	62	12.0%
10	その他	6	1.2%
	無回答	50	9.7%

図表 町の情報を入手する手段(暮らしやすさ別:上位3項目)

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	役場の窓口 20.4%	町の広報紙 72.5%	町のホームページ 23.9%
暮らしにくい (n=246)	役場の窓口 15.0%	町の広報紙 65.9%	町のホームページ 29.3%

図表 町の情報を入手する手段(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	町の広報紙	IP告知端末	町のホームページ
	51.4%	51.4%	28.6%
30代 (n=65)	町の広報紙	IP告知端末	町のホームページ
	75.4%	61.5%	38.5%
40代 (n=76)	町の広報紙	IP告知端末	町のホームページ
	69.7%	59.2%	35.5%
50代 (n=93)	町の広報紙	IP告知端末	町のホームページ
	66.7%	55.9%	33.3%
60代 (n=113)	町の広報紙	IP告知端末	役場の窓口
	71.7%	67.3%	24.8%
70歳以上 (n=131)	町の広報紙	IP告知端末	役場の窓口
	70.2%	50.4%	22.9%

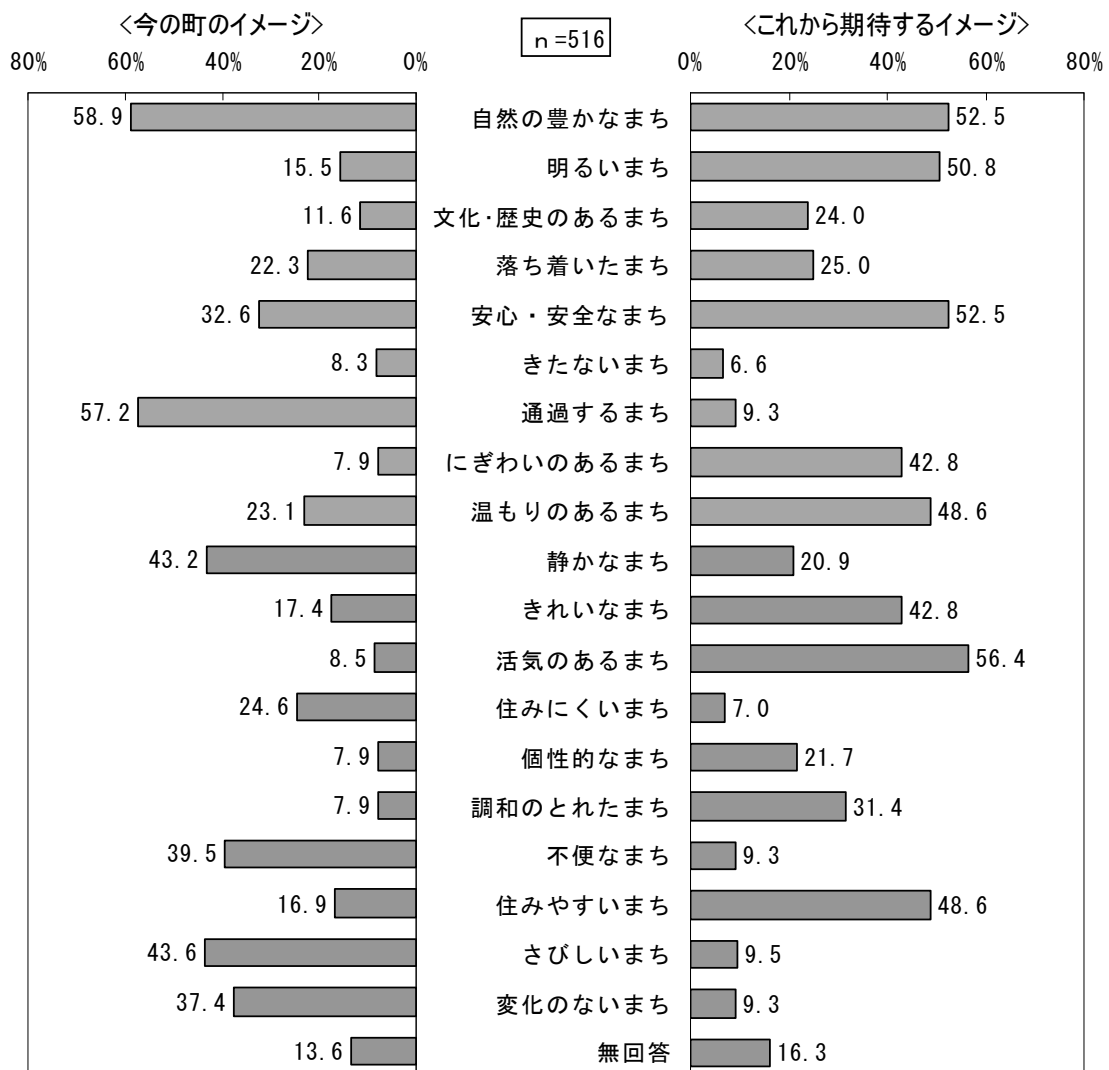
## Ⅱ-4. 喜茂別町のこれらからのまちづくりについて

### 1. まちのイメージ

問 今の喜茂別町のイメージとしてあてはまるものを、いくつでも選んでください。  
またこれからの喜茂別町に期待するイメージとしてあてはまるものをいくつでも選んでください。【あてはまるものすべてに○】

喜茂別町のイメージについて、現在のイメージでは、「自然の豊かなまち」(58.9%)、「通過するまち」(57.2%)、「さびしいまち」(43.6%)を上位に挙げているのに対して、これから期待するイメージとしては、「活気のあるまち」(56.4%)、「自然の豊かなまち」、「安心・安全なまち」(いずれも52.5%)が上位を占めており、現在の自然環境を維持しつつ、まちの“活気”と将来への“安心”を期待していることがうかがえます。

図表 今の町のイメージ・これから期待するイメージ



図表 今の町のイメージ・これから期待するイメージ

No.		今の喜茂別町のイメージ		これからの喜茂別町に期待するイメージ	
		n=516	(100.0%)	n=516	(100.0%)
1	自然の豊かなまち	304	58.9%	271	52.5%
2	明るいまち	80	15.5%	262	50.8%
3	文化・歴史のあるまち	60	11.6%	124	24.0%
4	落ち着いたまち	115	22.3%	129	25.0%
5	安心・安全なまち	168	32.6%	271	52.5%
6	きたないまち	43	8.3%	34	6.6%
7	通過するまち	295	57.2%	48	9.3%
8	にぎわいのあるまち	41	7.9%	221	42.8%
9	温もりのあるまち	119	23.1%	251	48.6%
10	静かなまち	223	43.2%	108	20.9%
11	きれいなまち	90	17.4%	221	42.8%
12	活気のあるまち	44	8.5%	291	56.4%
13	住みにくいまち	127	24.6%	36	7.0%
14	個性的なまち	41	7.9%	112	21.7%
15	調和のとれたまち	41	7.9%	162	31.4%
16	不便なまち	204	39.5%	48	9.3%
17	住みやすいまち	87	16.9%	251	48.6%
18	さびしいまち	225	43.6%	49	9.5%
19	変化のないまち	193	37.4%	48	9.3%
	無回答	70	13.6%	84	16.3%

図表 今の町のイメージ・これから期待するイメージ(暮らしやすさ別:上位3項目)

① 今の町のイメージ

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	自然の豊かなまち 65.5%	通過するまち 50.6%	静かなまち 44.7%
暮らしにくい (n=246)	通過するまち 65.9%	さびしいまち 59.8%	不便なまち 56.9%

② これから期待するイメージ

	1位	2位	3位
暮らしやすい (n=255)	自然の豊かなまち 58.8%	安心・安全なまち 54.9%	活気のあるまち 54.1%
暮らしにくい (n=246)	活気のあるまち 58.9%	明るいまち 51.2%	安心・安全なまち 50.8%

図表 今の町のイメージ・これから期待するイメージ(年齢別:上位3項目)

① 今の町のイメージ

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	通過するまち	静かなまち	不便なまち
	74.3%	74.3%	65.7%
30代 (n=65)	通過するまち	自然の豊かなまち	さびしいまち
	81.5%	66.2%	56.9%
40代 (n=76)	自然の豊かなまち	通過するまち	不便なまち
	71.1%	64.5%	46.1%
50代 (n=93)	自然の豊かなまち	通過するまち	静かなまち
	61.3%	51.6%	38.7%
60代 (n=113)	自然の豊かなまち	通過するまち	さびしいまち
	57.5%	55.8%	44.2%
70歳以上 (n=131)	自然の豊かなまち	通過するまち	さびしいまち
	49.6%	42.0%	35.1%

② これから期待するイメージ

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	自然の豊かなまち	にぎわいのあるまち	温もりのあるまち
	68.6%	65.7%	65.7%
30代 (n=65)	自然の豊かなまち	安心・安全なまち	住みやすいまち
	60.0%	58.5%	55.4%
40代 (n=76)	自然の豊かなまち	活気のあるまち	明るいまち
	61.8%	56.6%	53.9%
50代 (n=93)	安心・安全なまち	自然の豊かなまち	活気のあるまち
	53.8%	51.6%	48.4%
60代 (n=113)	活気のあるまち	明るいまち	温もりのあるまち
	66.4%	52.2%	51.3%
70歳以上 (n=131)	活気のあるまち	安心・安全なまち	自然の豊かなまち
	58.0%	50.4%	47.3%

問 10年後のあるべきまちの姿を、簡単な標語やキャッチフレーズで表現するとしたら、どのようなものが考えられますか。お考えがありましたら、ご自由にご記ください。

10年後のあるべきまちの姿を、簡単な標語やキャッチフレーズについて、主な意見は以下のとおりです。(詳細は、その他・自由意見参照)

図表 (参考)10年後のあるべきまちの姿のキーワード

<主な標語・キャッチフレーズ>

◎自然をキーワードとした10年後のあるべきまちの姿

- ・水と友好の町。
- ・豊かな自然に囲まれ、活気のある、安心安全なまち
- ・緑豊かな元気でいられる町
- ・喜びキラキラ、笑顔いっぱい、自然とふれ愛 喜茂別町
- ・豊かな緑と水に恵まれたみんなを元気に出来る町
- ・大地の恵みで生きぬこう！
- ・美しく見える羊蹄山のふもと喜茂別町

◎立地をキーワードとした10年後のあるべきまちの姿

- ・南後志の玄関口（札幌の隣り町）
- ・もっと230号線を中心にアピールしていける町
- ・通過する人々が寄って見たいと思う街にしたい
- ・便利な喜茂別（立地条件がいいと思います）
- ・通過するだけでなく、何度も足を運びたくなる自然、人情等

◎暮らしやすさをキーワードとした10年後のあるべきまちの姿

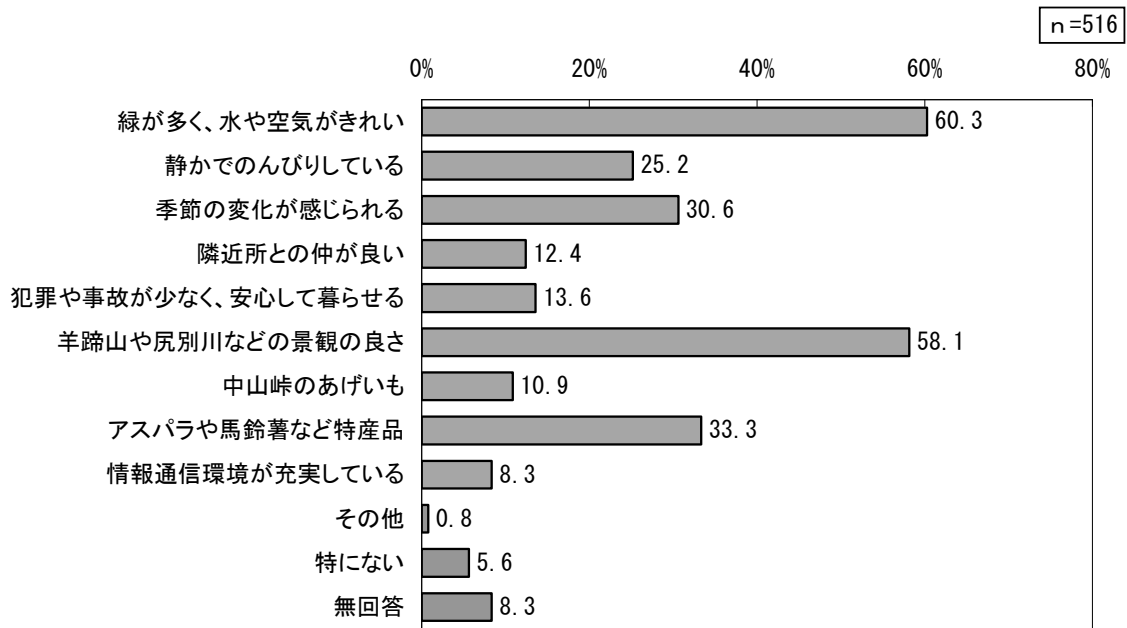
- ・暮らしやすさ（安心・温もり・生き生き）をキーワード
- ・愛ある温もりの町きもべつ
- ・1人1人がしあわせを味わえる私のまち
- ・自然と産業、みんなで創って生き生き喜茂別町
- ・温もりの里
- ・子どもと若者の活気あふれる町
- ・小さくとも住民がイキイキしている町
- ・いつでも元気な町喜茂別
- ・おいしい。楽しい。美しいまち。
- ・住んでいる人達が支え合うまち
- ・“愛にあふれる町”
- ・老後を生き生きとして暮らせるまち
- ・やるぞ（がんばる）喜茂別・先人に恩返し！
- ・明るく自然豊かな住みよい町
- ・安住の町きもべつ
- ・癒しの郷

問 喜茂別町の良さや特に自慢できるところはありますか。

【 上位順に3つまで数字を記入 】

喜茂別町の良さや特に自慢できるところとして、「緑が多く、水や空気がきれい」(60.3%)、「羊蹄山や尻別川などの景観の良さ」(58.1%)、「アスパラや馬鈴薯など特産品」(33.3%)を上位に挙げています。

図表 喜茂別町の良さや特に自慢できるところ



No.		n=516	(100.0%)
1	緑が多く、水や空気がきれい	311	60.3%
2	静かでのんびりしている	130	25.2%
3	季節の変化が感じられる	158	30.6%
4	隣近所との仲が良い	64	12.4%
5	犯罪や事故が少なく、安心して暮らせる	70	13.6%
6	羊蹄山や尻別川などの景観の良さ	300	58.1%
7	中山峠のあげいも	56	10.9%
8	アスパラや馬鈴薯など特産品	172	33.3%
9	高速インターネット回線など情報通信環境が充実している	43	8.3%
10	その他	4	0.8%
11	特にない	29	5.6%
	無回答	43	8.3%

図表 喜茂別町の良さや特に自慢できるところ(年齢別:上位3項目)

	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ 54.3%	緑が多く、水や空気が きれい 48.6%	静かでのんびりしている 45.7%
30代 (n=65)	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ 60.0%	緑が多く、水や空気が きれい 50.8%	静かでのんびりしている 33.8%

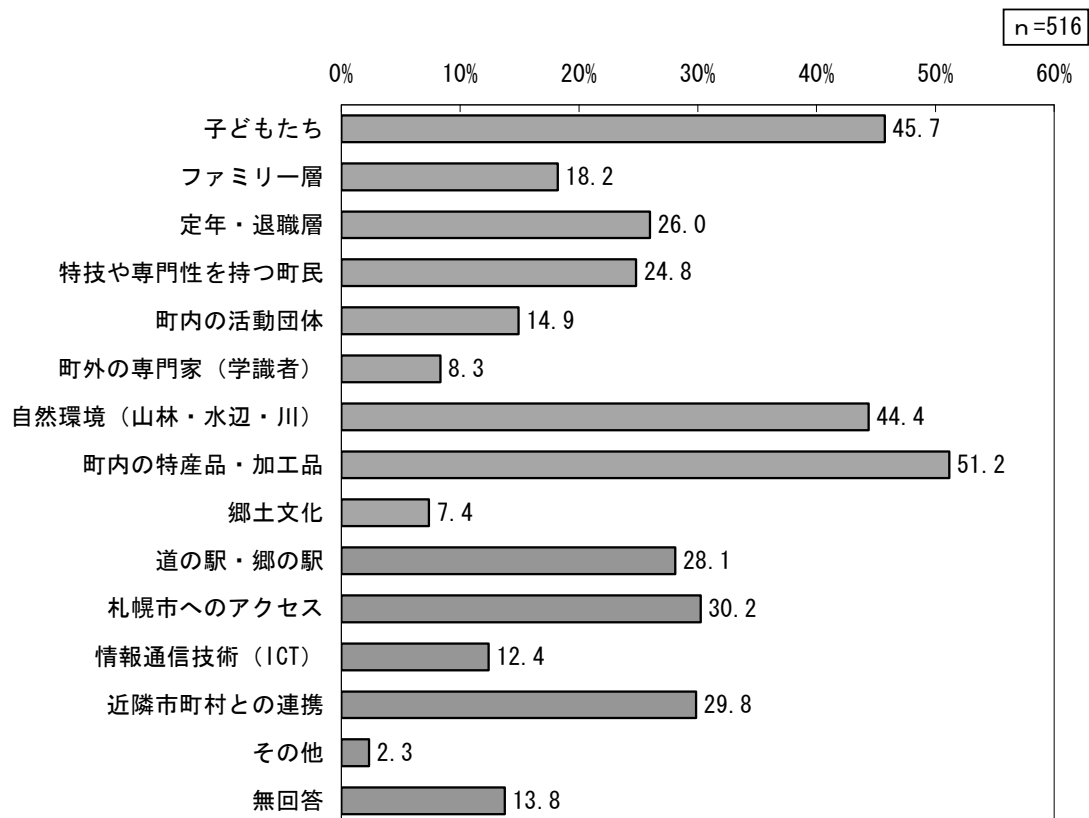
	1位	2位	3位
40代 (n=76)	緑が多く、水や空気が きれい	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ	季節の変化が感じられる
	63.2%	59.2%	36.8%
50代 (n=93)	緑が多く、水や空気が きれい	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ	季節の変化が感じられる
	65.6%	51.6%	35.5%
60代 (n=113)	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ	緑が多く、水や空気が きれい	アスパラや馬鈴薯など 特産品
	62.8%	59.3%	40.7%
70歳以上 (n=131)	緑が多く、水や空気が きれい	羊蹄山や尻別川などの 景観の良さ	アスパラや馬鈴薯など 特産品
	64.9%	59.5%	38.2%

問 これからの喜茂別町をもっとよいまちにしていくためには、どのような資源（ヒト・モノ・環境など）を活かすことが大切だと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

喜茂別町をもっとよいまちにしていくための資源としては、「町内の特産品・加工品」（51.2%）、「子どもたち」（45.7%）、「自然環境（山林・水辺・川）」（44.4%）を上位に挙げています。

図表 喜茂別町をもっとよいまちにしていくための資源



図表 喜茂別町をもっとよいまちにしていくための資源

No.		n=516	(100.0%)
1	子どもたち	236	45.7%
2	ファミリー層	94	18.2%
3	定年・退職層	134	26.0%
4	特技や専門性を持つ町民	128	24.8%
5	町内の活動団体	77	14.9%
6	町外の専門家（学識者）	43	8.3%
7	自然環境（山林・水辺・川）	229	44.4%
8	町内の特産品・加工品	264	51.2%
9	郷土文化	38	7.4%
10	道の駅・郷の駅	145	28.1%
11	札幌市へのアクセス	156	30.2%
12	情報通信技術（ICT）	64	12.4%
13	近隣市町村との連携	154	29.8%
14	その他	12	2.3%
	無回答	71	13.8%

図表 喜茂別町をもっとよいまちにしていくための資源（年齢別：上位3項目）

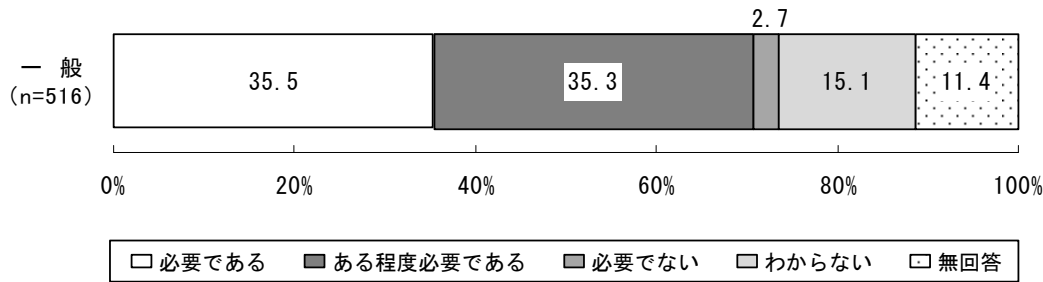
	1位	2位	3位
10・20代 (n=35)	子どもたち	自然環境 (山林・水辺・川)	道の駅・郷の駅
	68.6%	48.6%	45.7%
30代 (n=65)	子どもたち	町内の特産品・加工品	自然環境 (山林・水辺・川)
	63.1%	58.5%	46.2%
40代 (n=76)	町内の特産品・加工品	子どもたち	自然環境 (山林・水辺・川)
	55.3%	51.3%	36.8%
50代 (n=93)	自然環境 (山林・水辺・川)	町内の特産品・加工品	子どもたち
	58.1%	51.6%	36.6%
60代 (n=113)	町内の特産品・加工品	子どもたち	自然環境 (山林・水辺・川)
	52.2%	44.2%	42.5%
70歳以上 (n=131)	町内の特産品・加工品	自然環境 (山林・水辺・川)	子どもたち
	48.1%	39.7%	36.6%

問 あなたは、今後の近隣市町村との連携について、どのように考えますか。

【 1つに〇 】

今後の近隣市町村との連携について、「必要である」(35.5%)、「ある程度必要である」(35.3%)を合わせた“必要である”と回答した割合は、70.8%を占め、「必要でない」(2.7%)と回答した割合を大幅に上回っています。

図表 今後の近隣市町村との連携について



No.		n=516	(100.0%)
1	必要である	183	35.5%
2	ある程度必要である	182	35.3%
3	必要でない	14	2.7%
4	わからない	78	15.1%
	無回答	59	11.4%

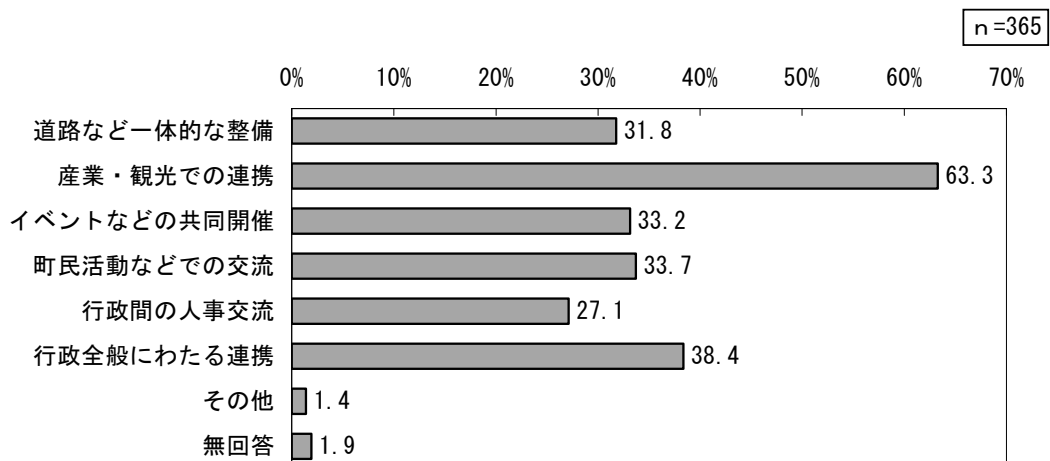
問 前問で「1.2」に〇をつけた方のみお答えください。

具体的にどのような連携が必要だと考えますか。

【 あてはまるものすべてに〇 】

前問で“必要である”と回答した方 (n=365) の考える具体的な連携については、「産業・観光での連携」(63.3%)、「行政全般にわたる連携」(38.4%)、「町民活動などでの交流」(33.7%)を上位に挙げています。

図表 具体的な連携について



図表 具体的な連携について

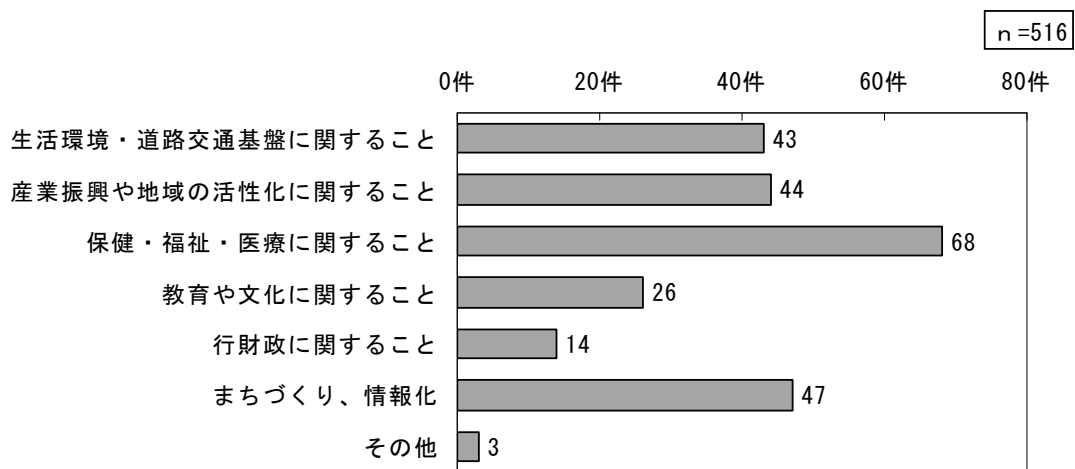
No.		n=365	(100.0%)
1	道路など一体的な整備	116	31.8%
2	産業・観光での連携	231	63.3%
3	イベントなどの共同開催	121	33.2%
4	町民活動などでの交流	123	33.7%
5	行政間の人事交流	99	27.1%
6	行政全般にわたる連携	140	38.4%
7	その他	5	1.4%
	無回答	7	1.9%

## 2. まちづくりへの要望

問 喜茂別町で「こんな取り組みはできないか」「こんなところが改善できたらいい」などのご意見・ご提案を記入してください。【3つまで選んで意見等を記入】

まちづくりへの要望として、回答を頂いた件数、構成比は次のとおりです。(詳細は、その他・自由意見参照)

図表 まちづくりへの要望



No.		n=365	(100.0%)
1	生活環境・道路交通基盤に関すること	43	8.3%
2	産業振興や地域の活性化に関すること	44	8.5%
3	保健・福祉・医療に関すること	68	13.2%
4	教育や文化に関すること	26	5.0%
5	行財政に関すること	14	2.7%
6	まちづくり、情報化	47	9.1%
7	その他	3	0.6%
	無回答	404	78.3%